

国民宿舎事業施設 関口ツジ耐震補強及び改修工事

平成25年1月

株式会社 山下設計 中部支社

図面リスト											
建築意匠図			建築構造図			電気設備図			機械設備図		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1000	図面リスト	N. S.	2001	SRF工法特記仕様書1	N. S.	3001	電気設備特記仕様書	N. S.	4001	特記仕様書	N. S.
1001	改修特記仕様書1	N. S.	2002	SRF工法特記仕様書2	N. S.	3002	耐震改修 1階平面図	1/100	4002	空調設備 機器表、凡例	N. S.
1002	改修特記仕様書2	N. S.	2003	SRF工法特記仕様書3	N. S.	3003	耐震改修 2階平面図	1/100	4003	衛生設備 機器表、凡例	N. S.
1003	改修特記仕様書3	N. S.	2004	補強位置図1	1/200	3004	耐震改修 3階平面図	1/100	4004	地下1階平面図	1/100
1004	改修特記仕様書4	N. S.	2005	補強位置図2	1/200, 1/50	3005	耐震改修 4階平面図	1/100	4005	1階平面図	1/100
1005	改修特記仕様書5	N. S.	2006	補強位置図3	1/200, 1/50	3006	耐震改修施工要領図(参考)	N. S.	4006	2階平面図	1/100
1006	改修特記仕様書6	N. S.	2007	補強位置図 補強詳細図	1/200, 1/30	3007	照明器具配置図、トイレ改修幹線系統図・盤結線図	N. S.	4007	3階平面図	1/100
1007	工事区分表	N. S.				3008	トイレ改修 1階平面図	1/100	4008	4階平面図	1/100
1008	凡例表・材料一覧表	N. S.				3009	トイレ改修 2階平面図	1/100	4009	1階ボイラー室 平面詳細図	1/50
1009	付近見取図・配置図・計画概要	1/200				3010	トイレ改修 3階平面図	1/100	4010	便所平面詳細図	1/50
1010	内部仕上表(1)	N. S.				3011	トイレ改修 4階平面図	1/100	4011	浴室平面詳細図	1/50
1011	内部仕上表(2)	N. S.				3012	トイレ改修 2~4階平面詳細図	1/50			
1012	内部仕上表(3)	N. S.									
1013	内部仕上表(4)	N. S.									
1014	内部仕上表(5)	N. S.									
1015	耐震改修1階平面図	1/100									
1016	耐震改修2階平面図	1/100									
1017	耐震改修3階平面図	1/100									
1018	耐震改修4階平面図	1/100									
1019	地下1階平面図	1/200									
1020	1階平面図	1/200									
1021	2階平面図	1/200									
1022	3階平面図	1/200									
1023	4階平面図	1/200									
1024	屋階平面図	1/200									
1025	部分詳細図(1)	1/30・1/50									
1026	部分詳細図(2)	1/50									
1027	部分詳細図(3)	1/30・1/50									

 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	代表 設計者 新井 一治 第151989号	署名 海老原 悟 第281605号	製図 13.1.26	検査 13.1.28	訂正	特記	国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事	図面内容 図面リスト	図面番号 1000
	縮尺 N. S.	枚ノ内 区分 建築意匠図							

4.2.2 タイルの選別
1) タイルの選別
2) 役物：標準的な曲がり(小口、端溝、二、三、房風)の役物は一体成形とする。

6節 塗り仕上げ外壁等の改修
4.4.6.3 既存塗膜の除去及び下地処理
表: 工法, 処理範囲, 下地部の補修

4.4.6.4 下地調整
表: 下地調整剤の使用は下記による。

4.4.1.4 仕上り塗材の種類、仕上げの形状、工法は下記による。
表: 種類, 呼び名, 仕上げの形状

7節 その他の外壁改修工法

4.4.7.5 改修工法
表: 種類, 適用範囲, 工法名・工法概要

5章 建具改修工事

1節 一般事項

4.5.1.3 改修工法
表: 建具の種類, 加工方法, 備考

4.5.1.5 見本の製作等
表: 特殊な建具の取組(建具符号)

2節 アルミニウム製建具

4.5.2.2 性能及び構造
表: 種類, 耐風圧性能, 気密性, 水密性, 遮音性, 寸法誤り

4.5.2.3 材料
表: 防虫網の仕様は下記による。

3節 鋼製建具

4.5.3.2 性能及び構造
表: 構造用鋼製ドアセットの適用は建具表による。

4章 鋼製軽量建具

4.5.4.2 性能及び構造
表: 構造用鋼製ドアセットの適用は建具表による。

6節 建具用金物

4.5.6.2 材料、形状及び寸法
表: 建具用金物

7節 自動ドア開閉装置

4.5.7.2 性能
表: センサの種類

8節 自閉式上吊り引戸装置

4.5.8.3 性能
表: 品質規格

9節 重量シャッター

4.5.9.2 形式及び機構
表: シャッターの種類

10節 軽量シャッター

4.5.10.2 形式及び機構
表: 開閉形式

11節 オーバーヘッドドア

4.5.11.2 形式及び機構
表: セクション材

12節 ガラス

4.5.12.2 材料
表: ガラスの仕様

木製建具

4.16.6.2 材料
表: かまじ戸の仕様

6章 内装改修工事

1節 一般事項

6.1.3 改修範囲
表: 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲

2節 既存床の撤去並びに下地補修

6.2.2 工法
表: ビニル床シート等の除去

3節 既存壁の撤去並びに下地補修

6.3.2 工法
表: 間仕壁撤去に伴う他の構造体の補修

5節 木下地等

6.5.2 材料
表: 木材の品質

6.5.2 集成材等

6.5.2 集成材等
表: 集成材等の仕様

6.5.2 集成材等
表: ホルムアルデヒドの放散量

6.5.2 集成材等

6.5.2 集成材等
表: 集成材等の仕様

6.5.2 集成材等

6.5.2 集成材等
表: 集成材等の仕様

6節 軽量鉄骨天井下地

6.6.2 材料
表: 既存の埋込インサート

6.6.3 型式及び寸法

6.6.3 型式及び寸法
表: 吊ボルトの仕様

6.6.4 工法

6.6.4 工法
表: 下がり壁、折上げ天井など、天井高さに300mm以下の段差がある場合は、野縁受けと同材又はL-30等を用いる。

6.6.5 大規模天井、重量天井等

6.6.5 大規模天井、重量天井等
表: 1) 次の各号に該当する天井(耐震補強グレードS種とする)については14.4.4による他、耐震性能検査を作成し監理者の承認を受ける。

6.6.6 システム天井

6.6.6 システム天井
表: 1) システム天井の耐震基準はロックワール工業会制定の「システム天井耐震基準」(2011年版)による他、下記による。

7節 軽量鉄骨壁下地

6.7.3 形式及び寸法
表: 1) スタッドの高さが5mを超える場合

6.7.4 工法
表: 1) 軽量鉄骨壁下地の取付けは、変位収収工法とし、地震時や強風による層間変位時の破損や異音発生を防止する対策を施す。

8節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

6.8.2 材料
表: ビニル床シートの種類は下記による。

9節 カーペット敷き

6.9.3 材料
表: 繊維ゆたん

6.9.3 材料

6.9.3 材料
表: タフテッドカーペット

10節 合成樹脂塗床

6.10.2 材料
表: 合成樹脂塗床の種類及び仕上げは下記による。

11節 フローリング張り

6.11.2 材料
表: フローリング張りの種類、工法及び仕上げは下記による。

工事区分表	
-------	--

設計図によるほか、次表の○印を工事区分（見積区分）とする。
本工事に該当する項目のみ適用する。

工事項目	建築	電気設備	空調設備	衛生設備	昇降機	駐車設備	別途	備考
	○	○	○	○	○	○		
1. 共通項目								
1 工事上の各種申請提出費用								
2 本設電力上下水道・ガスの引込工事負担金							●	発注者負担
3 本設電力・上下水道・ガスの引込後引渡し迄の使用料金								
4 本設電力・上下水道・ガスの引込後引渡し迄の基本料金								●
5 本設電力の引込工事負担金								●
6 既存上下水道・ガス管の撤去・同手続								●
7 工事中の近隣電音調査・対策工事								●
8 仮囲い・共通足場								●
9 現場以外の検査・試験立会いに要する費用								●
2. 機械基礎								
1 コンクリート基礎又は鉄骨基礎（仕上を含む）								原則建築工事
2 上記以外の設備配管支持架台等								
3 同上アンカーボルト・挿入・埋込み								
3. 躯体貫通・補強								
1 地中埋の透水管・通気管・人通孔の貫通スリーブ及び躯体補強								
2 S造・SRC造の貫通鋼管スリーブ及び補強								
3 RC造の梁貫通配管スリーブ								
4 同上補強（100mm×U+03C6を超えるもの）								
5 床・壁の貫通スリーブ・挿入								
6 同上補強								
7 各種貫通穴埋め・補修								
4. 躯体以外の開口・補強								
1 工場製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強								
2 現場製作間仕切り壁：開口・取付枠・補強								
3 間仕切り壁開口部の穴埋め・補修								原則建築工事
4 天井付各種器具の開口・取付枠								
5 同上天井開口の曇出し								
6 壁・床：開口部各種器具取付枠								補強は建築工事
7 ブロック・煉瓦の設備機器取付用：開口取付枠・補強								
8 PC/ネル・ALC/ネル・押出成形セメント板：開口・取付枠・補強								
9 同上開口部の穴埋め・補修								
5. 点検口・ガラリ								
1 外壁取付ガラリ								ダクト接続用フレンジ付き
2 同上接続用アングル・防鳥ネット・防虫ネット								
3 内壁取付ガラリ（レターンガラリを含む）								
4 ドアガラリ・レターンスリット								
5 各種設備の点検口（天井・壁・床）								
6. ビット・マンホール・水櫃など								
1 電気室・自家発電機室・機械室・配管ビット蓋								
2 湧水槽・汚水槽・雑排水槽・消火水槽・RC造各種水櫃								防水・仕上り工事共
3 同上マンホール・格子蓋・タラップなど								
4 各種形の液面電極棒・フロートスイッチ類の供給取付								自家発電は電気工事
5 同上電気配管・配線・接続								
6 同上オーバーフロー・通気管取付								
7 埋設オイルタンク・トレンチの躯体・防水砂詰め								
8 同上用本体・注油口・他付風呂一式								
9 屋内・屋外マンホールの取付枠・鎖鉄蓋・化粧蓋								化粧蓋は建築工事
10 屋内・屋外トレンチの躯体・排水溝・蓋仕上げ								
11 同上設備配管架の架台								
7. 浴室・湯沸室・便所等								
1 流し台・洗面化粧台・陶製流し（排水トラップ含む）・吊戸棚・水切り櫃・換気フード								
2 同上一次電気配管配線・給排水接続及び洗濯機・V設置								
3 換気フードとのダクト接続（防火ダンパーを含む）及び排気ダクト								
4 電気湯沸器（配管接続共）								
5 同上一次電気配管・配線・接続								
6 浴槽・ユニットバス・ユニットトイレ								

一般の略記号
S造 鉄骨造
RC造 鉄筋コンクリート造
SRC造 鉄骨鉄筋コンクリート造
KBM 仮ベンチマーク
設計GL 設計地盤
FL 基準床仕上げ
CH 天井高さ
NP 名古屋ポイント
WC トイレ
MWC 男子トイレ
WMC 女子トイレ
IWC 多目的トイレ
EV エレベーター
EPS 電気設備用シャフト
PS バイブシャフト
DS ダクトスペース
SK 掃除用具洗し
FB フラットバー
PL フレート
St スチール
W 巾(有効)
H 高さ(有効)
L 長さ
D 奥行き
θ 間隔
t 厚さ
AL アルミ
SUS ステンレス304
HL ヘアライン仕上げ
VB バイブレーション仕上
OAフロア 配線用二重床
AS舗 アスファルト舗装
CO舗 コンクリート舗装
CL 天井ライン
EXP・J エキスパンジョイント

塗装一覧表
SOP 合成樹脂調合ペイント
NAD アクリル樹脂系非水分散形エナメル
FU フッ素樹脂塗装
FU-C フッ素樹脂塗料クリアー
DP-AS アクリルシリコン樹脂エナメル(2液形)
2-ASC アクリルシリコン樹脂ワニス(2液形)
DP-PU 2液形ポリウレタンエナメル
UC ウレタン樹脂ワニス(2液形)
EP-1 合成樹脂エマルジョンペイント(内外部用)
EP-2 合成樹脂エマルジョンペイント(内部用)
EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント(グロス)
EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料(テクスチャ)
ALP アルミニウムペイント
XE エポキシ樹脂エナメル(常温型)
NT-XE ノンタルエポキシ樹脂塗料
FU-BE フッ素樹脂エナメル焼付
FU-HBE フッ素樹脂エナメル焼付(高温型)
AB-BE アクリル樹脂エナメル焼付
UB-BE ポリウレタンエナメル焼付
XB-BE エポキシ樹脂エナメル焼付
UP ウレタン系樹脂ペイント塗

下地材(左官系他)符号一覧
CK コンクリート直均し(金コテ押え)
Cs シンダーコンクリート直均し(金ゴテ)
M モルタル金コテ押え
MS 防水モルタル金コテ押え
n モルタル塗り下地
ms 防水モルタル塗り下地
SL セルフレバリング
Pa 硬質ウレタンフォーム吹付け
PF 押出成形ポリスチレンフォーム

表示記号及び略号
図中の表示記号及び略号は、国土省大臣官房 建築工事標準詳細図による。

下地材・仕上材符号一覧表
GL GL工法(面貼り工法)
LGS 軽量鋼製下地材
CWG グラスウールガラスクロス付ボタンの押さえ
CWBa 化粧グラスウール板A
CWBb 化粧グラスウール板B
CW グラスウール
GB-R せっこうボード
GB-R-H 硬質せっこうボード
GB-S シーリングせっこうボード
GB-F 強化せっこうボード
GB-D 化粧せっこうボード
GB-NC 不燃積層せっこうボード
DR 岩綿吸音板
リップDR リップ付岩綿吸音板
HW 木質系セメント板
FK けい酸カルシウム板
FK-K 化粧けい酸カルシウム板

防火材料一覧
【不燃材料】
・せっこうボード t12.5, t15 NM-8619
・硬質せっこうボード t9.5, t12.5 NM-9645
・シーリングせっこうボード t12.5 NM-9639
・強化せっこうボード t12.5, t21 NM-8615
・けい酸カルシウム板(無石綿) NM-8578
・化粧けい酸カルシウム板 NM-8577
・岩綿吸音板 NM-8599
・グラスウール NM-8605
・グラスウールグラスクロス含み NM-8606
・化粧グラスウール板 NM-8610
・無機質壁紙 NM-1162
【準不燃材料】
・せっこうボード t9.5 QM-9828
・化粧せっこうボード t9.5 QM-9824
・木片セメント板 QM-9838

耐火構造認定番号

仕上材料表 (同等品とする)
部位 メーカー名、品番
1階居室天井化粧PB(杉葎) 吉野石膏 タイガーハイグリーンボード アートタイプ桐
コーキング(外部柱部分) ポリウレタン系(PU-2)
小口タイル(外部柱・壁) LIXIL ジェネラリック小口平
壁 モザイクタイル LIXIL インテリアモザイク シリシア
壁 半磁器100角タイル LIXIL ミスティキラミックブライト釉
壁寄せ H55x15 スパルス
端巾露り W15x15 スパルス
壁見切り縁 25x40 スチールt1.6加工 SOP
天井廻り縁 フクヒワ廻縁
天井アルミスバンドレール 森村金属製 MRA-100T t0.8
天井廻り縁(塩化ビニル) フクヒワ廻縁
天井廻り縁(アルミ製) 森村金属製 NM-16
外壁吹付タイル エスキイ化研 レナラック小粒仕上げ
内部用吹付タイル エスキイ化研 レナコートゆず肌
塗装 A-EXP エスキイ化研 サニービルEX
ビニール巾木 東リ ソフト巾木H=60 H=75
壁ビニールクロス 東リ WF2001
耐火間仕切壁 三菱マテリアル建材ヒシタカ
天井化粧石膏ボードt9.5 吉野石膏 ジアトーン・ライト
全上(杉葎) 吉野石膏 タイガーハイグリーンボード アートタイプ桐
岩綿吸音板t9 吉野石膏 ソーラートン
石膏ボードt9 吉野石膏 タイガーボード
天井ビニールクロス 東リ WF2001

昇降機部分
ボード取合シーリング 15x25 ポリウレタン系(PU-2)
ビニール巾木 東リ ソフト巾木H=75

共用イレ
天井廻り縁 フクヒワ廻縁
壁出隅見切(アルミ製) 創建アルミM型6
巾木見切縁(アルミ製) 創建アルミATC-7
ビニール床シートt2.0 東リ ノンワックスリユーム
ビニール巾木H=75 東リ ソフト巾木
壁化粧けい酸カルシウム板 三菱マテリアル建材 ルナライトカラー
壁グラスウールt50充填 24kg/m³
天井化粧石膏ボードt9.5 吉野石膏 ジアトーン・ライト
便所 戸当り 例ベスト 旭444ミニマム戸当
トイレブース コマニー クリーンブース・エアールタイプエヌ

風呂の改修
部位 メーカー名、品番
石取合いシーリング ポリサルファイド系(PS-2)
壁100角タイル LIXIL ミスティキラミックブライト釉
壁陶器質タイル LIXIL ミスティキラミックブライト釉
壁 モザイクタイル ポリウレタン系(PU-2)
天井廻り縁(木製) W15x15 スパルス
天井廻り縁(塩化ビニル) 天然木を使用
杉板800x1100
天井廻り縁(塩化ビニル) フクヒワ廻縁
トップコート吹付 エスキイ化研 超低汚染型フッ素樹脂系クリア
防虫処理・保護塗装 日本エンソバイロケミカルズ例 キシラデコール
ビニール床シートt2.0 東リ ノンワックスリユーム
ビニール巾木H=60 東リ ソフト巾木
天井化粧石膏ボードt9 吉野石膏 ジアトーン・ライト
天井化粧石膏ボードt9(木目) 吉野石膏 タイガーハイグリーンボード アートタイプ桐

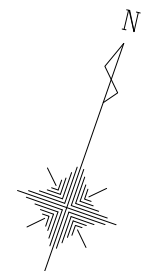
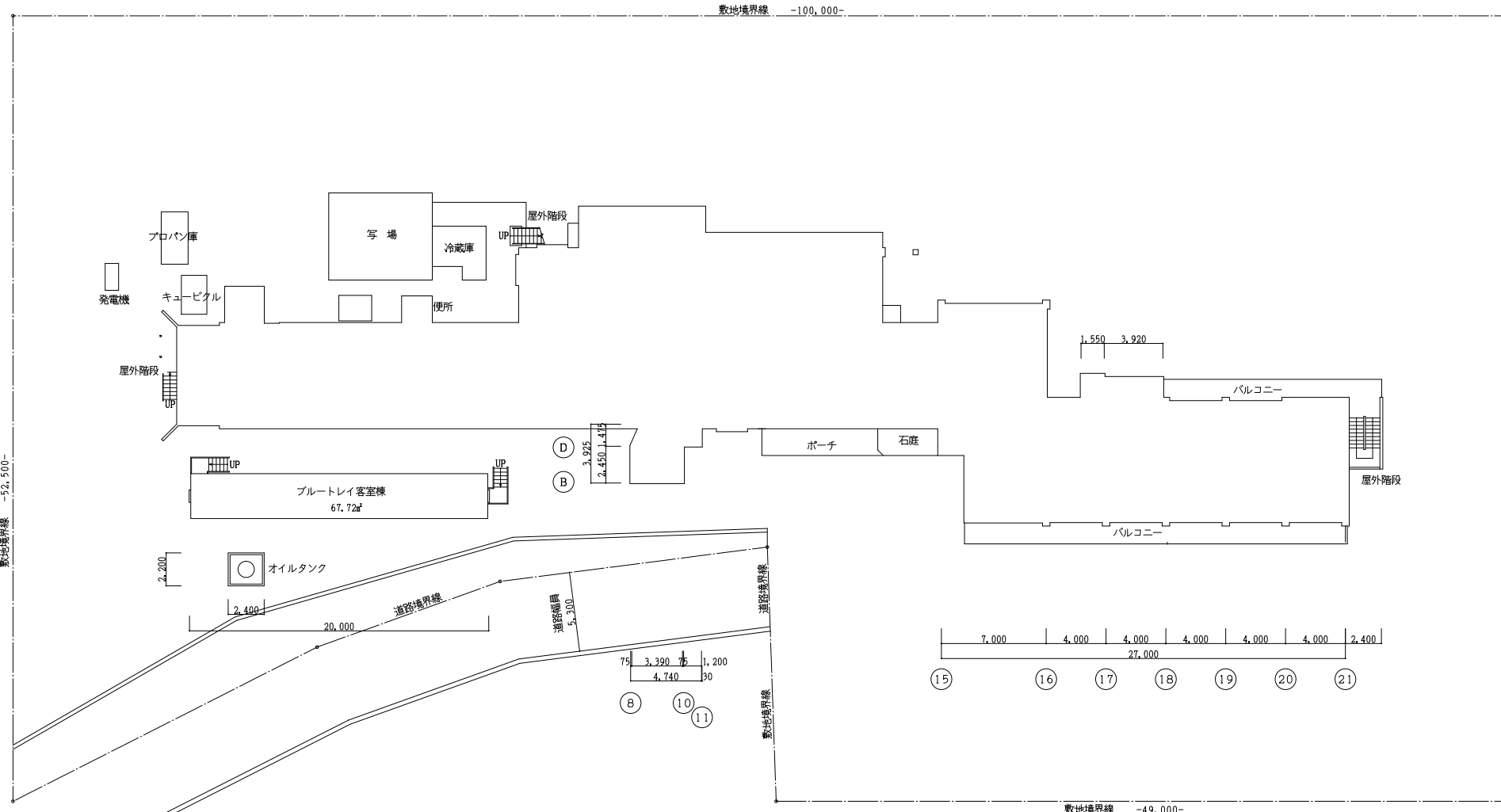
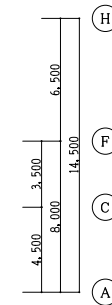
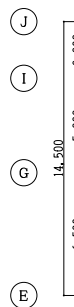
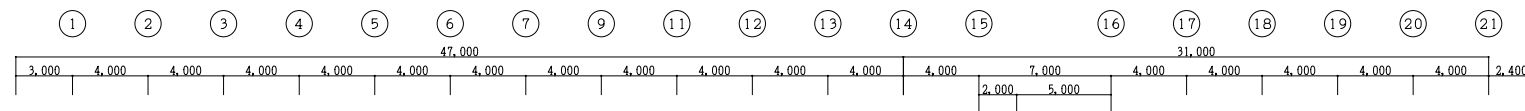


株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS
代表 設計者 新井 一治
13.1.26 13.1.28
担当 設計者 海老原 悟

訂正

特記

国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事



・敷地概要

工事場所	三重県亀山市関町新所1574-1
用途地域	都市計画区域外
防火地域	なし
敷地面積	4,481.075 ㎡
建ぺい率	60 %
容積率	200 %

・建築概要

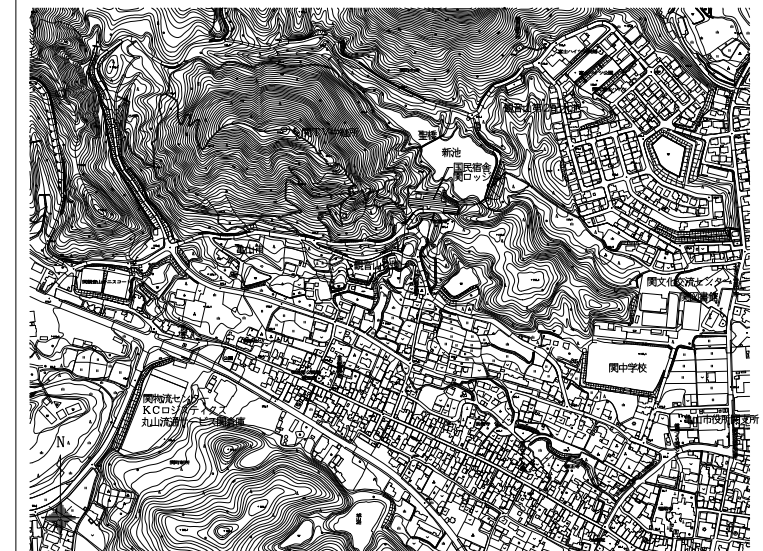
主要用途	ホテル・旅館
建築面積	790.177 ㎡
延床面積	2,431.657 ㎡
建ぺい率	17.63 %
容積率	54.27 %
本館棟概要	本館(西館)、エレベーター棟、新館(東館)
施工年月日	1967年(S42年)、1997年(H9年)、1983年(S58年)
階数(構造)	地上4階・PH1階(RC造)、地上4階・PH1階(S造)、地上3階(RC造)

・工事概要

1. 耐震補強工事	①	① 柱・壁の耐震補強 ② 煙突及び片持ち梁の補強 ③ EV棟の基礎転倒防止の補強
2. 改修工事 東棟・西棟・EV棟	②	① 荷物昇降機の適正性能に関する既存不適格部分の改修 ② 各階の共用トイレの改修 ③ 風呂の改修 ④ ボイラーの更新 ⑤ 西側屋外階段 鋼製壁の撤去 ⑥ 1階大広間 テント壁撤去及び改修 ⑦ 欠番 ⑧ 非常用照明器具の取替え等

階	棟	客室棟	ブルーレイ 客室棟	写場棟	プロパン庫棟	冷蔵庫棟	合計
PH		39.640					39.640
4F		340.350					340.350
3F		476.680					476.680
2F		712.785					712.785
1F		668.417	67.720	39.440	4.480	10.120	790.177
B1F		72.025					72.025
合計		2,309.897	67.720	39.440	4.480	10.120	2,431.657

付近見取図 1/6000



棟 工事区分	階	室名		床		巾木		壁		柱型		天井		備考		略記号																																																																																																																																																																																																					
		現況室名	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	H	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	現況	天井高	現況 撤去項目	改修後 及び 新設項目	GL	直貼り工法																																																																																																																																																																																																		
																		LGS	軽量鉄骨下地																																																																																																																																																																																																		
①	1階	自販機コーナー	カーペット敷き モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木一部撤去	ビニルクロス撤去	ビニルクロス撤去	DR一部撤去	P 一部撤去	2470	・柱型：クロス撤去（モルタル共） ・柱廻り：一部天井撤去（取合部分補修） ・E×p、Jカバー	A-EMP	アクリル系合成樹脂 エマルジョンペイント	LP12	LGS+GB-Rt12.5	自販機コーナー	既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型：ビニル巾木新設 既設のまま 柱型：GP12新設	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	既設のまま、DR一部新設 既設のまま、一部LP9	P 一部新設	既設のまま	・柱：SRF補強+仕上 ・天井一部新設（取合部分補修）	LP9	LGS+GB-Rt9.5	LP22	LGS+GB-Rt9.5+12.5	ゲームコーナー	カーペット敷き モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木一部撤去	モルタル金ゴテ下地一部撤去	ビニルクロス	ビニルクロス撤去	DR一部撤去	P 一部撤去	2470	・柱型：クロス撤去（モルタル共） ・柱廻り：一部天井撤去（取合部分補修）	E×p、Jカバー	GP12	GB-Rt12.5（GL工法）	前LP12	LGS+GB-St12.5	ゲームコーナー	既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型：ビニル巾木新設 既設のまま 柱型：GP12新設	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	既設のまま、DR一部新設 既設のまま、一部LP9	P 一部新設	既設のまま	・柱：SRF補強+仕上 ・天井一部新設（取合部分補修）	LK14	LGS+ケイカルt8+6（W1019）	宿直室	雑沓タミ敷き 土間コンクリート	畳寄せ	RC、LGS	55	モルタル金ゴテ下地一部撤去	モルタル金ゴテ下地撤去	LGS撤去	W 撤去	2200	・柱型：クロス撤去（モルタル共） ・RC壁：クロス撤去（モルタル共） ・柱廻り：一部天井撤去（取合部分補修） ・カッター切	LB	ブラインドボックス	CR	カーテンレール	宿直室	既設のまま 既設のまま	既設のまま 既設のまま	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	LGS新設	W 新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・RC壁：SRF補強+仕上 ・天井一部新設（取合部分補修） ・スリット新設	St	スチール	CL	クリアラッカー	階段（宿直室）	ビニル床シートt2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木一部撤去	モルタル金ゴテ下地一部撤去	ビニルクロス一部撤去	ビニルクロス撤去	化粧石膏ボード（木目）撤去	W 撤去	2260	・柱型：クロス撤去（モルタル共） ・柱廻り：一部天井撤去（取合部分補修） ・カッター切 ・欄（戸袋付）；仮取外し（350×450XH1000）	RC；クロス撤去（モルタル共）	SOP	合成樹脂適合ペイント	階段（宿直室）	既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型：ビニル巾木新設 既設のまま 柱型：GP12新設	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	LGS新設	W 新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・RC壁：SRF補強+仕上 ・天井一部新設（取合部分補修） ・スリット新設 ・欄；再取付	VP	塩化ビニル系エナメル	廊下	ビニル床シートt2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木一部撤去	モルタル金ゴテ下地一部撤去	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	化粧石膏ボード一部撤去 LGS一部撤去	P 一部撤去	2300	・柱型：塗装撤去（モルタル共） ・RC壁：塗装撤去（モルタル共） ・天井一部撤去	廊下	既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型：ビニル巾木新設 既設のまま 柱型：GP12新設	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	LGS新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・柱型：SRF補強+仕上 ・天井一部新設	W	木製（銘木継付CL）	A	アルミ製電着着色	受付	ビニル床シートt2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木	モルタル金ゴテ、LP22	モルタル金ゴテ下地	モルタル金ゴテ下地撤去	LGS一部撤去	P 一部撤去	2400	・柱型：クロス撤去（モルタル共） ・柱廻り：一部天井撤去 ・受付カウンター；仮取外し	受付	既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型：ビニル巾木新設 既設のまま 柱型：GP12新設	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	LGS新設	P 一部新設	既設のまま	・柱：SRF補強+仕上 ・天井一部新設 ・受付カウンター（丸木）；再取付（取合部分補修）	BB記号	St	スチール製t1.6加工SOP	通路（外部）	モルタル金ゴテ 土間コンクリート	モルタル金ゴテ RC	吹付タイル	吹付タイル撤去	VP一部撤去	P 一部撤去	2600	・柱型：吹付撤去（モルタル共） ・カッター切	通路（外部）	既設のまま 既設のまま	既設のまま 吹付タイル新設	既設のまま、VP一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・スリット新設	便所	100角磁器質タイル モルタル下地	-	100角半磁器タイル	100角半磁器タイル一部撤去	化粧石膏ボード一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型：タイル撤去（モルタル共） ・天井一部撤去	便所	既設のまま 既設のまま	-	-	既設のまま	100タイル新設	既設のまま、化粧石膏ボードt9.5新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・天井一部新設	倉庫	ビニル床シートt2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木一部撤去	モルタル金ゴテ、LP12	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ撤去	LGS一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型：塗装撤去（モルタル共） ・天井一部撤去 ・障子；仮取外し 木製枠共	倉庫	既設のまま 既設のまま	既設のまま、ビニル巾木一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま	SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	LGS新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型：SRF補強+仕上 ・天井一部新設 ・障子；再取付 木製枠共	仕上表共通事項	・巾木Hは高さを表し特記なき限り75とする。	・壁仕上げ既設吹付タイルとあるので改修後吹付 タイルの時既設部分はトップコート吹付のみとする。	・天井下地LGSとは、原則用ボルトは含まない。	・改修後仕上費に材料の記入のあるものは仕上費 をやり変えることを示し既設のままとあるものは 既設のまま残すことを示す。	・柱型の耐震補強（SRF工法）の改修は、既設天井と 床を削りモルタル下地まで撤去し躯体に施工する。	・LGS壁下地は、特記なき限りW=65とする。	・ケイカル板は、t=6とする。



代表
設計者
新井 一治
13.1.26 13.1.28

原
設計者
海老原 悟

国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事

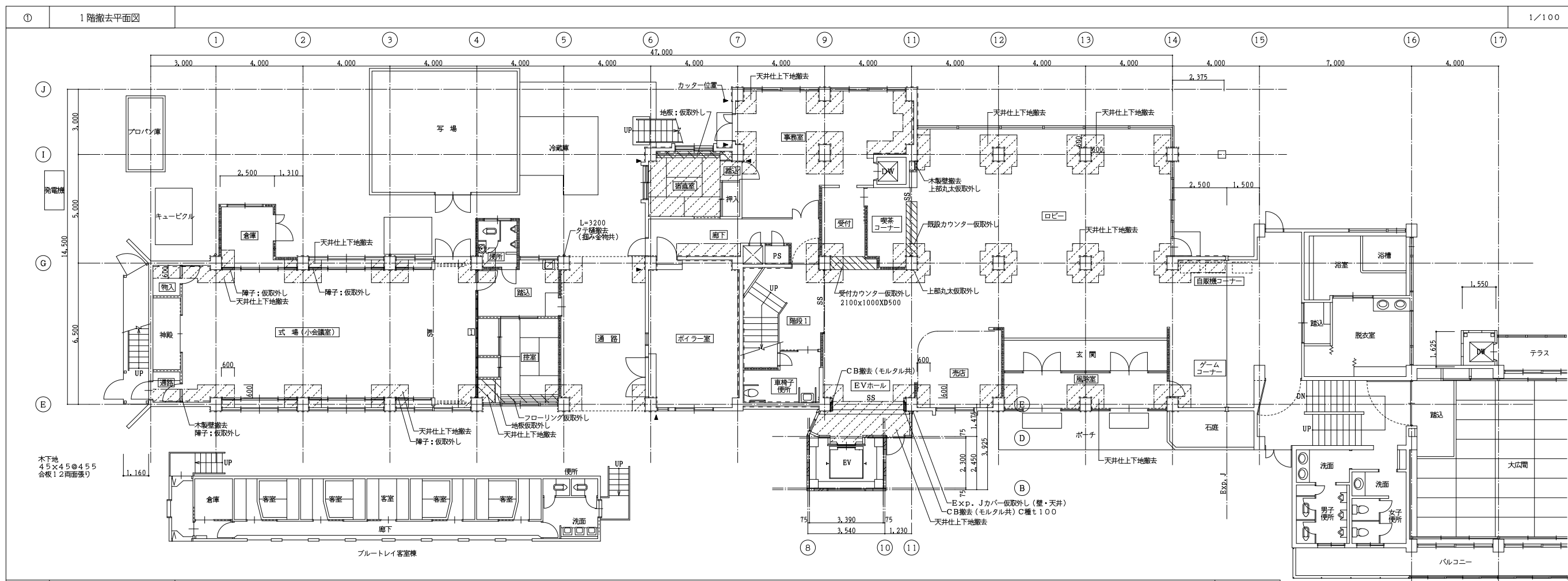
図面内容
内部仕上表（2）
縮尺 N, S

図面番号
1011
区分
建築意匠図

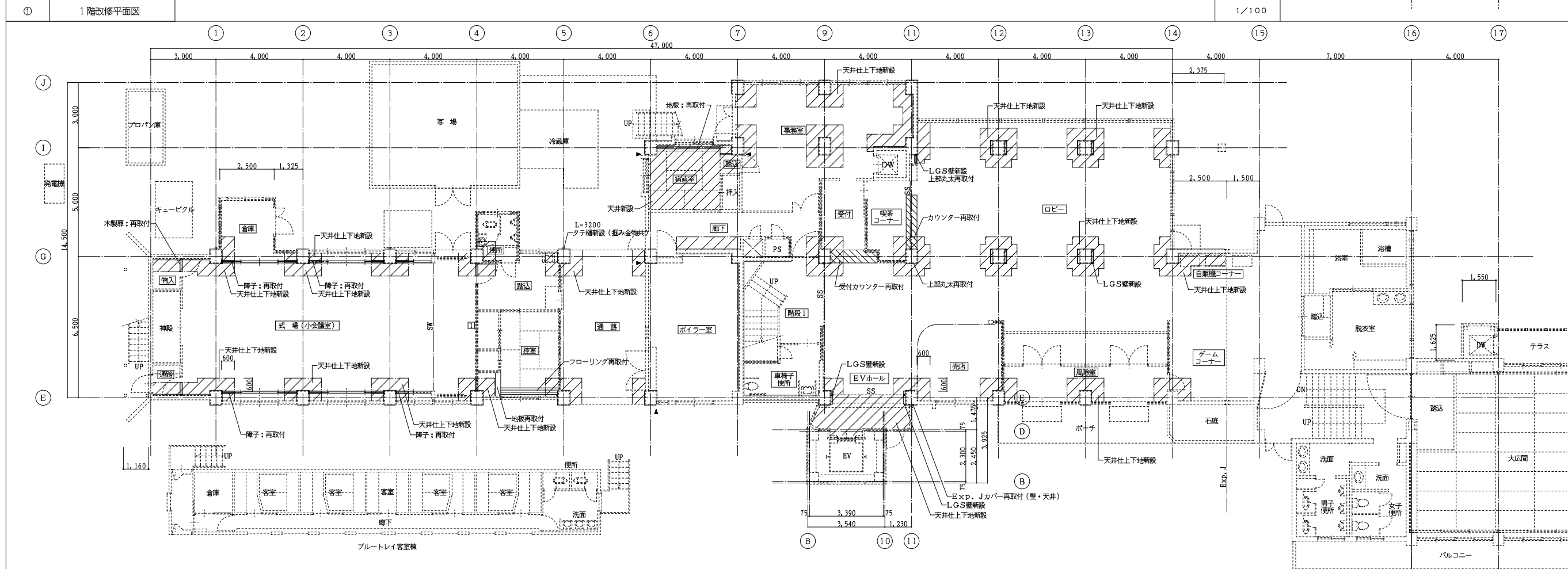
棟 工事区分	階	室名		床		巾木		壁		柱型		天井		備考	略記号				
		現況室名	現況	仕上	下地	現況	仕上	H	現況	仕上	現況	仕上	現況		仕上	天井高	P 一部撤去	天井高 BB CR	GL 直貼り工法
①	2階	厨房前室	ビニル床シート t2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木 モルタル金ゴテ下地	VP モルタル金ゴテ下地	VP 撤去 モルタル金ゴテ下地撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2470	・柱:VP撤去(モルタル下地共) ・木製欄:仮取外し	A-EMP LP12	アクリル系合成樹脂 エマルジョンペイント LGS+GB-Rt12.5							
		厨房前室	既設のまま 既設のまま	既設のまま 既設のまま	既設のまま 既設のまま	既設のまま SRF補強+GP12新設	既設のまま、ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS 一部新設	P 一部新設	既設のまま	・壁:SRF補強+仕上 ・木製欄再取付(補修共)	LP9 LP22	LGS+GB-Rt9.5 LGS+GB-Rt9.5+12.5							
	厨房	モルタル金ゴテ アスファルト防水	— —	モザイクタイル(H=1000) モルタル モルタル金ゴテ	モザイクタイル 一部撤去 モルタル 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 スラブコンクリート VP LGS 一部撤去	P 一部撤去	2300、直天	・柱:モルタル撤去(タイル共) ・RC壁:モルタル撤去(腰タイル共) ・カッター切 ・厨房機器移設	GP12 前LP12	GB-Rt12.5 (GL工法) LGS+GB-St12.5								
		既設のまま 既設のまま	既設のまま 既設のまま	ERF補強 既設のまま	既設のまま SRF補強	既設のまま、ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS 一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上 ・RC壁:SRF補強+仕上 ・スリット新設 ・厨房機器再設置	LK14 LK6	LGS+ケイカルt8+6 (W1019) LGS+ケイカルt6								
	倉庫1	ビニル床シート t2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木 モルタル金ゴテ下地	VP モルタル金ゴテ下地	VP 撤去 モルタル金ゴテ下地撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2470	・柱:VP撤去(モルタル下地共) ・木製欄:仮取外し	BB CR	ブラインドボックス カーテンレール								
		既設のまま 既設のまま	既設のまま、ビニル巾木一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま 既設のまま	VP新設 SRF補強+GP12新設	既設のまま、ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS 一部新設	P 一部新設	既設のまま	・壁:SRF補強+仕上 ・木製欄再取付(補修共)	St CL	スチール クリアラッカー								
	3階	客室	雑取タミ敷き:一部取外し 木製床組下地:一部撤去	畳寄せ:一部撤去 RC、木製、CB	5 5 ビニルクロス 一部撤去 LK14、LP12 一部撤去	ビニルクロス 一部撤去 モルタル下地共	ビニルクロス 一部撤去 LP9 一部撤去	W 一部撤去	2350	・柱型:クロス撤去(モルタル共)、床仕上撤去、床下地一部撤去(畳寄せ一部撤去)、幕板H=240仮取外し ・柱廻り:一部天井撤去(取合部分補修)、障子下収納取外し1000x400xD250 ・E通り 木製障子取外し(木製タテ枠取外し共80x25)「1505x1250」	St P W	塩化ビニル系エナメル 耐震補強(SRF工法) P 塩化ビニル系エナメル 耐震補強(SRF工法) W 塩化ビニル系エナメル 耐震補強(SRF工法)							
		客室	雑取タミ敷き:再取付 木製床組:一部新設(再設置)	畳寄せ:一部新設 LK14新設	5 5 既設のまま LK14、LP12新設	既設のまま ビニルクロス 一部新設	既設のまま、ビニルクロス一部新設 既設のまま、LP9一部新設	W 一部新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上+見切新設、幕板再取付、床再取付(畳寄せ新設) ・天井一部新設、障子下収納再取付 ・障子再取付(タテ枠再取付(補修共))	A BB記号	アルミ製電解着色 スチール製 t1.6加工 SOP 木製(銘木縁付OSCL)							
	客室 a	雑取タミ敷き:一部取外し 木製床組下地:一部撤去	畳寄せ:一部撤去 RC、木製、CB	5 5 ビニルクロス 一部撤去 LK14、LP12 一部撤去	ビニルクロス 一部撤去 モルタル下地共	ビニルクロス 一部撤去 LP9 一部撤去	W 一部撤去	2350	・柱型:クロス撤去(モルタル共)、床仕上撤去、床下地一部撤去(畳寄せ一部撤去)、幕板H=240仮取外し ・柱廻り:一部天井撤去(取合部分補修)、障子下収納取外し1000x400xD250 ・E通り 木製障子取外し(木製タテ枠取外し共80x25)「1505x1250」 ・タンス(造付)仮取外し(1200x1300x350)	St BB記号	アルミ製電解着色 スチール製 t1.6加工 SOP 木製(銘木縁付OSCL)								
		雑取タミ敷き:再取付 フローリング:再取付(補修共) 既設のまま 木製床組:一部新設(再設置)	畳寄せ:一部新設 雑巾櫃:一部新設 既設のまま GP12新設	5 5 既設のまま LK14、LP12新設	既設のまま ビニルクロス 一部新設	既設のまま、ビニルクロス一部新設 既設のまま、LP9一部新設	W 一部新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上+見切新設、幕板再取付、床再取付(畳寄せ新設) ・天井一部新設、障子下収納再取付 ・障子再取付(タテ枠再取付(補修共)) ・タンス再取付	St W A	スチール製 t1.6加工 SOP 木製(銘木縁付OSCL) アルミ製電解着色								
	廊下(客室)	カーペット敷き モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木 柱型:一部撤去 モルタル金ゴテ撤去、LK14	ビニルクロス モルタル金ゴテ下地	ビニルクロス 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	化粧石膏ボード t9 一部撤去 LGS 一部撤去	P 撤去	2350	・柱型:クロス撤去(モルタル共) ・柱廻り:一部天井撤去(取合部分補修)	St W	スチール製 t1.6加工 SOP 木製(銘木縁付OSCL)								
		既設のまま 既設のまま	既設のまま 柱型:ビニル巾木新設 既設のまま 柱型:LP12新設	既設のまま ビニルクロス 一部新設	既設のまま、化粧石膏ボード t9.5一部新設 既設のまま、SRF補強+GP12 新設	既設のまま、LP9一部新設	P 新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上+見切新設 ・天井一部新設	A	アルミ製電解着色								
	中広間	雑取タミ敷き 一部取外し 土間コンクリート	畳寄せ RC、LGS	5 5 ビニルクロス LP12.5	ビニルクロス 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	化粧PB(杉径) E通り一部撤去 LGS 一部撤去	W	2500	・柱型:クロス撤去(PB(GL)共) ・E通り柱廻り:一部天井撤去(取合部分補修) ・E通り 木製障子取外し(木製タテ枠片側共)	仕上表共通事項									
		既設のまま、畳:再取付 既設のまま	既設のまま 既設のまま	既設のまま 既設のまま	既設のまま SRF補強+GP12	既設のまま、E通り化粧PB(杉径)一部新設 既設のまま、LGS一部新設	W	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上+見切新設 ・E通り天井一部新設 ・E通り 木製障子再取付(タテ枠再設置(補修共))	・巾木Hは高さを表し特記なき限り75とする。 ・壁仕上げで既設吹付タイルとあるもので改修後吹付									
	舞台	フローリング 一部取外し 土間コンクリート	木製巾木 一部撤去	ビニルクロス 一部撤去 GP12.5 一部撤去	— —	化粧PB(杉径) 一部撤去 LGS 一部撤去	W 一部撤去	2500	・壁:クロス撤去(GP-12共) ・上框:一部取外し ・天井一部新設	タイルの時既設部分はトップコート吹付のみとする。 ・天井下地LGSとは、原則吊りボルトは含まない。									
		既設のまま、フローリング再取付 既設のまま	既設のまま	既設のまま SRF補強+GP12.5 一部新設	— —	既設のまま、化粧PB(杉径)一部新設 既設のまま、LGS一部新設	W 一部新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上 ・上框再取付 ・天井一部新設	・改修後仕上げ欄に材料の記入のあるものは仕上げ をやり変えることを示し既設のままとあるものは									
	廊下	カーペット敷き モルタル金ゴテ下地	木製巾木 一部撤去 モルタル金ゴテ、LP12	ビニルクロス撤去 モルタル金ゴテ	ビニルクロス撤去 モルタル金ゴテ撤去	ビニルクロス、柱廻り:一部撤去 LP9 一部撤去	W 一部撤去	2600	・柱型:クロス撤去(モルタル共) ・一部天井撤去(取合部分補修) ・木製壁撤去 ・下駄箱:仮取外し ・式台、引戸:仮取外し	既設のまま残すことを示す。 ・柱型の耐震補強(SRF工法)の改修は、既設天井と									
		既設のまま 既設のまま	既設のまま、ビニル巾木 一部新設 既設のまま、GP12	一部 SRF補強+GP12	SRF補強+GP12	既設のまま、一部LP9新設	W 一部新設	既設のまま	・柱型:SRF補強+仕上+見切新設 ・天井一部新設 ・LGS壁新設 ・下駄箱:再取付 ・式台、引戸:再取付	床を削いてモルタル下地まで撤去し躯体に施工する。 ・LGS壁下地は、特記なき限りW=65とする。									
	配膳	ビニル床シート t2 モルタル金ゴテ下地	ビニル巾木 一部撤去 モルタル金ゴテ、LP12.5	VP モルタル金ゴテ	VP 一部撤去 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型:塗装撤去(モルタル共) ・一部天井撤去(取合部分補修)	・ケイカル板は、t=6とする。									
		既設のまま 既設のまま	既設のまま、雑巾櫃 一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま SRF補強+モルタル金ゴテ	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型:SRF補強+仕上 ・天井一部新設										
	倉庫3	ビニル床シート t2 一部撤去 木製床組 一部取外し	ビニル巾木 一部撤去 モルタル金ゴテ、LP12	VP 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	VP 一部撤去 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型:塗装撤去(モルタル共) ・一部天井撤去(取合部分補修) ・床組仮取外し ・木製扉仮取外し(タテ枠共)										
		既設のまま、ビニル床シート t2新設 既設のまま、床組再取付	既設のまま、ビニル巾木 一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型:SRF補強+仕上 ・天井一部新設 ・床組再取付 ・木製扉再取付(タテ枠共)										
	客室 b	雑取タミ敷き:一部取外し 木製床組下地:一部撤去	畳寄せ:一部撤去 RC、木製	5 5 ビニルクロス LP12	ビニルクロス 一部撤去 モルタル下地共	ビニルクロス 一部撤去 LP9 一部撤去	W 一部撤去	2350	・柱型:クロス撤去(モルタル共)、床仕上撤去、床下地一部撤去(畳寄せ一部撤去) ・障子仮取外し(タテ木製枠共)「1505x1250」										
		雑取タミ敷き:再取付 フローリング:再取付(補修共) 既設のまま 木製床組:一部新設(再設置)	畳寄せ:一部新設 雑巾櫃:一部新設 既設のまま GP12新設	5 5 既設のまま SRF補強+GP12 新設	既設のまま ビニルクロス 一部新設	既設のまま、LP9一部新設 既設のまま、SRF補強+GP12 新設	W 一部新設	既設のまま	・柱:SRF補強+仕上+見切新設、床再取付(畳寄せ新設) ・天井一部新設、障子下収納再取付 ・障子再取付(タテ枠再取付(補修共))										
	リネン庫	ビニル床シート t2 モルタル金ゴテ下地	VP 一部撤去 モルタル金ゴテ、LP12.5	VP 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	VP 一部撤去 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型:クロス撤去(モルタル共) ・一部天井撤去(取合部分補修)										
		既設のまま 既設のまま	既設のまま、ビニル巾木 一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま SRF補強+モルタル金ゴテ	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型:SRF補強+仕上 ・天井一部新設										
	倉庫2	ビニル床シート t2 一部撤去 木製床組 一部取外し	ビニル巾木 一部撤去 モルタル金ゴテ、LP12	VP 一部撤去 モルタル金ゴテ	VP 一部撤去 一部撤去 モルタル金ゴテ 一部撤去	ケイカル板 VP 一部撤去 LGS 一部撤去	P 一部撤去	2200	・柱型:塗装撤去(モルタル共) ・一部天井撤去(取合部分補修) ・床組仮取外し ・欄板取外し										
		既設のまま、ビニル床シート t2新設 既設のまま、床組再取付	既設のまま、ビニル巾木 一部新設 既設のまま、GP12	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	既設のまま、VP新設 既設のまま、SRF補強+モルタル金ゴテ	ケイカル板 VP 一部新設 既設のまま、LGS一部新設	P 一部新設	既設のまま	・柱型:SRF補強+仕上 ・天井一部新設 ・床組再取付 ・欄板再取付										

棟 工事区分	階	室名	床		巾木		壁		柱型		天井		備考	略記号								
			現況室名	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地	H	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地	現況 仕上 下地		天井高 BB CR	現況 撤去項目	改修後 及び 新設項目	GL	直貼り工法				
																	改修後室名	改修後 仕上 下地	改修後 仕上 下地	H	改修後 仕上 下地	改修後 仕上 下地
①	2階 ~ 3階	階段2	カーペット敷き		ビニル巾木		ビニルクロス 一部撤去		ビニルクロス 一部撤去		内部用吹付タイル、一部化粧ケイカルVP撤去		一部撤去	2350	・壁、柱；クロス撤去（モルタル共） ・各階天井一部撤去（取合部分補修）	A-EMP	アクリル系合成樹脂 エマルジョンペイント					
			モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地共		モルタル金ゴテ下地共		RC打放し、LGS一部撤去					LP12	LGS+GB-Rt12.5					
		階段2	既設のまま		既設のまま		既設のまま、ビニルクロス新設		既設のまま、ビニルクロス新設		既設のまま、一部化粧PB一部新設						LP9	LGS+GB-Rt9.5				
			既設のまま		既設のまま		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		既設のまま、LGS一部新設						LP22	LGS+GB-Rt9.5+12.5				
		階段1	カーペット敷き		ビニル巾木		ビニルクロス 撤去		ビニルクロス 撤去		内部用吹付タイル、一部化粧ケイカルVP撤去				2350	・壁、柱；クロス撤去（モルタル共） ・各階天井一部撤去（取合部分補修）	GP12	GB-Rt12.5 (GL工法)				
			モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地共		モルタル金ゴテ下地共		RC打放し、LGS一部撤去						耐LP12	LGS+GB-St12.5				
		階段1	既設のまま		既設のまま		既設のまま、ビニルクロス新設		既設のまま、ビニルクロス新設		既設のまま、一部化粧PB一部新設						LK14	LGS+ケイカルt8+6 (W1019)				
			既設のまま		既設のまま		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		既設のまま、LGS一部新設						LK6	LGS+ケイカルt6				
		EVホール	タイルカーペット敷き		ビニル巾木 一部撤去		ビニルクロス		ビニルクロス 撤去		RD全面撤去		RD全面撤去		P撤去	2470	・天井下地仕上撤去（取合部分補修） ・E×p, Jカバー；仮取外し（床、壁、天井）	BB	ブラインドボックス			
			モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ、LP2.2		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地共		LP9全面撤去						CR	カーテンレール				
	EVホール	既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま、ビニルクロス新設		RD新設				P新設			St	スチール				
		既設のまま		既設のまま 柱型；ビニル巾木新設 柱型；GP1.2新設		既設のまま		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		LP9新設							CL	クリアラッカー				
	ホール前廊下	タイルカーペット敷き		ビニル巾木 一部撤去		ビニルクロス 撤去		ビニルクロス 撤去		RD一部撤去		RD一部撤去		P撤去	2470	・柱、壁；クロス撤去（モルタル共） ・天井下地仕上撤去（取合部分補修） ・木製建具；仮取外し（2Fのみ、タテ共）	SOP	合成樹脂調合ペイント				
		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ、LP2.2		モルタル金ゴテ下地共		モルタル金ゴテ下地共		LP9一部撤去						OP	油性調合ペイント					
	ホール前廊下	既設のまま		既設のまま		既設のまま、ビニルクロス新設		既設のまま、ビニルクロス新設		RD一部撤去				P新設			VP	塩化ビニル系エナメル				
		既設のまま		既設のまま 柱型；GP1.2新設		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		既設のまま SRF補強+GP1.2新設		LP9一部撤去							SRF	耐震補強（SRF工法）				
	男子便所	25角モザイクタイル	-60~80	-	-	腰；モザイクタイル H≦1600 壁；VP		腰；モザイクタイル 一部撤去 壁；VP		ケイカル板 VP 全面撤去		ケイカル板 VP 撤去		P撤去	2200	・柱型；モルタル撤去（腰タイル共） ・天井撤去 ・木製取外し（木製タテ共）						
		モルタル				腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		LGS 撤去												
	男子便所	既設のまま		ERF補強		既設のまま		SRF補強														
		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま														
女子便所	25角モザイクタイル	-60~80	-	-	腰；モザイクタイル H≦1600 壁；VP		腰；モザイクタイル 一部撤去 壁；VP		ケイカル板 VP 撤去		ケイカル板 VP 撤去		P撤去	2200	・柱型、RC壁；モルタル撤去（腰タイル共） ・天井撤去							
	モルタル				腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		LGS 一部撤去													
女子便所	既設のまま		ERF補強		既設のまま、SRF補強		SRF補強															
	既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま															
押入（①通り客室）	合板t12撤去		雑巾摺り一部撤去	15	合板t5,5 一部撤去		-		合板t5,5 一部撤去		合板t5,5 一部撤去		W一部撤去	2200	・RC壁；合板撤去（木製脚縁共） ・天井撤去 ・中段仮取外し	St	スチール製t1.6加工SOP					
	木製床組（根太45×60@303）一部仮取外し		-		木製脚縁下地共		-		木製下地共													
押入（①通り客室）	合板t12新設		雑巾摺り一部新設	15	既設のまま、合板t5,5新設		-		合板t5,5 新設		合板t5,5 新設		W一部新設									
	木製床組 再取付		木製脚縁下地		既設のまま、SRF補強+木脚縁		-		木製下地共													
4階	男子便所	25角モザイクタイル	-60~80	-	腰；モザイクタイル H≦1600 壁；VP		腰；モザイクタイル 一部撤去 壁；VP		ケイカル板 VP 撤去		ケイカル板 VP 撤去		P撤去	2200	・カッター一切							
		モルタル			腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		腰；モルタル 一部撤去 壁；モルタル金ゴテ		LGS 撤去													
	男子便所	既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま			2200							
		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま										
	客室b	カーペット敷き		ビニル巾木		ビニルクロス		ビニルクロス		ビニルクロス		ビニルクロス		P	2200	・カッター一切						
		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地共		モルタル金ゴテ下地共		LP9												
	客室b	既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま			2200							
		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま										
	読書室	カーペット敷き		ビニル巾木		ビニルクロス		ビニルクロス		ビニルクロス		ビニルクロス		P	2200	・カッター一切						
		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地		モルタル金ゴテ下地共		モルタル金ゴテ下地共		LP9												
	読書室	既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま			2200							
		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま		既設のまま										
																				仕上表共通事項		
																				・巾木Hは高さを表し特記なき限り75とする。		
																				・壁仕上げて既設吹付タイルとあるもので改修後吹付		
																				タイルの時既設部分はトップコート吹付のみとする。		
																				・天井下地LGSとは、原則吊りボルトは含まない。		
・改修後仕上欄に材料の記入のあるものは仕上																						
をやり変えることを示し既設のままとあるものは																						
既設のまま残すことを示す。																						
・柱型の耐震補強（SRF工法）の改修は、既設天井と																						
床を除いてモルタル下地まで撤去し躯体に施工する。																						
・LGS壁下地は、特記なき限りW=65とする。																						
・ケイカル板は、t=6とする。																						

棟 工事区分	階	室名		床		巾木		壁		柱型		天井		備考		略記号				
		現況室名	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	H	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	現況	仕上 下地	現況	天井高	現況 撤去項目	改修後 及び 新設項目	GL	直貼り工法	
																		LGS	軽量鉄骨下地	
②	B1階	浴室	現況	御影石本磨き	—	—	—	陶器質タイル一部撤去	陶器質タイル	バスリブ	—	—	—	—	P	2400~2250	・面台：御影石本磨き一部取外し（モルタル共） ・内部CBt100+壁タイル撤去（H=450）	A-EMP	アクリル系合成樹脂 エマルジョンペイント	
				モルタル下地	—	—	—	モルタル下地一部撤去	モルタル下地	LGS	—	—	—	—		—		St	LP12	LGS+GB-Rt12.5
		浴室	現況	既設のまま	—	—	—	—	既設のまま	陶器質タイル一部新設	既設のまま	既設のまま	—	—	—	既設のまま	既設のまま	・面台：再取付（補修共） 周囲シーリング新設 ・内部CBt100+壁タイル新設	LP9	LGS+GB-Rt9.5
				既設のまま	—	—	—	既設のまま	モルタル一部新設	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—	—	—		—		LP22	LGS+GB-Rt9.5+12.5
		脱衣室	現況	ビニル床シート 全面撤去	—	—	—	60	—	内部用吹付タイル	内部用吹付タイル	内部用吹付タイル	—	—	—	P	2300	・床仕上げ全面撤去	GP12	GB-Rt12.5 (GL工法)
				モルタル金ゴテ下地	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	LK6	—	—	—		—		耐LP12	LGS+GB-St12.5
	脱衣室	現況	ビニル床シートも2 新設	—	—	—	60	—	トップコート吹付	トップコート吹付	トップコート吹付	—	—	—	既設のまま	既設のまま	・床仕上げ全面撤去	LK14	LGS+ケイカルt8+6 (W1019)	
			既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—	—	—		—		LB6	LGS+ケイカルt6	
	1階	浴室	現況	御影石本磨き	—	—	—	—	陶器質タイル一部撤去	陶器質タイル	バスリブ	—	—	—	P	2400~2250	・面台：御影石本磨き一部取外し（モルタル共） ・内部CBt100+壁タイル撤去（H=450） ・浴槽立上げ部0.3㎡撤去	BB	ブラインドボックス	
				モルタル下地	—	—	—	—	モルタル下地一部撤去	モルタル下地	LGS	—	—	—		—		St	カーテンレール	
		浴室	現況	既設のまま	—	—	—	—	既設のまま	陶器質タイル一部新設	既設のまま	既設のまま	—	—	既設のまま	既設のまま	・面台：再取付（補修共）周囲シーリング新設 ・内部CBt100+壁タイル新設 ・壁一部張替え（0.3㎡）	CL	クリアラッカー	
				既設のまま	—	—	—	—	既設のまま	モルタル一部新設	既設のまま	既設のまま	—	—		—		—	SOP	合成樹脂適合ペイント
		脱衣室	現況	フローリング張り	—	—	—	60	—	内部用吹付タイル	内部用吹付タイル	内部用吹付タイル	—	—	—	P	2300	—	VP	塩化ビニル系エナメル
				モルタル金ゴテ下地	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	LK6	—	—	—		—		OP	油性適合ペイント
		脱衣室	現況	既設のまま	—	—	—	60	—	トップコート吹付	トップコート吹付	トップコート吹付	—	—	—	既設のまま	既設のまま	—	VP	塩化ビニル系エナメル
				既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—	—	—		—		—	—
		廊下	現況	ビニル床シートも2	—	—	—	—	—	VP	VP	化粧石膏ボード一部撤去	—	—	—	P	2300	・天井：一部撤去	—	—
				モルタル金ゴテ下地	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	LGS一部撤去	—	—	—		—		—	—
		廊下	現況	既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	化粧石膏ボードも9.5新設	—	—	—	P	既設のまま	—	—	—
				既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	LGS新設	—	—	—		—		—	—
	宿直室	現況	織取タミ敷き	—	—	—	55	—	ビニールクロス	ビニールクロス	化粧石膏ボード（木目）撤去	—	—	—	W	2200	・天井：全面撤去	—	—	
			土間コンクリート	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ下地	モルタル金ゴテ下地	LGS撤去	—	—	—		—		—	—	—
	宿直室	現況	既設のまま	—	—	—	55	—	既設のまま	既設のまま	化粧石膏ボード（杉材）も9.5新設	—	—	—	W	既設のまま	—	—	—	
			既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	LGS新設	—	—	—		—		—	—	—
事務室	現況	ビニル床シートも2	—	—	—	75	—	VP	VP	化粧石膏ボード	—	—	—	P	2300	—	—	—		
		モルタル金ゴテ下地	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	LGS	—	—	—		—		—	—	—	—
事務室	現況	既設のまま	—	—	—	75	—	VP	VP	既設のまま	—	—	—	既設のまま	既設のまま	—	—	—		
		既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	LP22	—	—	—		—		—	—	—	—
2階 ~ 4階	男子便所	現況	25角モザイクタイル一部撤去	—60~80	—	—	—	—	モザイクタイル撤去	モザイクタイル撤去	VP撤去	—	—	P	2200	・ブース撤去H=1800 ・天井全面撤去 ・床タイル一部撤去 ・面台撤去（CBt100+壁100角タイル共）	—	—		
			モルタル下地一部撤去	—	—	—	—	—	モルタル撤去	モルタル撤去	LK6撤去	—	—		—		—	—	—	—
		男子便所	現況	ビニル床シートも2新設	—5	—	—	75	—	化粧ケイカル板も6	化粧ケイカル板も6	化粧石膏ボードも9.5新設	—	—	P	2200	・ブース新設 ・男女隔てLGS壁新設 ・天井全面撤去 ・周囲LGS壁新設 ・既設額縁SOP塗替え ・面台新設 見切新設	—	—	
				モルタル下地新設	—	—	—	—	—	LP12、一部Mバー下地	LP12、一部Mバー下地	LGS新設	—	—		—		—	—	—
	女子便所	現況	25角モザイクタイル一部撤去	—60~80	—	—	—	—	モザイクタイル撤去	モザイクタイル撤去	VP撤去	—	—	P	2200	・ブース撤去H=1800 ・天井全面撤去 ・床タイル一部撤去	—	—		
			モルタル下地一部撤去	—	—	—	—	—	モルタル撤去	モルタル撤去	LK6撤去	—	—		—		—	—	—	—
	女子便所	現況	ビニル床シートも2新設	—5	—	—	75	—	化粧ケイカル板も6	化粧ケイカル板も6	化粧石膏ボードも9.5新設	—	—	P	2200	・ブース新設 ・男女隔てLGS壁新設 ・天井全面撤去 ・周囲LGS壁新設 ・既設額縁SOP塗替え ・見切新設	—	—		
			モルタル下地新設	—	—	—	—	—	LP12、一部Mバー下地	LP12、一部Mバー下地	LGS新設	—	—		—		—	—	—	—
	2階	厨房	現況	モルタル金ゴテ	—	—	—	—	モザイクタイル撤去	モザイクタイル撤去	VP	—	—	P	直天	—	—	—	—	
				RCスラブ	—	—	—	—	—	モルタル撤去	モルタル撤去	LK6	—		—			—	—	—
		厨房	現況	既設のまま	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—	—	既設のまま	既設のまま	—	—	—	—	
				既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—		—			—	—	—
3階 4階	配膳	現況	ビニル床シートも2	—	—	—	—	VP	VP	VP	—	—	P	2200	—	—	—	—		
			モルタル金ゴテ下地	—	—	—	—	—	モルタル金ゴテ	モルタル金ゴテ	LK6	—		—			—	—	—	—
	配膳	現況	既設のまま	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—	—	既設のまま	既設のまま	—	—	—	—		
			既設のまま	—	—	—	—	—	既設のまま	既設のまま	既設のまま	—		—			—	—	—	—



凡例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
(+100) 床仕上高	
	ディテール符号
LP12	LGS+PBt12.5mm
LP22	LGS+PBt9.5+12.5mm
LK14	LGS+イカカ板t8+6mm
撤去平面図中使用凡例	
	撤去工事対象室 (現況室名)
	室名・用途変更室 (現況室名)
	部分撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床下地撤去範囲 (木床組のみ)
	床下撤去範囲
	天井撤去範囲
AD (例) 建具符号 (撤去)	
	柱型モルタル撤去部分
	カッター目地位置
改修平面図中使用凡例	
	改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	建具符号 (新設)
実線表示	新設部分
破線表示	既設部分
	天井仕上下地新設範囲
	床下地新設範囲 (木床組のみ)
	床下再取付範囲
	壁下地仕上新設範囲
	柱型・耐震改修部分
	スリット新設部分
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 既設柱補強において、柱より600の範囲で床下・天井・壁を撤去復旧する。 既設アルミサッシ・鋼製建具が壊れる場合は、既設枠までとし、木製壁とLGS壁は撤去する。 タタミと地板は1枚を取り外し再設置とする。 天井は下地仕上共撤去新設とし、吊ボルトのみ既設利用とする。 柱の既設仕上はスラブ・梁下までを撤去SRP工法を施し内部はGLで壁下地を組み、外部はモルタル既存仕上を復旧とする。 既設壁補強においても、壁下地仕上を撤去し壁より600の範囲で天井を撤去復旧する。階段壁補強範囲を床下木上までとする。 	
KEY PLAN	



KEY PLAN	
図面番号	
1015	
図面内容	
耐震改修 1階平面図	
図尺	
図示	
図面区分	
建築意匠図	

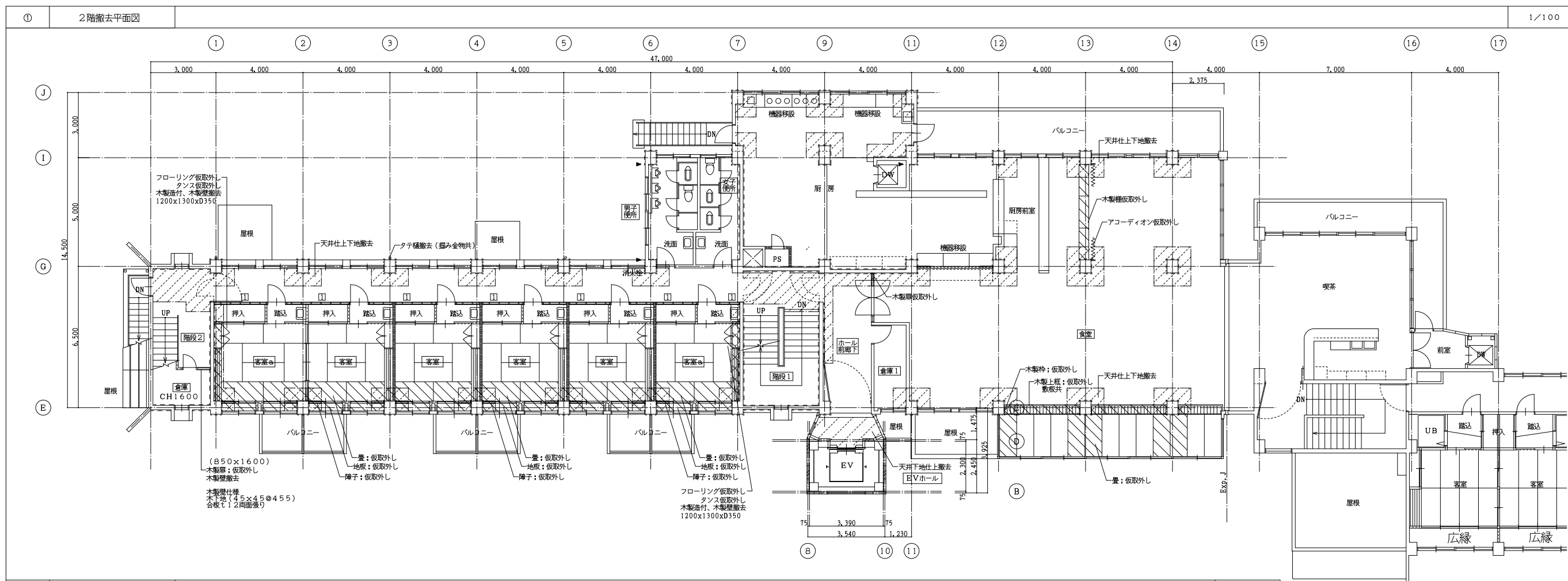
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEIKI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.

代表	設計	監修	製図	検印	訂正
新井 一治	海老原 悟				
13.1.26	13.1.28				

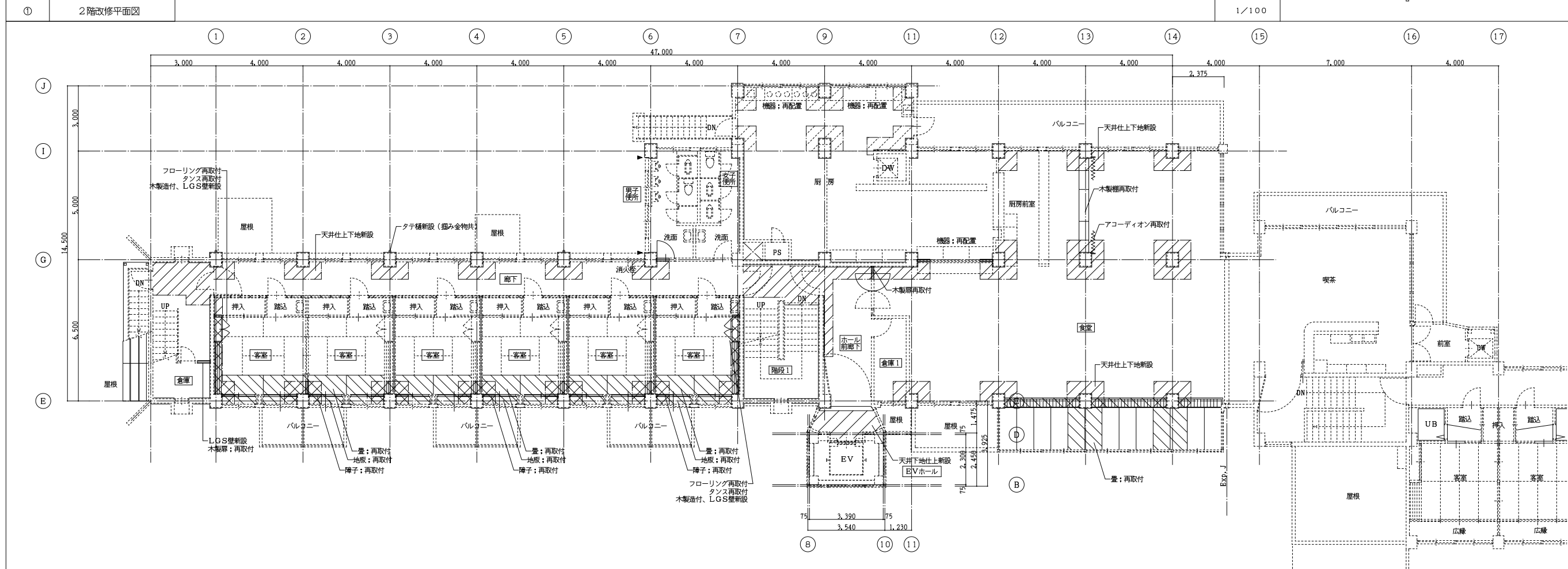
特記
 ・耐震改修を行う各柱の断面寸法は、全て550×650とする。
 ・耐震改修を行う各柱に付RC壁の厚さは、180とする。

国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事

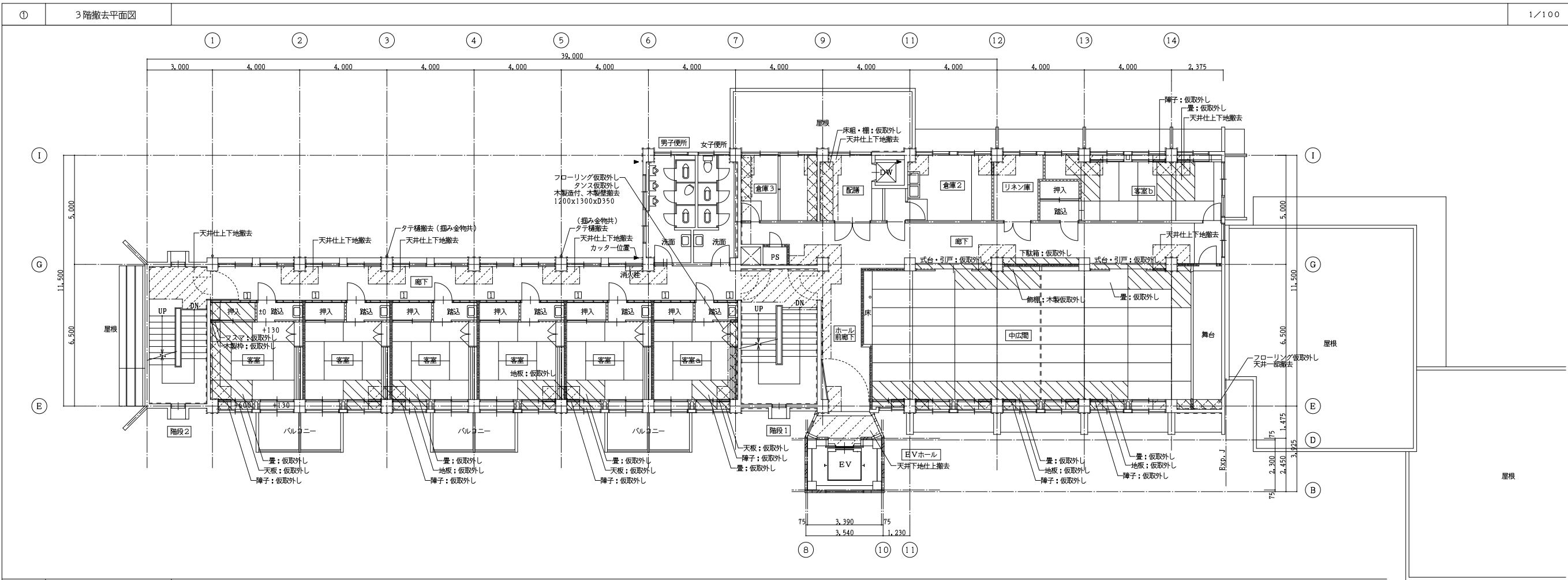
図面内容
耐震改修 1階平面図
図尺
図示
図面区分
建築意匠図



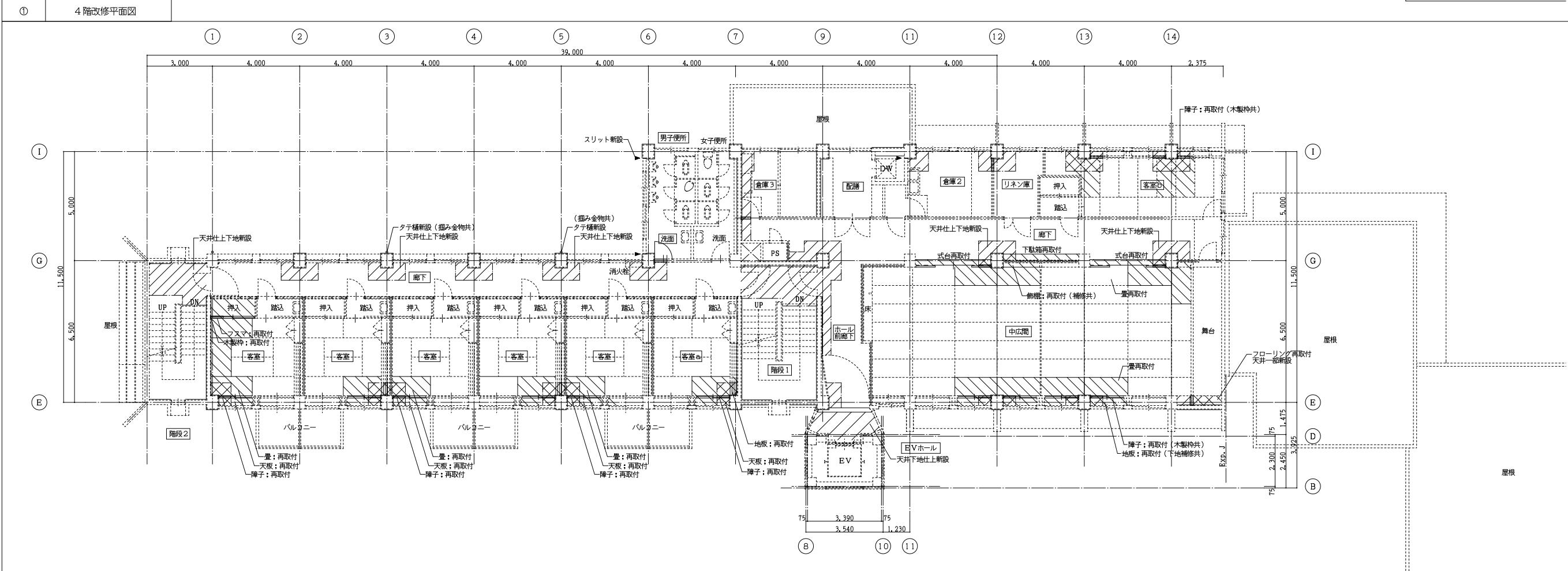
凡例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
(+100) 床仕上高	
	(例) デティール符号
	LP12 LGS+PBt12.5mm
	LP22 LGS+PBt9.5+12.5mm
	LK14 LGS+ケイカル板t8+6mm
撤去平面図中使用凡例	
	撤去工事対象室 (現況室名)
	室名・用途変更室 (現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床下地撤去範囲 (木床組のみ)
	床仕上撤去範囲
	AD (例) 建具符号 (撤去)
	柱型・耐震撤去部分
	▼ カッター目地位置
改修平面図中使用凡例	
	改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	(例) 建具符号 (新設)
	実線表示 新設部分
	破線表示 既設部分
	天井仕上下地新設範囲
	床下地新設範囲 (木床組のみ)
	床仕上再取付範囲
	壁下地仕上再取付範囲
	柱型・耐震改修部分
	スリット新設部分
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 既設柱補強において、柱より600の範囲で床下地・天井・壁を撤去復旧する。 既設サッシ・鋼製建具等が隣接する場合は、既設枠までとする。RC壁隣接部も同様とする。 タタミと地板は1枚を取り外し再設置とする。 天井は下地仕上撤去新設とし、吊ボルトのみ既設利用とする。 柱の既設仕上下地はスラブ~梁下までを撤去SRP工法を施し内部はGLで壁下地を組み、外部はモルタル+既存仕上を復旧とする。 既設壁補強においても、壁より600の範囲で天井を撤去復旧し、床は巾木上部までとする。 	
KEY PLAN	



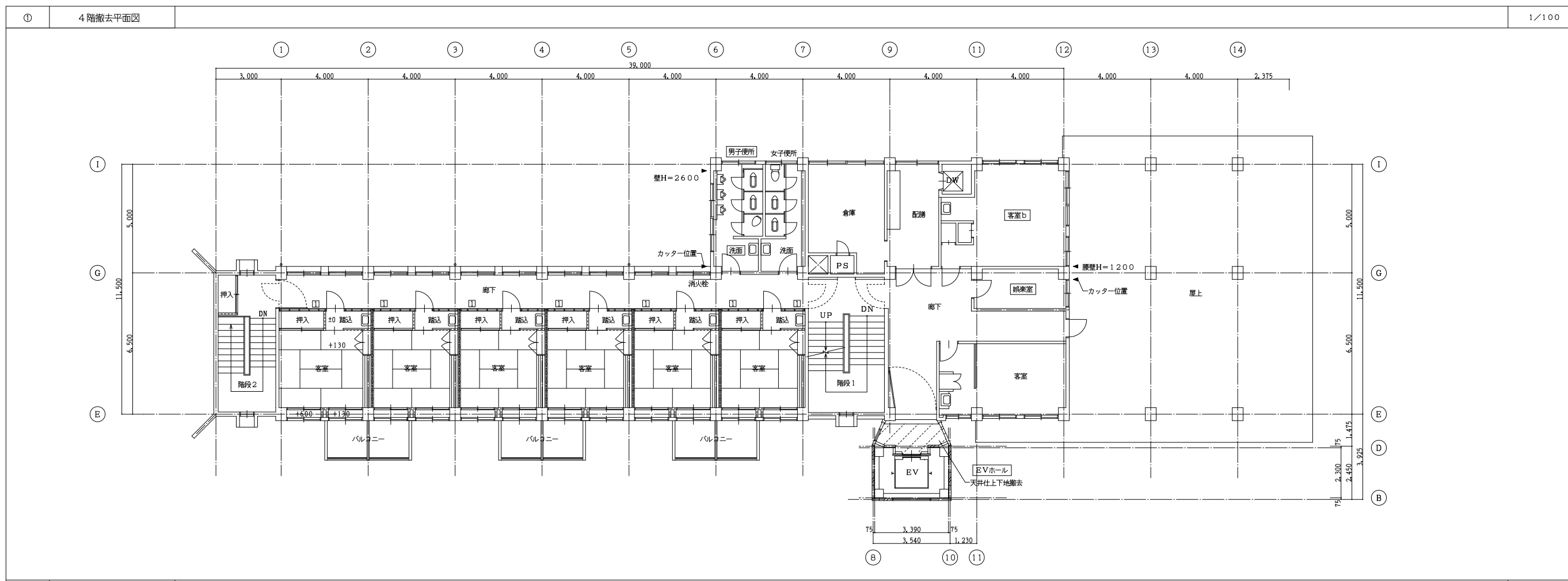
KEY PLAN	



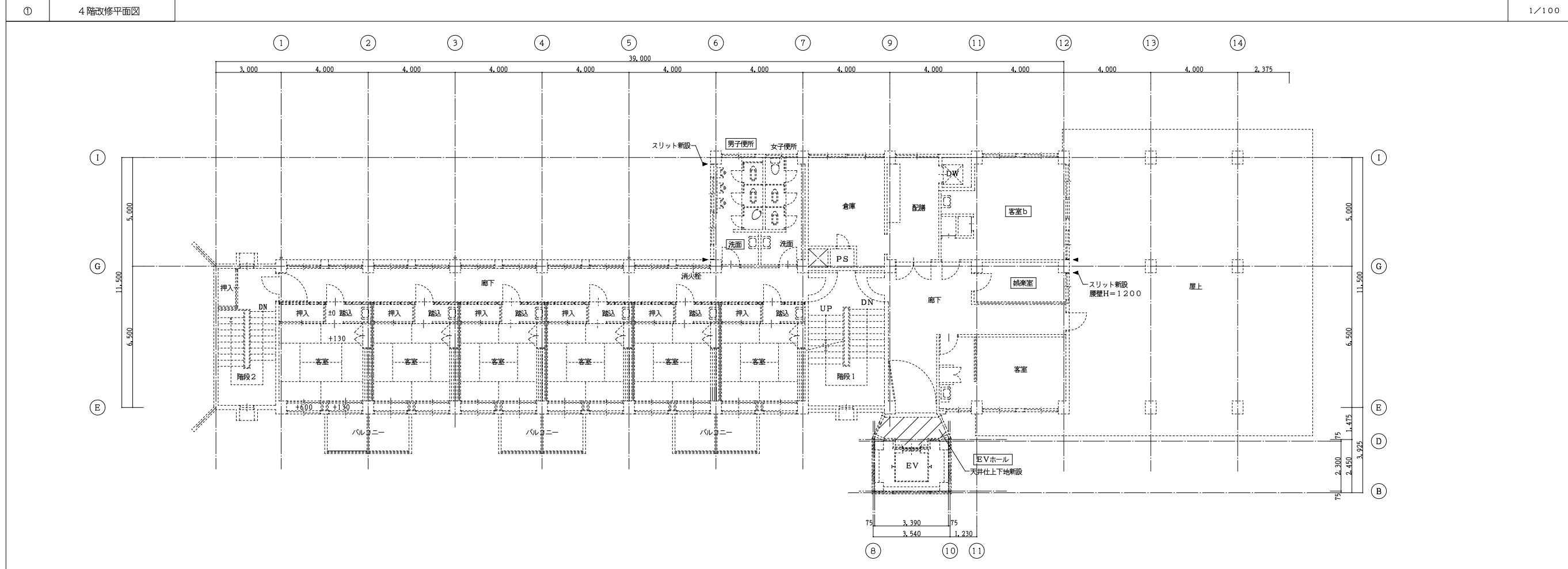
凡例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地盤
	木製下地盤
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
撤去平面図中撤去記号	
	撤去工事対象室 (現況室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	部分撤去範囲
	床下地撤去範囲 (木床組のみ)
	床下撤去範囲
	AD (例) 建具符号 (撤去)
	柱型モルタル撤去部分
	カッター目地位置
改修平面図中撤去記号	
	改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	AD (例) 建具符号 (新設)
	実線表示 新設部分
	破線表示 既設部分
	天井上下地新設範囲
	床下地新設範囲 (木床組のみ)
	床下撤去範囲
	壁下地上新設範囲
	柱型・耐震改修部分
	スリット新設部分
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 既設柱補強において、柱より600の範囲で床下地・天井・壁を撤去復旧する。 既設サッシ・鋼製建具等が隣接する場合は、既設枠までとする。RC壁隣接部も同様とする。 タタミと地板は1枚を取り外し再設置とする。 天井は下地仕上撤去新設とし、吊ボルトのみ既設利用とする。 柱の既設仕上撤去はスラブ・梁下までを撤去SRP工法を施し内部はGLで壁下地を組み、外部はモルタル既存仕上を復旧とする。 既設壁補強においても、壁より600の範囲で天井を撤去復旧し、床は中木上部までとする。 	
KEY PLAN	



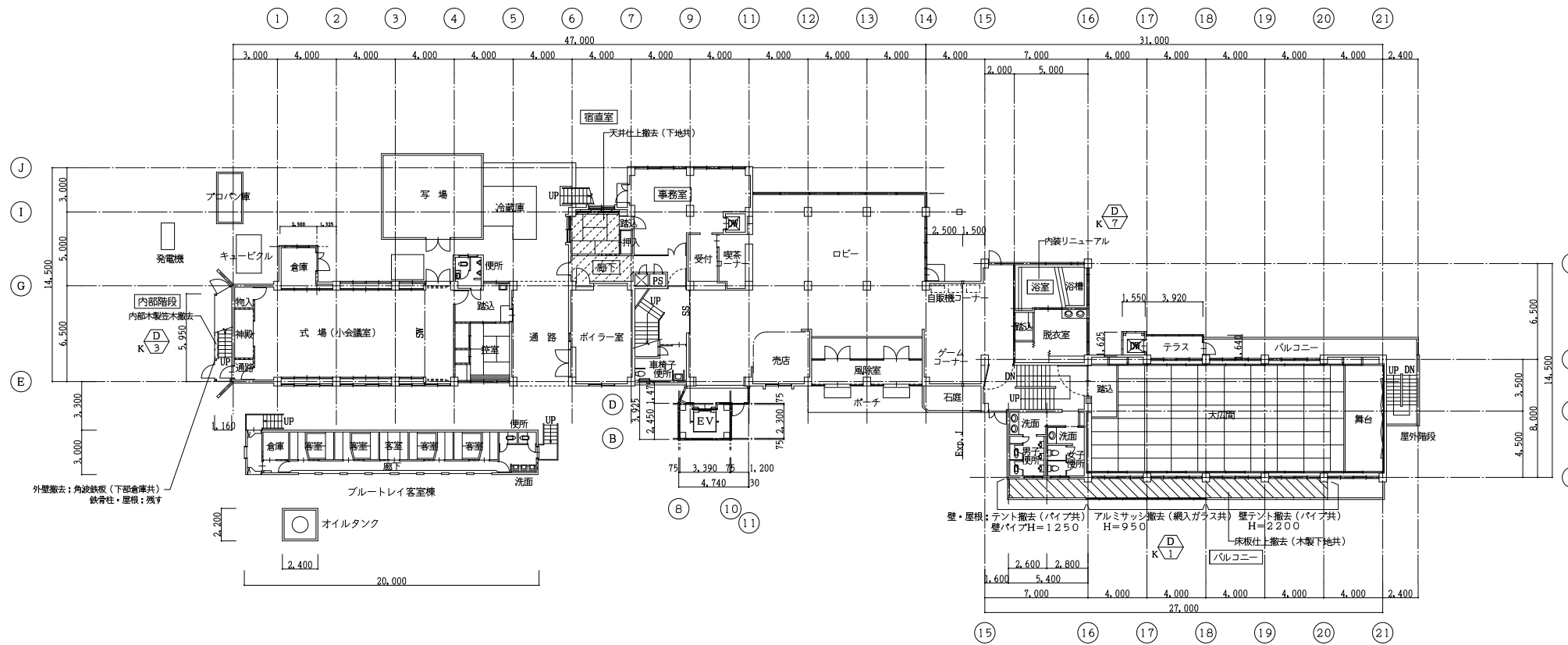
KEY PLAN	



凡 例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
撤去平面図中使用凡例	
	撤去工事対象室 (現況室名)
	室名・用途変更室 (現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床下地撤去範囲 (木床組のみ)
	床仕上撤去範囲
	AD (例) 建具符号 (撤去)
	柱型モルタル撤去部分
	カッター目地位置
改修平面図中使用凡例	
	改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	AD (例) 建具符号 (新設)
	実線表示 新設部分
	破線表示 既設部分
	天井仕上下地新設範囲
	床下地新設範囲 (木床組のみ)
	床仕上再取付範囲
	壁下地仕上新設範囲
	柱型; 耐震改修部分
	スリット新設部分
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 既設柱補強において、柱より600の範囲で床下地・天井・壁を撤去後戻す。 既設サッシ・鋼製建具等が隣接する場合は、既設枠までとする。RC壁隣接部も同様とする。 タタミと地板は1枚を取り外し再設置とする。 天井は下地仕上共 撤去新設とし、吊ボルトのみ既設利用とする。 柱の既設仕上下地はスラブ~梁下までを撤去SRP工法を施し内部はGLで壁下地を組み、外部はモルタル+既存仕上を復旧とする。 既設壁補強においても、壁より600の範囲で天井を撤去後戻し、床は中木上部までとする。 	
KEY PLAN	



KEY PLAN	



凡例

材料・構造・その他表示記号

- 鉄筋コンクリート
- A.L.C版
- 押出成形セメント板t60
- LGS下地壁
- 木製下地壁
- パーティション
- コンクリートブロック
- 耐火間仕切(1時間)

(+100) 床仕上高

K(例) デイテル符号

LP12 LGS+PBt12.5mm

LP22 LGS+PBt9.5+12.5mm

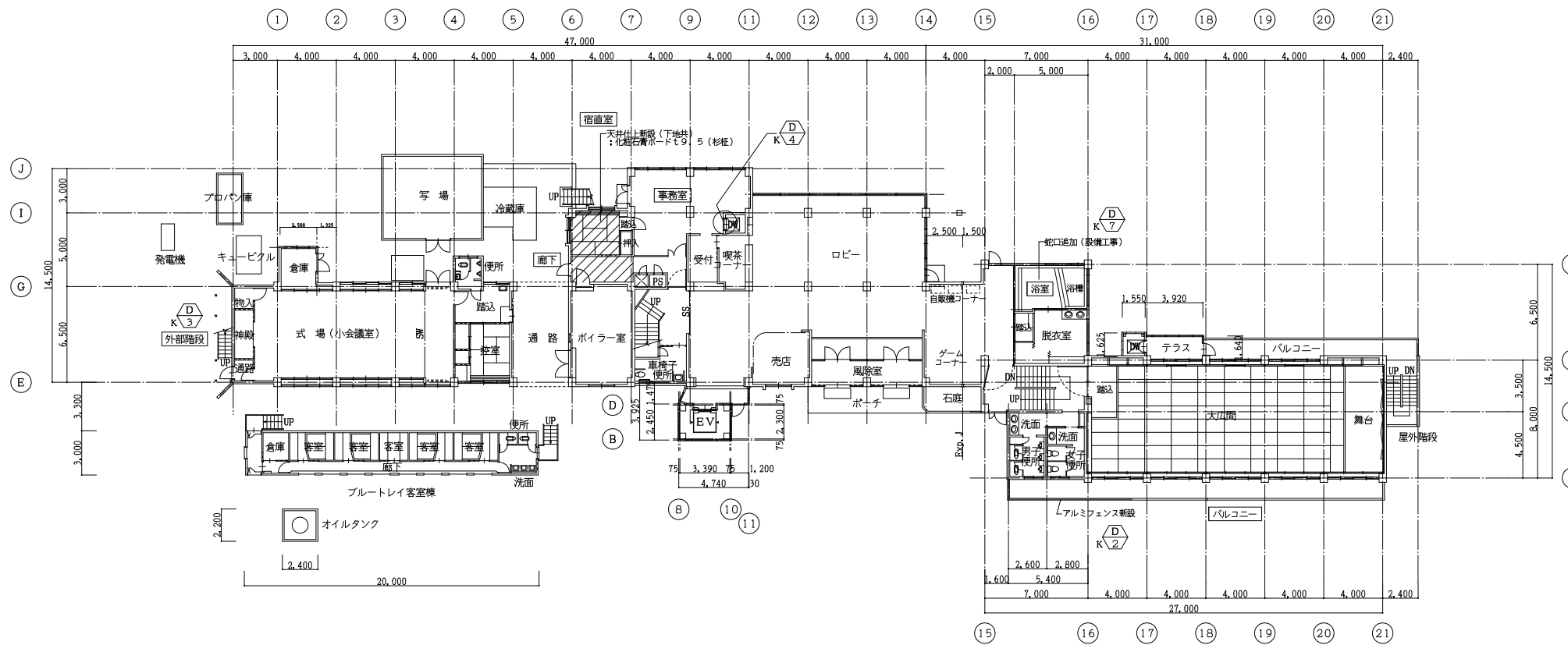
LK14 LGS+ケイカル板t8+6mm

撤去平面図中使用凡例

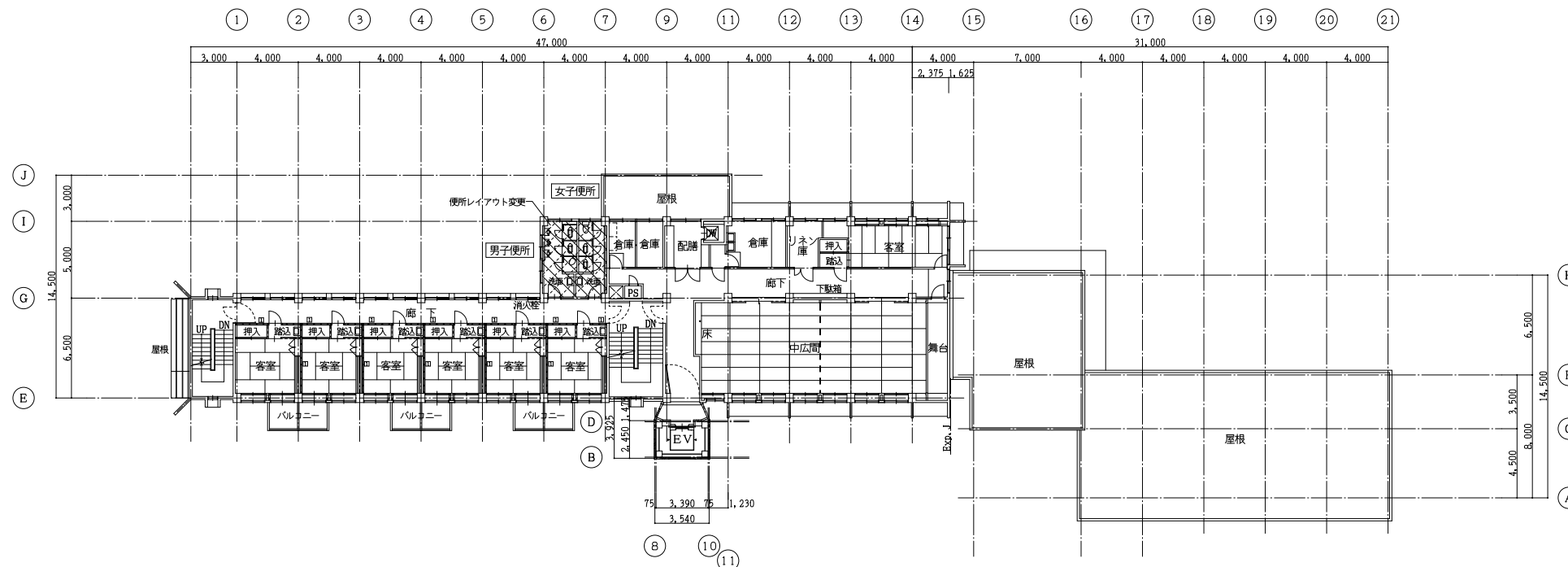
- 室名 撤去工事対象室 (現況室名)
- 室名 室名・用途変更室 (現況室名)
- 部分壁撤去範囲
- 天井仕上下地撤去範囲
- 床仕上撤去範囲
- AD(例) 建具符号(撤去)

改修平面図中使用凡例

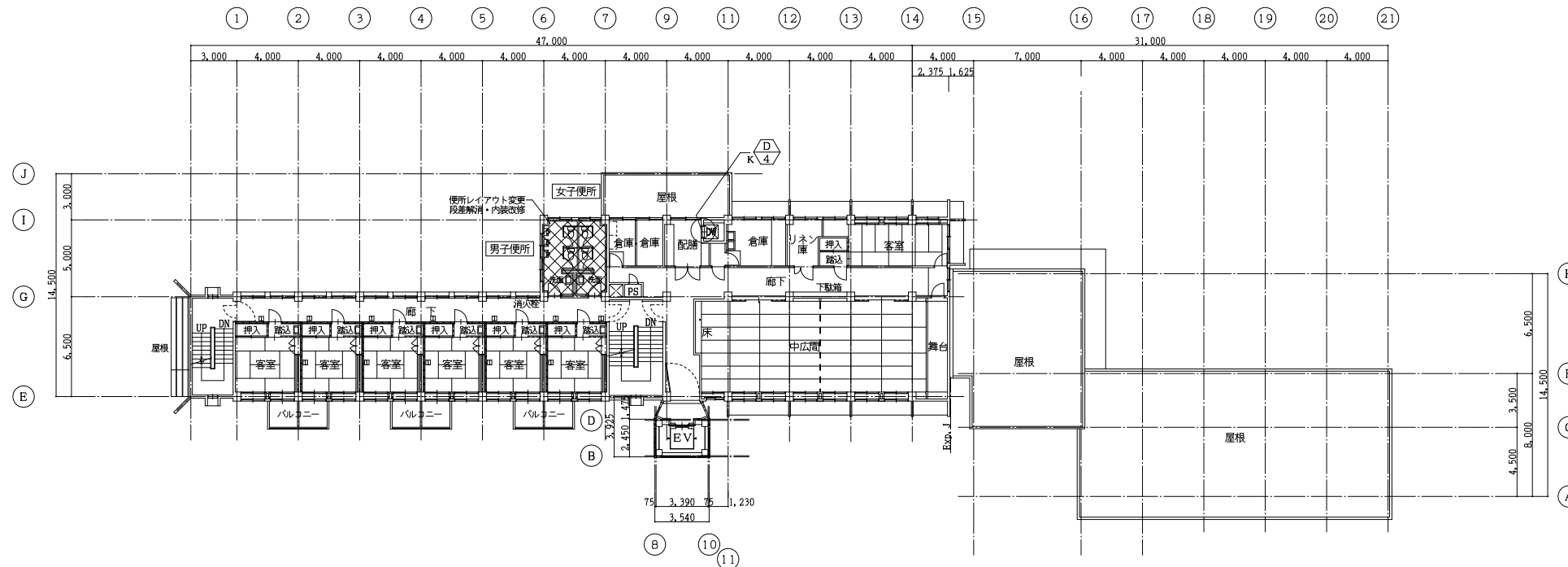
- 室名 改修工事対象室 (計画室名)
- 室名 室名・用途変更室 (計画室名)
- K(例) 建具符号(新設)
- 実線表示 新設部分
- 破線表示 既設部分
- 天井仕上下地新設範囲
- 床仕上新設範囲
- DW層部; 壁新設部分
- 壁下地仕上新設範囲



特記事項



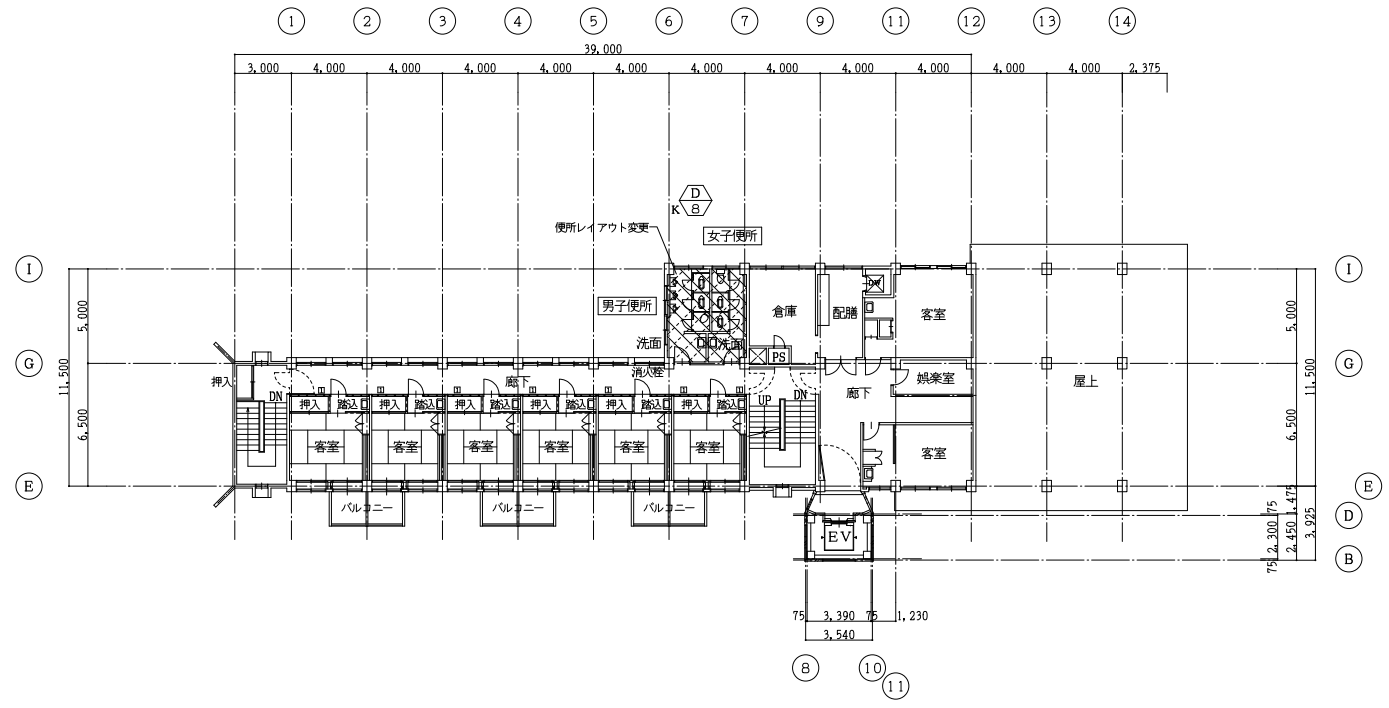
凡例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地盤
	木製下地盤
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
(+100)	床仕上高
	ディテール符号
LP12	LGS+PBt12.5mm
LP22	LGS+PBt9.5+12.5mm
LK14	LGS+ケイカル板t8+6mm
撤去平面図中使用凡例	
	撤去工事対象室(現況室名)
	室名・用途変更室(現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床仕上撤去範囲
AD(例)	建具符号(撤去)
改修平面図中使用凡例	
	改修工事対象室(計画室名)
	室名・用途変更室(計画室名)
	建具符号(新設)
実線表示	新設部分
破線表示	既設部分
	天井仕上下地新設範囲
	床仕上新設範囲
	DW扉部; 壁新設部分
	壁下地仕上新設範囲
特記事項	



凡例	
材料・構造・その他表示記号	
	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地盤
	木製下地盤
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)
(+100)	床仕上高
	ディテール符号
LP12	LGS+PBt12.5mm
LP22	LGS+PBt9.5+12.5mm
LK14	LGS+ケイカル板t8+6mm
撤去平面図中使用凡例	
	撤去工事対象室(現況室名)
	室名・用途変更室(現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床仕上撤去範囲
AD(例)	建具符号(撤去)
改修平面図中使用凡例	
	改修工事対象室(計画室名)
	室名・用途変更室(計画室名)
	建具符号(新設)
実線表示	新設部分
破線表示	既設部分
	天井仕上下地新設範囲
	床仕上新設範囲
	DW扉部; 壁新設部分
	壁下地仕上新設範囲
特記事項	

資格/番号	記名	業種	業種	後日	訂正	特記
代表 設計者 第151989号	新井 一治	建築士	建築士	13.1.26	13.1.28	
担当 設計者 第281605号	海老原 悟	建築士	建築士			

図面内容	図面番号
3階平面図	1022
縮尺 図示	枚ノ内 区分 建築意匠図



凡例

材料・構造・その他表示記号

	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)

(+100) 床仕上高

\triangle (例) ディテル符号

LP12 LGS+PBt12.5mm

LP22 LGS+PBt9.5+12.5mm

LK14 LGS+ケイカル板t8+6mm

撤去平面図中使用凡例

	室名 撤去工事対象室 (現況室名)
	室名 室名・用途変更室 (現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床仕上撤去範囲
AD (例)	建具符号 (撤去)

改修平面図中使用凡例

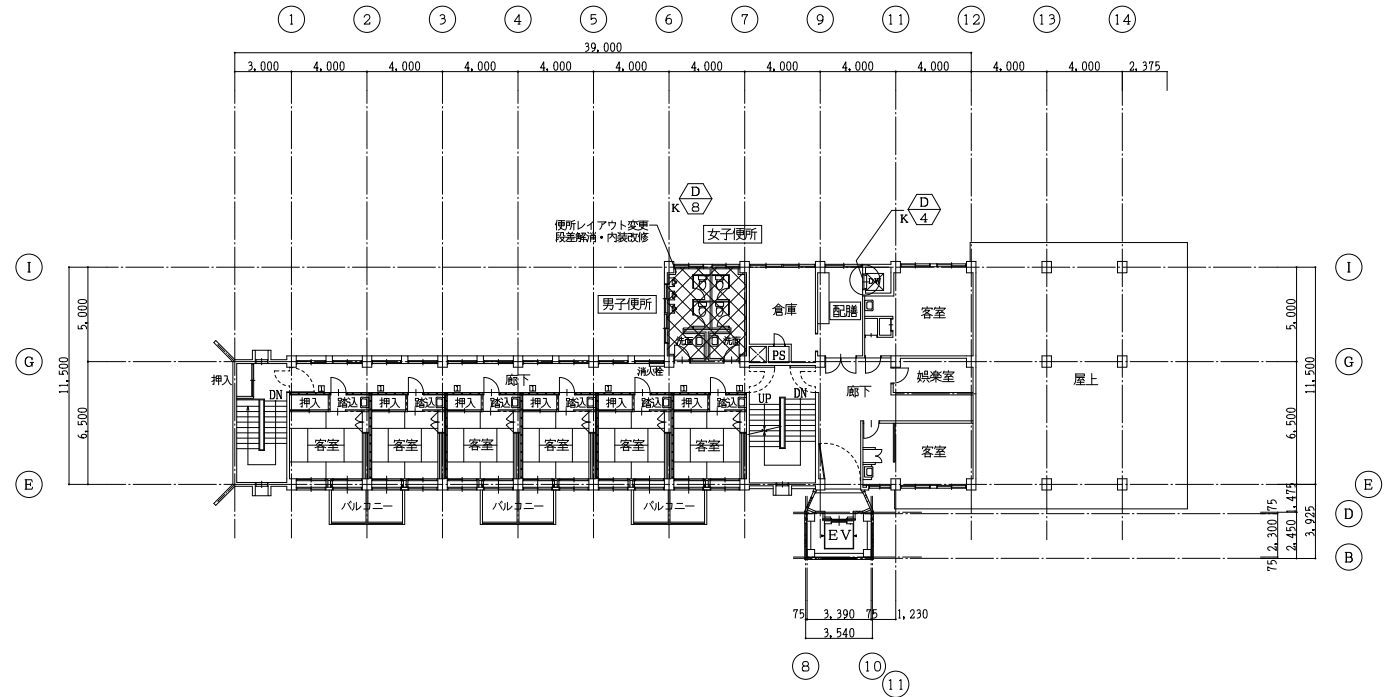
	室名 改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
\triangle (例)	建具符号 (新設)

実線表示 新設部分

破線表示 既設部分

	天井仕上下地新設範囲
	床仕上新設範囲
	DW扉部; 壁新設部分
	壁下地仕上新設範囲

特記事項



凡例

材料・構造・その他表示記号

	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切(1時間)

(+100) 床仕上高

\triangle (例) ディテル符号

LP12 LGS+PBt12.5mm

LP22 LGS+PBt9.5+12.5mm

LK14 LGS+ケイカル板t8+6mm

撤去平面図中使用凡例

	室名 撤去工事対象室 (現況室名)
	室名 室名・用途変更室 (現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床仕上撤去範囲
AD (例)	建具符号 (撤去)

改修平面図中使用凡例

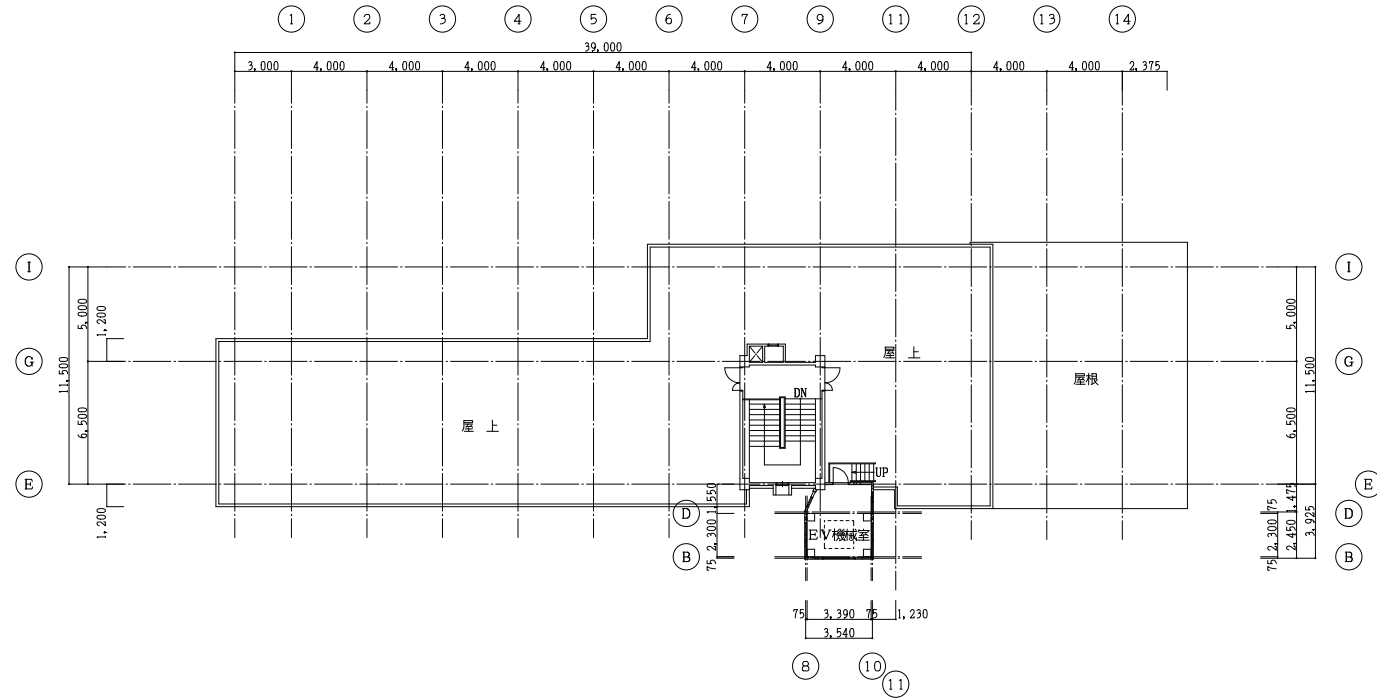
	室名 改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
\triangle (例)	建具符号 (新設)

実線表示 新設部分

破線表示 既設部分

	天井仕上下地新設範囲
	床仕上新設範囲
	DW扉部; 壁新設部分
	壁下地仕上新設範囲

特記事項



凡例

材料・構造・その他表示記号

	鉄筋コンクリート
	ALC版
	押出成形セメント板t60
	LGS下地壁
	木製下地壁
	パーティション
	コンクリートブロック
	耐火間仕切 (1時間)

(+100)	床仕上高
	ディテール符号
LP12	LGS+PBt12.5mm
LP22	LGS+PBt9.5+12.5mm
LK14	LGS+ケイカル板t8+6mm

撤去平面図中使用凡例

	撤去工事対象室 (現況室名)
	室名・用途変更室 (現況室名)
	部分壁撤去範囲
	天井仕上下地撤去範囲
	床仕上撤去範囲
AD (例)	建具符号 (撤去)

改修平面図中使用凡例

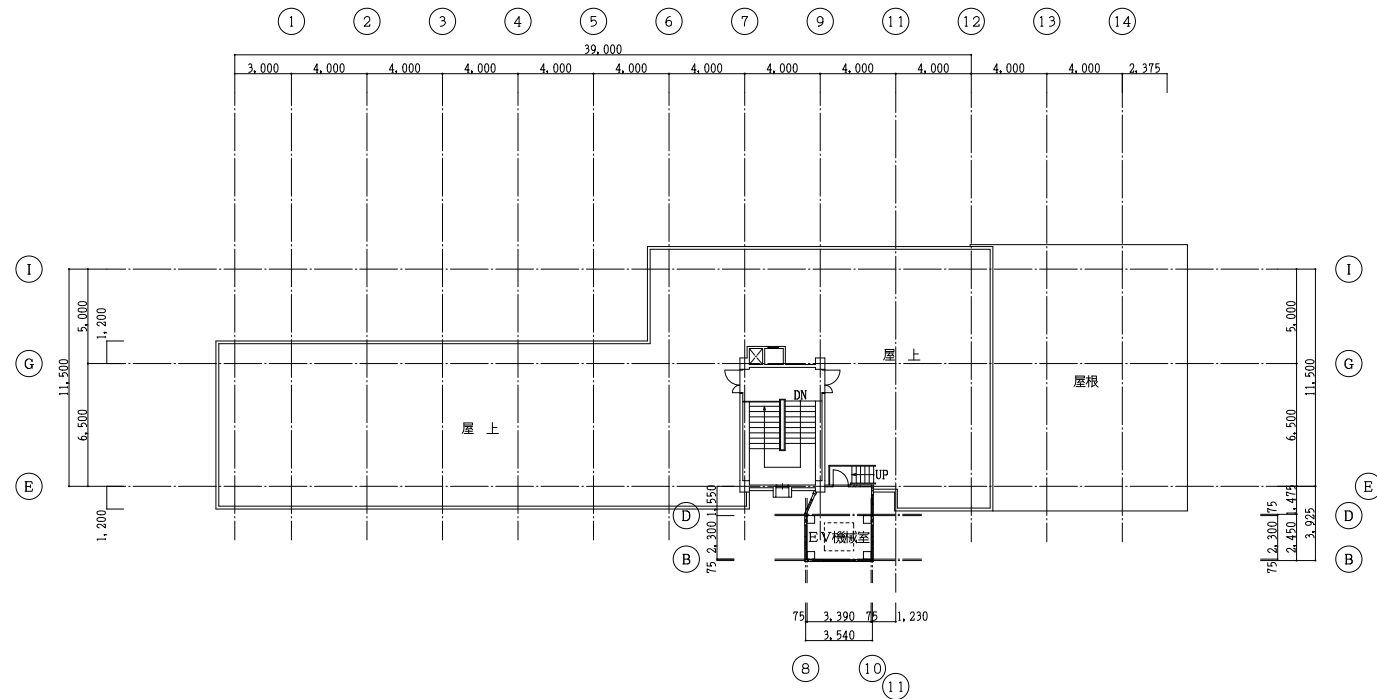
	改修工事対象室 (計画室名)
	室名・用途変更室 (計画室名)
	建具符号 (新設)

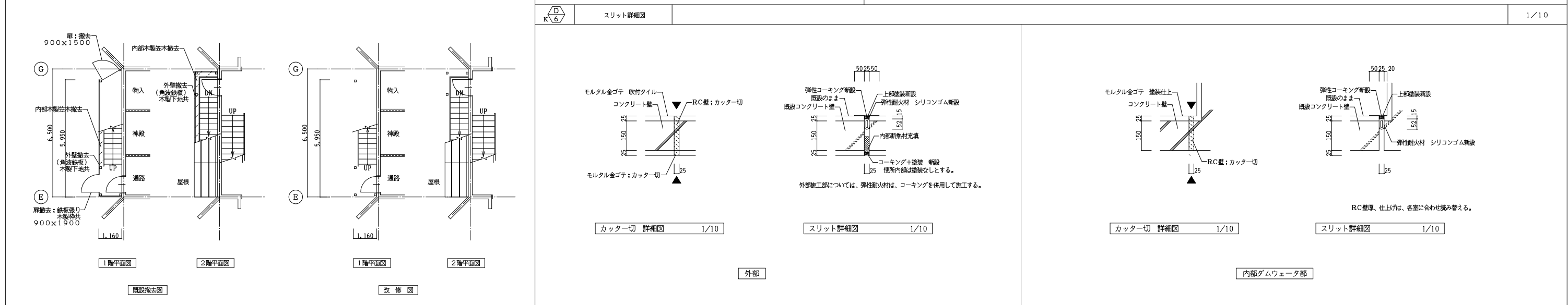
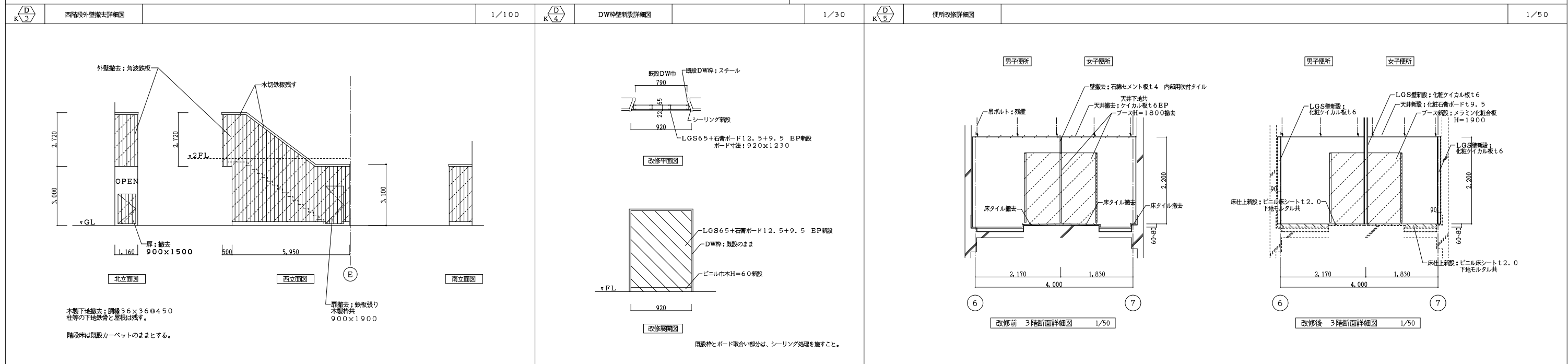
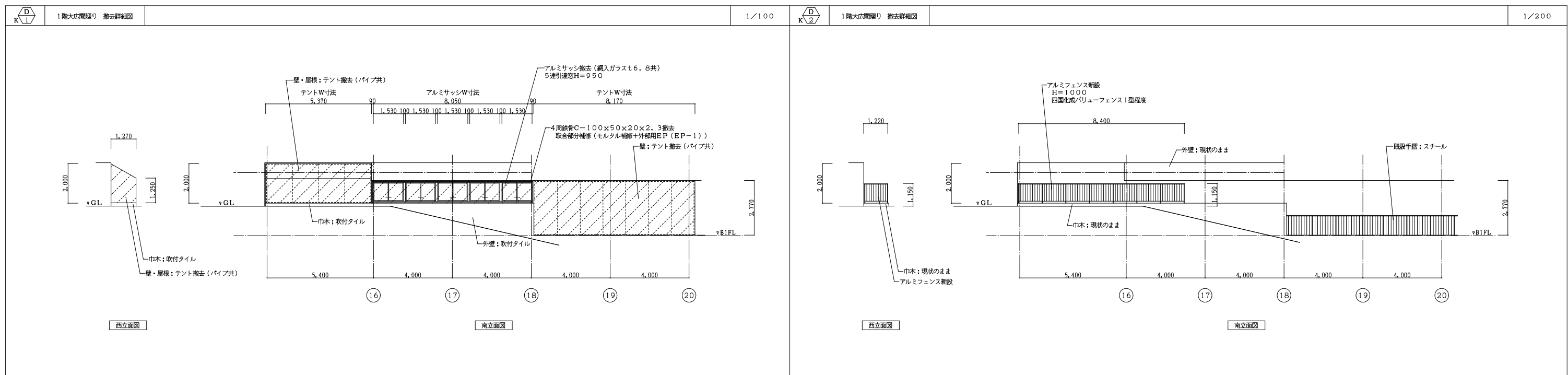
実線表示 新設部分

破線表示 既設部分

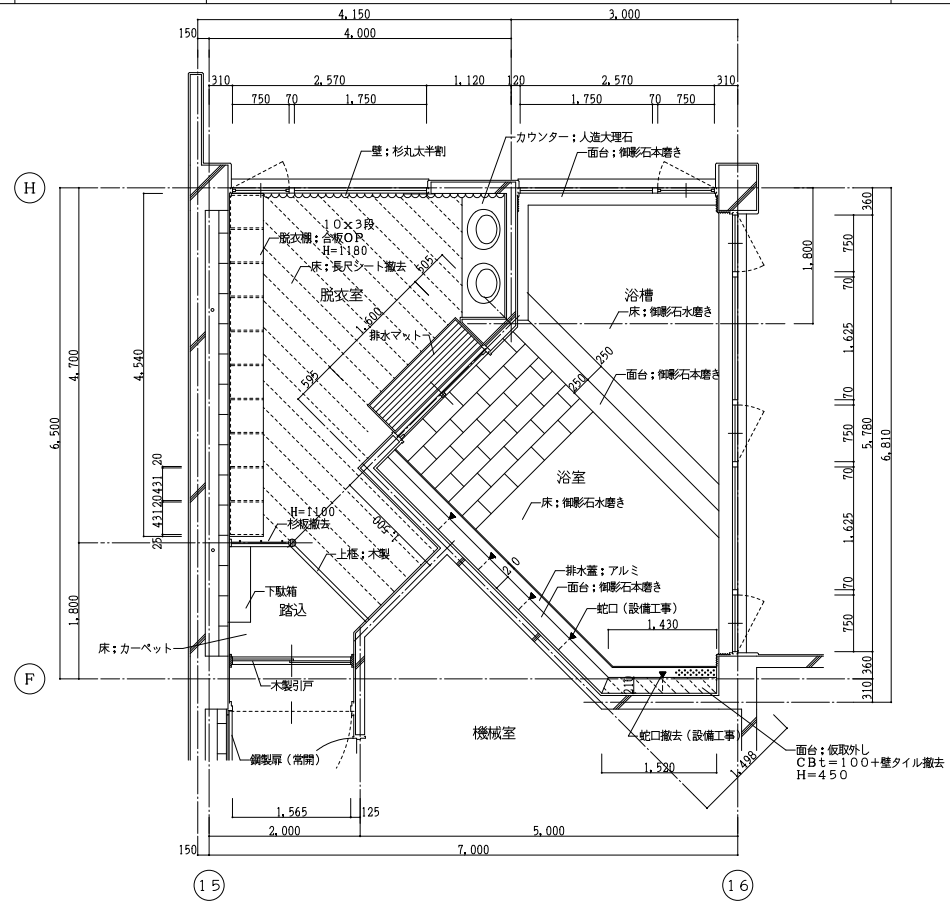
	天井仕上下地新設範囲
	床仕上新設範囲
	DW扉部; 壁新設部分
	壁下地仕上新設範囲

特記事項

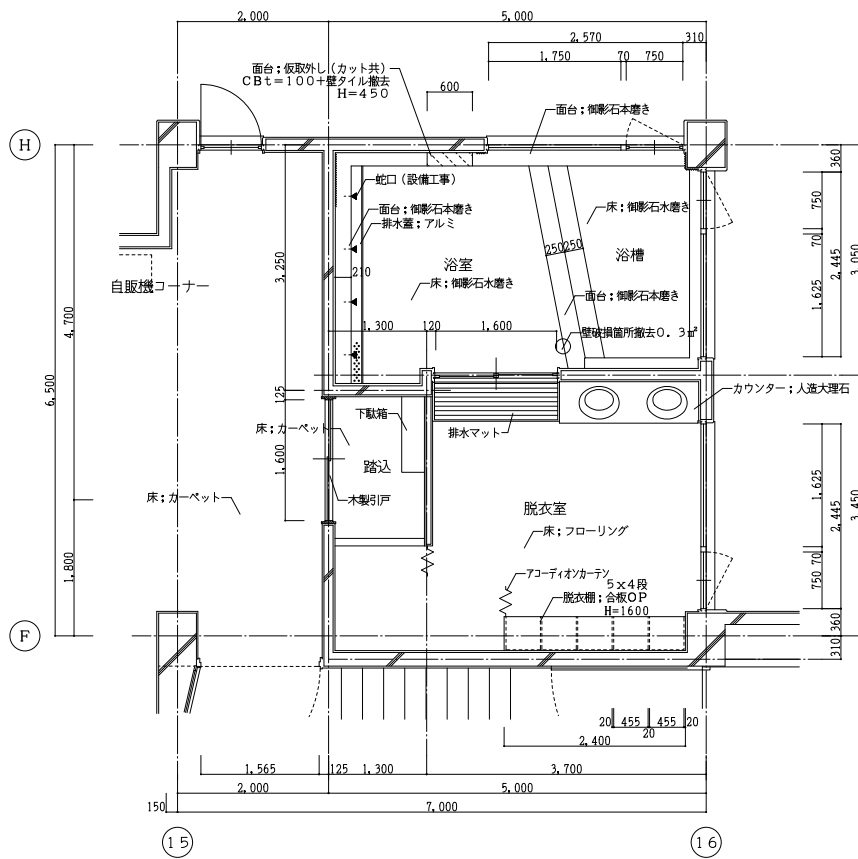




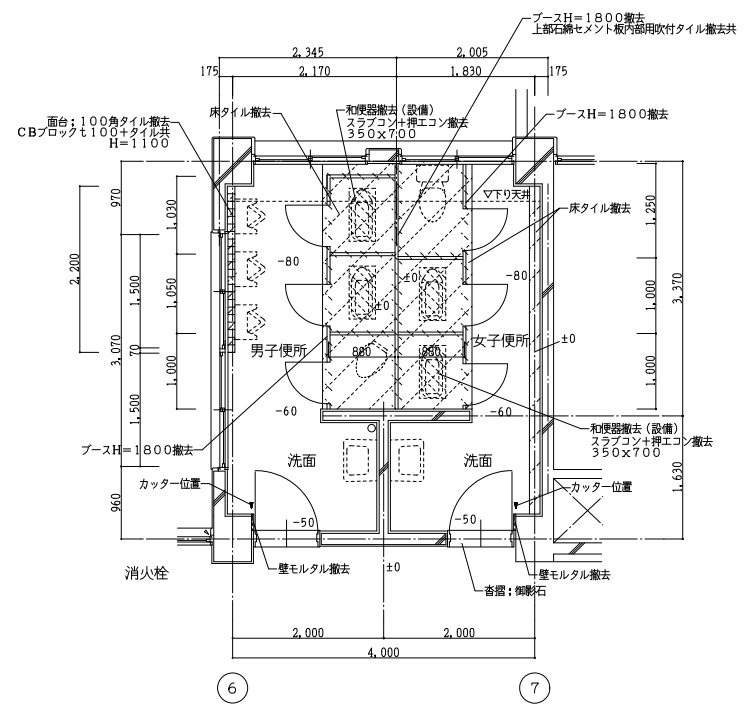
株式会社 山下設計 YAMASHITA SEIKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	代表 設計者 新井 一治 第151989号	設計 13.1.26	竣工 13.1.28	訂正	特記	国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事	図面内容 部分詳細図(1)	図面番号 1025
	原簿 設計者 海老原 悟 第281605号						縮尺 図示	図面内 枚数 区分 1 建築意匠図



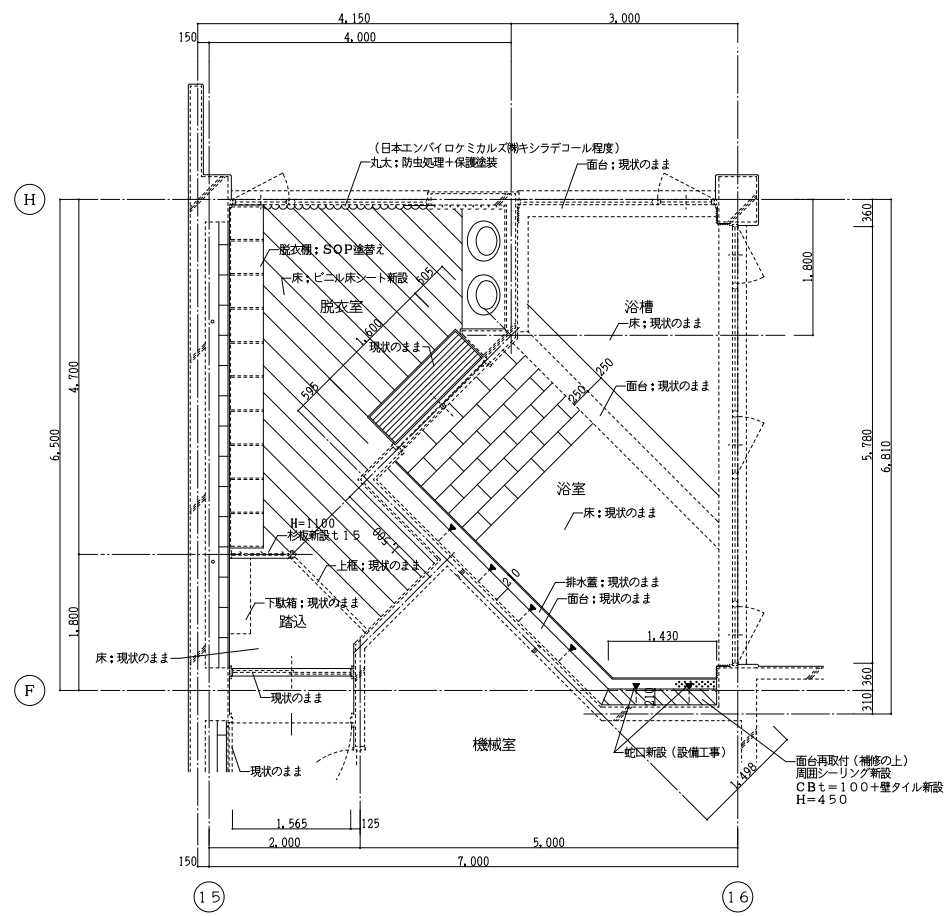
改修前 平面詳細図 1/50



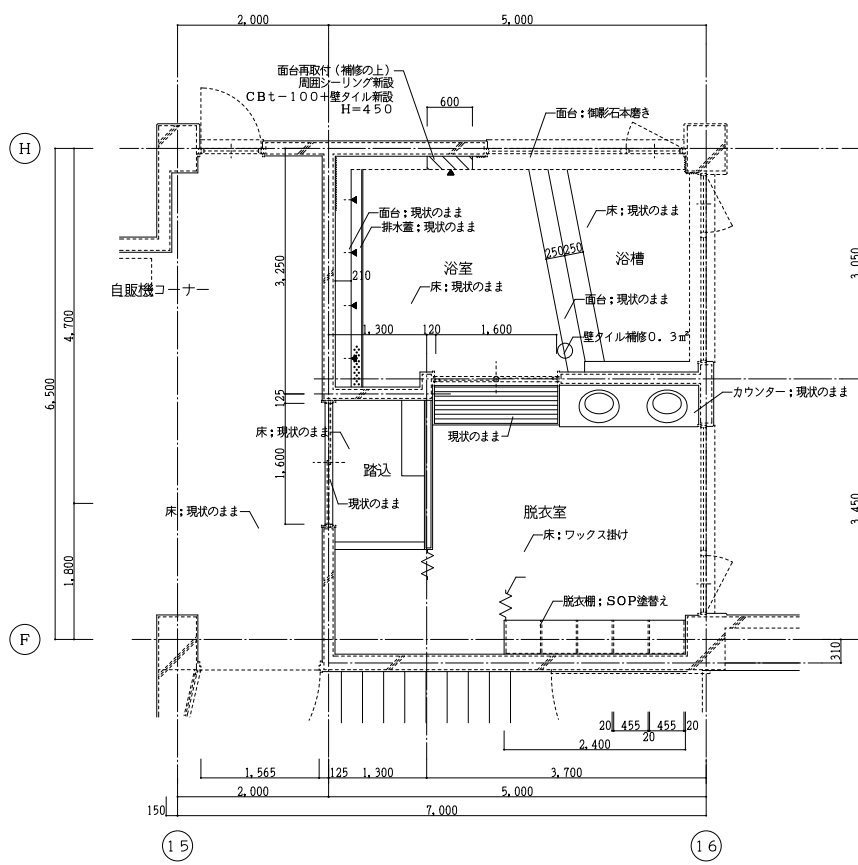
改修前 平面詳細図 1/50



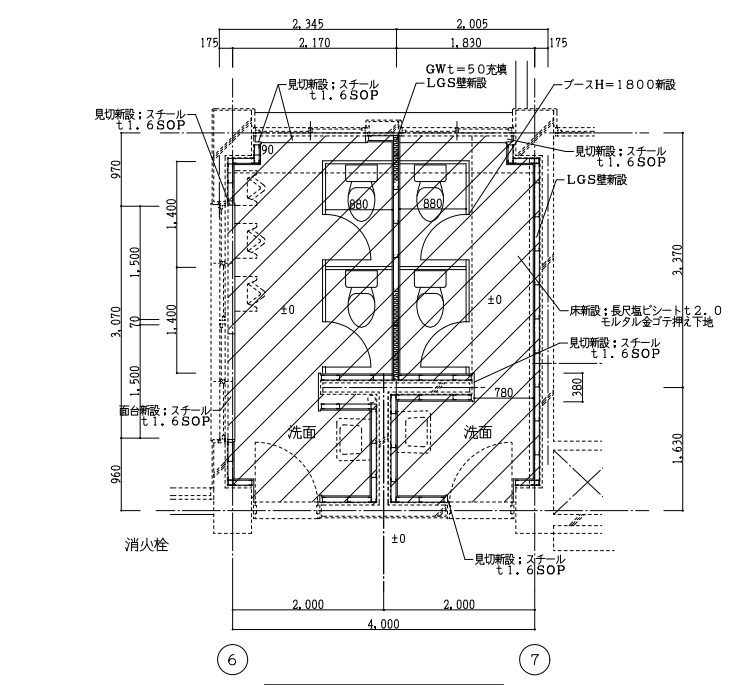
改修前 3階平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

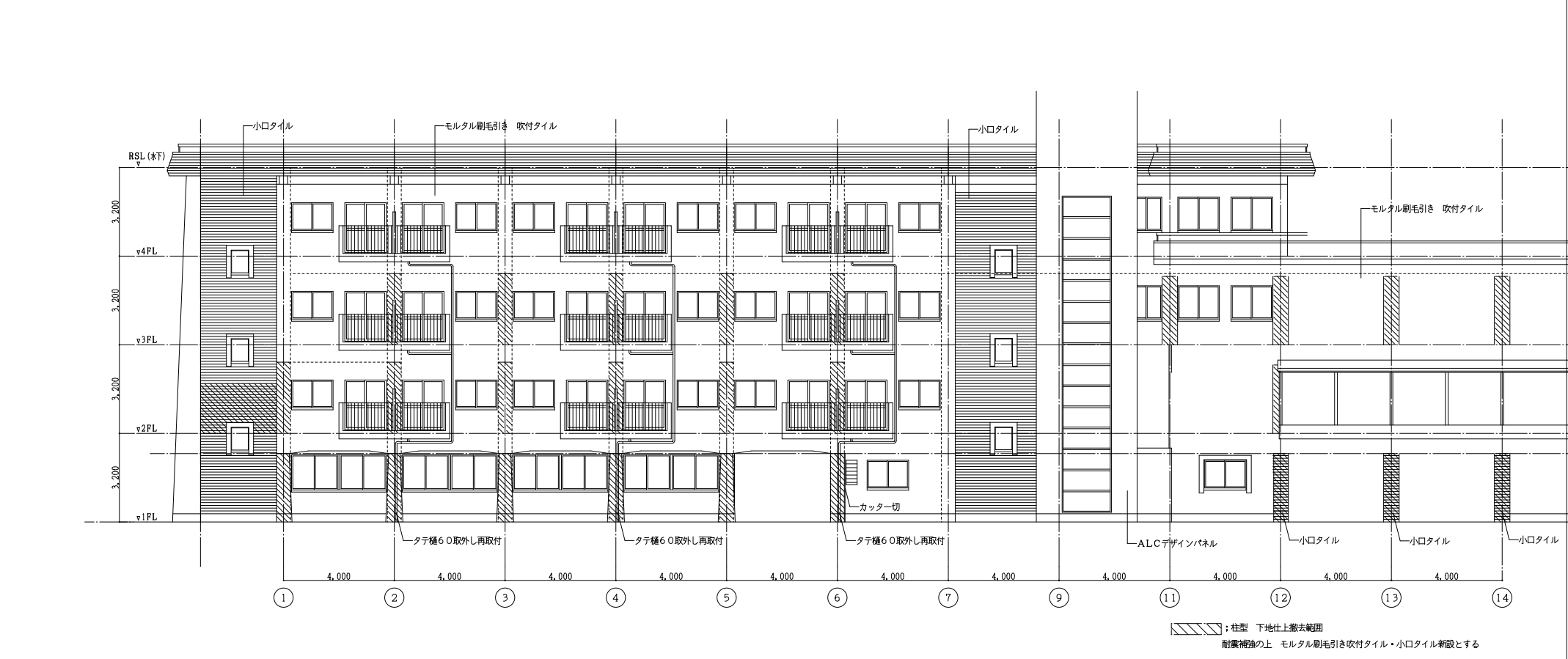
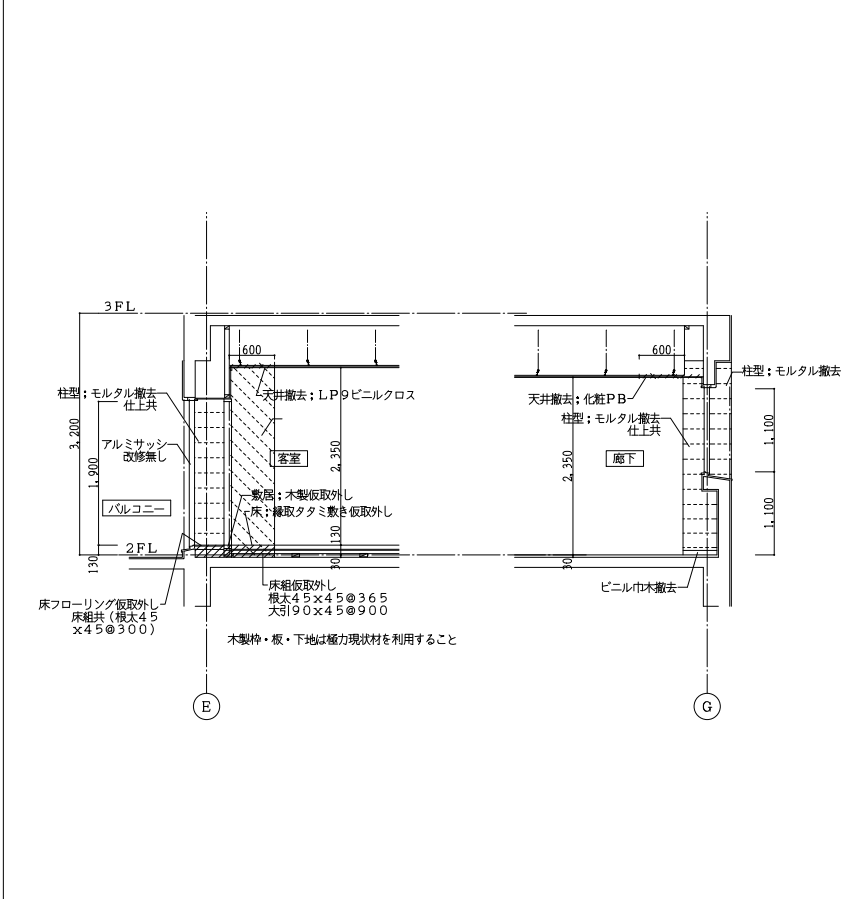
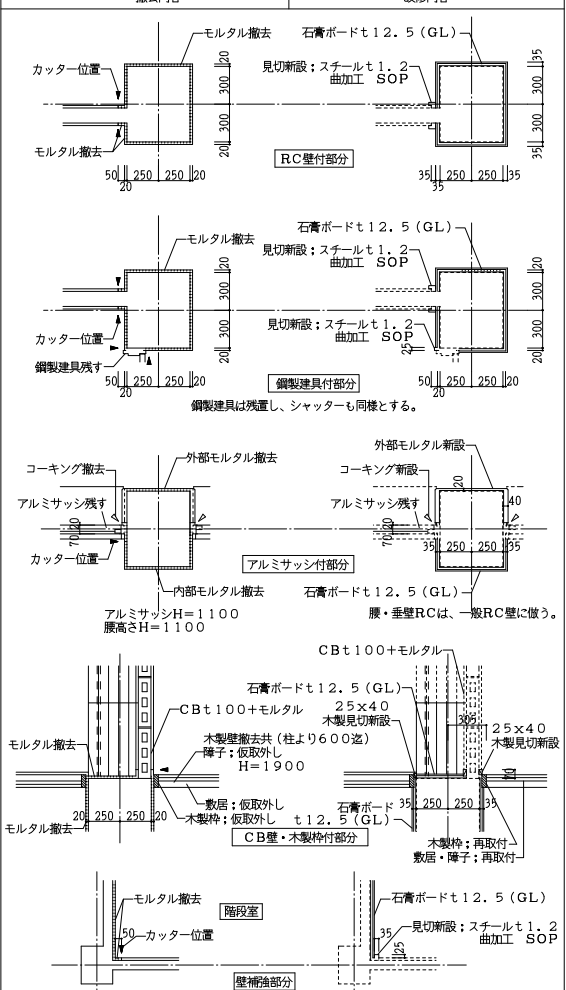
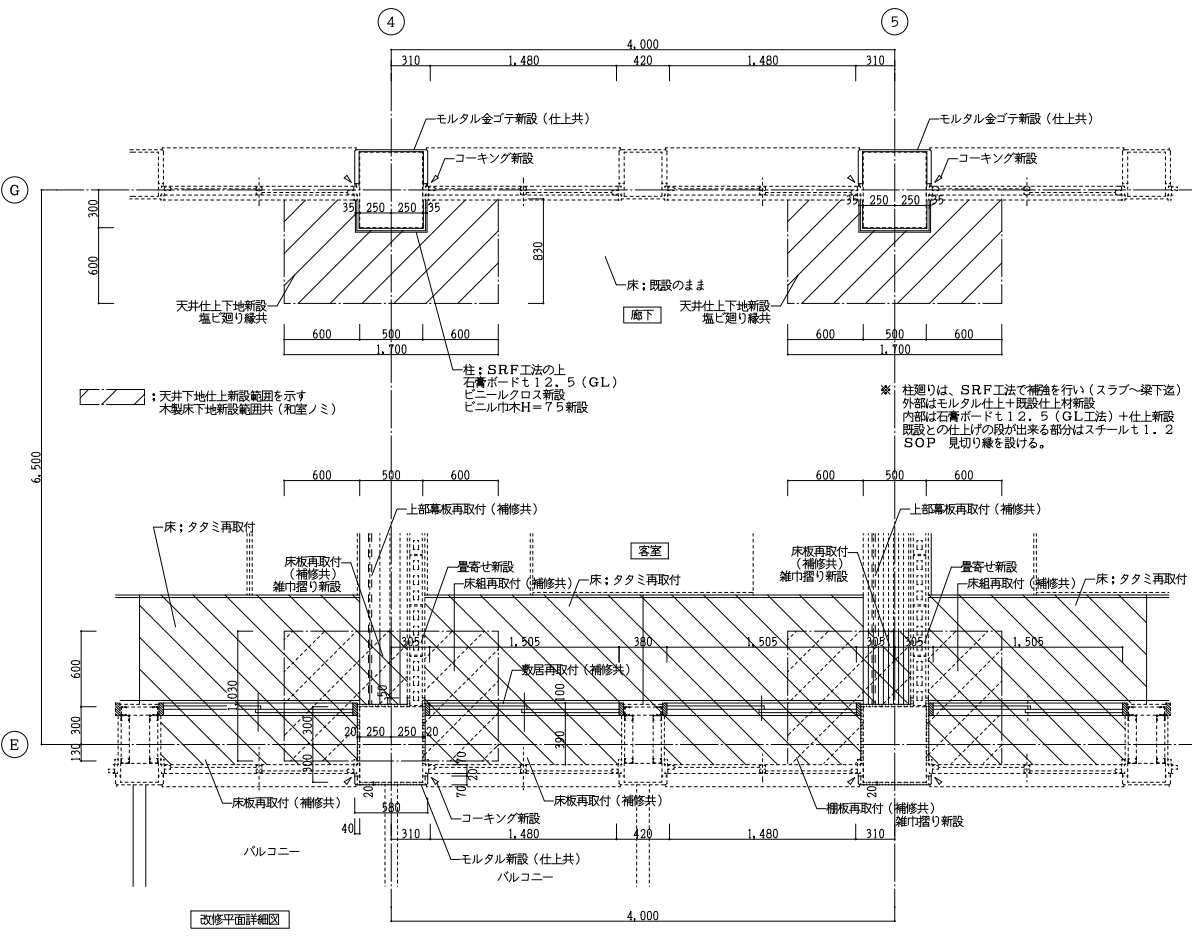
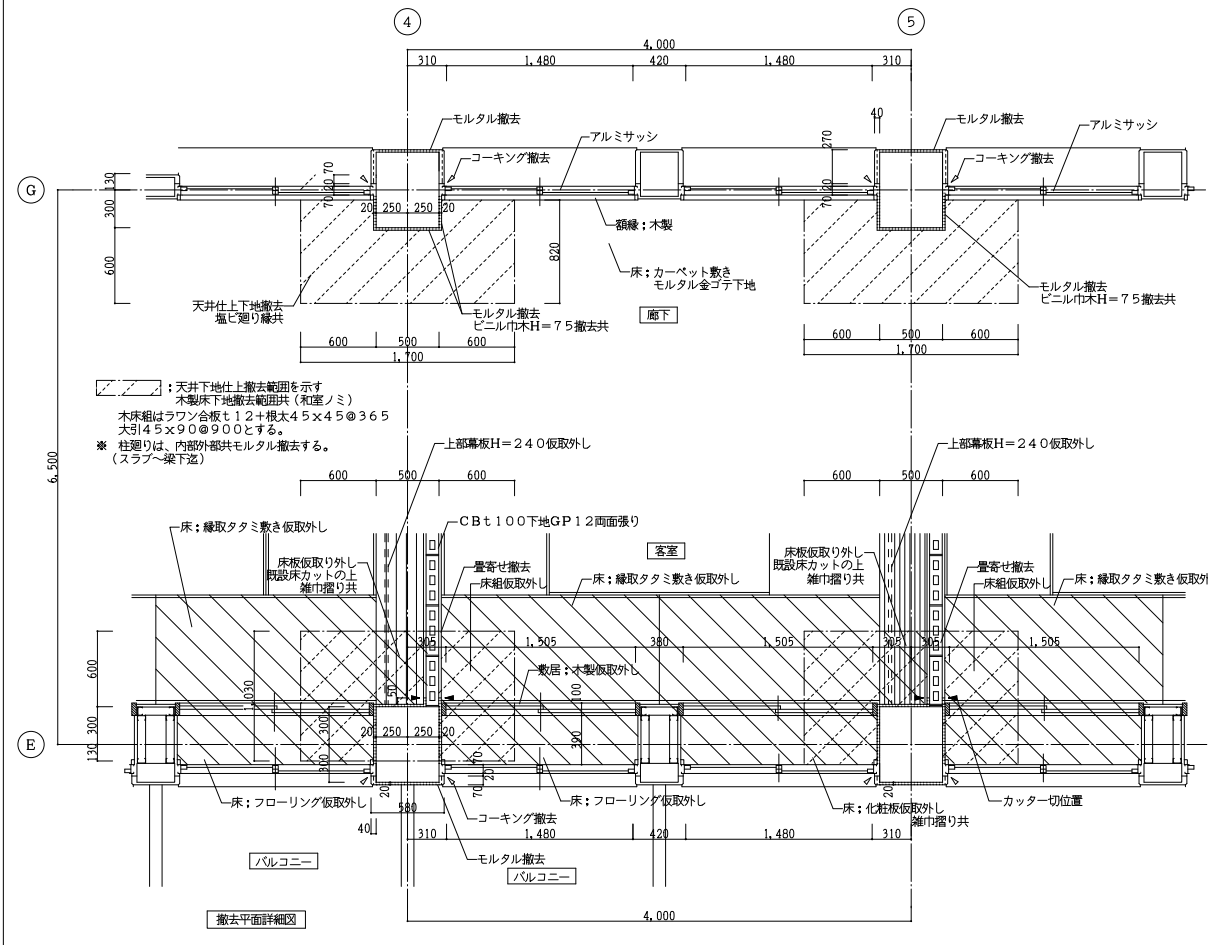


改修後 平面詳細図 1/50



改修後 3階平面詳細図 1/50

壁仕上は、化粧イカル板+石膏ボード t1.5とする。
便所入口の扉設置の戸当りを各階設置する。
側ベスト No.444ミニム戸当程度



工事概要

工事名称： 国民宿舎事業施設 関ロッシ耐震補強及び改修工事
工事場所： 三重県亀山市園町新所1574-1
工事内容： SRF補強工事
建築面積： *** m²
延床面積： 1598.00m²
最高高さ： 18.3 m
軒 高： 13.1 m
建物用途： 宿舎
構 造： 鉄筋コンクリート造
規 模： 地上4階、塔屋1階、地下0階
基 礎： 直接基礎
建物履歴
 元 施 工： 不明 昭和42年
 元 設 計： 打田一級建築士事務所

階数	SRF柱補強 [本]	SRF壁補強 [箇所]	一般工法壁補強 [箇所]	SRF崩落防止補強 [箇所]
3階	23	11		
2階	33	10		
1階	33	11		
合計	89	32		

一般事項

- 適用範囲**
 - 本SRF工法特記仕様書は、SRF補強工事に適用する。
- 適用基準等**
 - 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、下記基準類による。
 - 設計図書
 - 建築物のSRF工法設計施工指針と解説
 - SRF工法設計・施工指針 同解説
 - 2008年版 SRF工法設計・施工指針
 - SRF工法品質管理マニュアル
 - 建築改修工事監理指針
 - 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
 - 包帯補強(SRF工法)による崩落防止設計・施工指針と解説
- 工事施工者**
 - SRFは登録商標であり、その方法、構造、材料は特許第3484156号 であるため、工事施工者は「構造品質保証研究所(株)」と実施許諾契約を結ぶこと。
- 品質管理**
 - ①各工程ごとにチェックシートを用いて品質管理を適切に行う。
 - ②気温が0℃以上で施工可能とする。
 - ③残材は、産業廃棄物として処理する。

SRF工法特記仕様書 1（柱補強）

- 使用材料
- 補強対象部材の確認
- 障害物の撤去
- 補強対象面の確認

種別	品名	材質	厚さ	幅	適用
SRF補強材 (ベルト材)	SRF2100	ポリエステル	2.5mm	100mm	
	SRF3100	ポリエステル	3.0mm	100mm	
	SRF4100	ポリエステル	4.0mm	100mm	
	SRF5100	ポリエステル	5.0mm	100mm	
SRF補強材 (シート材)	SRF T-F	ポリエステル	0.5mm	1000mm	
	SRF T-1	ポリエステル	0.9mm	1000mm	
	SRF 200	ポリエステル	1.1mm	900mm	
	SRF100W90	ポリエステル	0.9mm	90mm	
接着剤	SRF20	ウレタン系	—	—	
	SRF30	ウレタン系	—	—	

①補強対象部材は、健全なものとする。欠損やジャンカ等は、脆弱部や不良部分を研り落とし、鉄筋の錆を伴う場合は除去して防錆処置を行い、断面修復材（ポリマーセメントモルタル、エポキシ樹脂モルタル等）で成形補修する。

- 補強する際に障害となるものは撤去、または仮移設する。
- 補強対象面の仕上のクロス、ボード及び下地は撤去する。
- 補強対象面の下地は躯体面、モルタル面、塗装仕上げ面とし、健全性の確認を行なう。目視、触診、打音検査を行ない、補強対象面に著しい劣化や浮きがないか確認する。
- 補強対象面の凹凸を計測する。
- 補強する際に障害物となるものがあるか確認する。
- 下地は、0.7N/mm²*1)のせん断強度を躯体に伝達できるものとする。必要に応じて、接着試験を実施する。

<接着試験方法>

試験片にSRF20を塗布（幅10mm、長さ100mm）し、補強対象面に接着させる。補強対象面と平行にプッシュプルスケールを介して引張力を作用させ、剥離時の張力、破壊状況を確認する。詳細は、「SRF工法設計施工指針同解説 C-20～23頁 解説資料3.1.2<下地強度確認試験法>」を参照とする。

*1) …土木構造物の場合は、0.77N/mm²とする。

- 補強対象面の補修

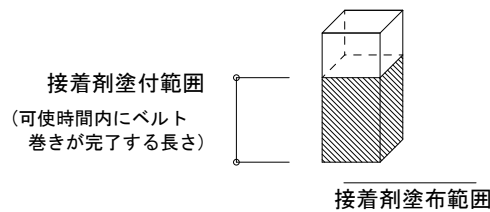
- モルタル下地面に著しい劣化や浮きがある場合は下地モルタルを撤去しポリマーセメントモルタル等で補修する。下地の補修を行なった場合は、十分な養生期間をおいてからSRF補強を行うこととする。軽微な浮きの場合にはアンカーピンニング併用エポキシ樹脂注入工法等を用いてよい。
- 躯体面にジャンカや欠損、歪みがある場合は脆弱部や不良部分を研り落とし、鉄筋の錆を伴う場合は除去して防錆処置を行い、断面修復材（ポリマーセメントモルタル、エポキシ樹脂モルタル等）で成形補修する。
- 補強対象面に土、油、埃等の汚れが付着している場合は接着剤の下地面への塗布に支障をきたし接着剤の強度発現に大きく影響する場合には付着物を除去する。水で洗浄する場合には、十分乾燥させてから補強を行う。
- 補強対象面に4mm程度以上の凹凸や段差がある場合はポリマーセメントモルタル等で補修する。
- コーナー部のバリ等の鋭利な部分があれば、サンダー等で除去するが、面取りその他特別な下地処理は行わなくてもよい。
- 補強対象面に0.5mm以上のひび割れがある場合には、

- 補強材準備
- 接着剤塗付
- SRF補強材設置（螺旋巻きの場合）

①SRF補強材（ベルト材）を所要の寸法に切断し、部材周囲に準備する。ベルト材の設置作業を円滑に行うため、ベルト材を柱の周囲に仮に周回させておく（仮巻きが必要な場合）。

①接着剤を柱面に塗布する。塗布量は0.8kg/m²以上とし、くし目ゴテで厚さ0.5mm厚（2層目も同様）均一に塗布する。1回の塗布範囲は接着剤の可使用時間*2)内にベルト材の巻き付けが完了する範囲とする。可使用時間は使用時の温度や湿度により変化する。

*2) …缶から接着剤を取り出し、作業で使用できる状態を維持できる時間。接着剤使用時の温度や湿度により変化する。



- ベルト巻き（巻き始め部）
 - 構造用両面テープを貼り付けた箇所からベルト材を巻き始め、ベルト材にたるみがないように人力で張力を加えながら、1周水平に巻き付ける。
 - 水平に1周巻き付けたら、ベルト材同士が重なる箇所に接着剤を塗布し、さらに柱1面分水平に重ねて貼り付ける。
 - 隣の面から、1面当りベルト幅の1/4づつ上げる*3)ように、螺旋状にベルト材を1周巻き付ける。この部分はベルトの厚さ分段差ができるため、接着剤を多めに塗布する。

*3) …ベルト材の巻き始めが柱の上部的場合は「下げる」とする。（巻き始めは、柱の上部および下部のどちらでもよい。）

- ベルト巻き（一般部）
 - 螺旋巻きを始めて柱を1周させベルトの幅ずれたら、前の周囲のベルト材に突きつけながら、螺旋状に巻き付ける（ベルトは重ねない）。以降、これを繰り返す。
 - ベルト材の巻き付けは、ベルト材と接着面が馴染むようにあて板をしてゴムハンマーで叩きながら行なう。
 - ベルト材にたるみがないように人力で張力を加えながらベルト材を巻き付ける。

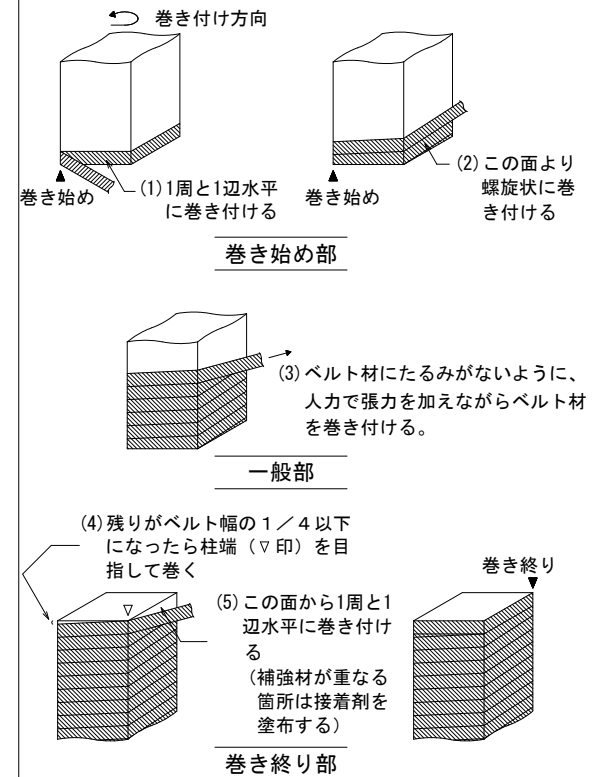
- ベルト巻き（巻き終り部）
 - 巻き終り部分は、巻き終り規準線とベルト端との距離がベルト幅の1/4以下になったら、次の隅部で巻き終り規準線に着くように巻き付ける。
 - ここから人力で張力を加えながら水平に1周と1辺巻き付けた後、補強材を切断し巻き終りとする。ベルト終端は構造用両面テープで止めて、接着剤が硬化するまで緩まないように布テープなどで押えておく。

*巻き始めおよび巻き終り部分は特に重要なため、入念に施工し確実な接着力が得られるよう留意する。

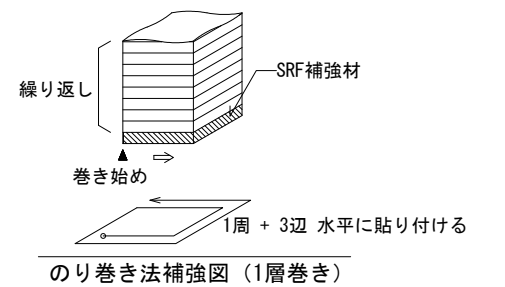
- 2層巻き以上の場合
 - 1層目と2層目のオープンタイムは特に必要ないので、1層目完了後の確認作業で異常がなければ、すぐに2層目を施工してよい。

- SRF補強材設置（のり巻き法の場合）
- 確認作業
- 養生

- 2層目は、1層巻きと同様に施工する。ただし、2層目の巻き付け方向は、可能であれば1層目と逆回りとする。（1層目が時計回りの場合は2層目は反時計回りとする。）
- 1層目の巻き終り部分のベルト材を切断せずに、引き続き2層目の巻き付けを行ってもよい。



- 接着剤塗布完了後、SRF補強材（ベルト材）を貼り付ける。補強量が1層の場合は、SRF補強材を1周水平貼り付け、さらに3辺長水平に貼り付ける（4+3辺長）。N層の場合はN周水平に貼り付け、さらに3辺長水平に貼り付ける（4N+3辺長）。これを補強範囲に渡って繰り返す。



- ベルト材を巻き終わったら、ベルト材と補強対象面がムラなく一様に密着していることを打音または触診などにより確認する。
- ベルト材に浮きを生じた場合の補修方法はベルト材の上から叩きながら押さえ、補強対象面に密着させる。
- 接着剤が不足している部分には、接着剤を追加する。

- 接着剤が硬化するまで、引き剥がし等の荷重が加わらないように注意する。仕上げ材を直接ベルト材に取付ける場合は、接着剤が硬化してから施工する。

<2011.4>

SRF工法特記仕様書2 (壁補強・壁付柱補強)

種別	品名	材質	厚さ	幅	適用
SRF補強材 (ベルト材)	SRF2100	ポリエステル	2.5mm	100mm	
	SRF3100	ポリエステル	3.0mm	100mm	
	SRF4100	ポリエステル	4.0mm	100mm	
	SRF5100	ポリエステル	5.0mm	100mm	
SRF補強材 (シート材)	SRF T-F	ポリエステル	0.5mm	1000mm	
	SRF T-1	ポリエステル	0.9mm	1000mm	
	SRF 200	ポリエステル	1.1mm	900mm	
	SRF100W90	ポリエステル	0.9mm	90mm	
接着剤	SRF20	ウレタン系	-	-	
	SRF30	ウレタン系	-	-	

・アングル、フラットバー、ボルトはSS400とする。

2. 補強対象面の確認

- 補強対象面の下地は躯体面、モルタル面、塗装仕上げ面とし、健全性の確認を行なう。目視、触診、打音検査を行ない、補強対象面に著しい劣化や浮きがないか確認する。
- 補強対象面の凹凸を計測する。
- 補強する際に障害物となるものがあるか確認する。
- 下地は、 $0.7N/mm^2$ (※1)のせん断強度を躯体に伝達できるものとする。必要に応じて、接着試験を実施する。
※1) …土木構造物の場合は、 $0.77N/mm^2$ とする。

3. 障害物の撤去

- 補強する際に障害物となるものは撤去、または仮移設する。
- 補強対象面の仕上げのクロス、ボード及び下地は撤去する。

4. 補強対象面の補修

- モルタル下地面に著しい劣化や浮きがある場合は下地モルタルを撤去しポリマーセメントモルタル等で補修する。下地の補修を行なった場合は、十分な養生期間をおいてからSRF補強を行うこととする。軽微な浮きの場合にはアンカーピンニング併用エポキシ樹脂注入工法等を用いてよい。
- 躯体面にジャンカや欠損、歪みがある場合は脆弱部や不良部分を切り落とし、鉄筋の錆を伴う場合は除去して防錆処置を行い、断面修復材(ポリマーセメントモルタル、エポキシ樹脂モルタル等)で成形補修する。
- 補強対象面に土、油、埃等の汚れが付着している場合は接着剤の下地面への塗布に支障をきたし接着剤の強度発現に大きく影響する場合には付着物を除去する。水で洗浄する場合には、十分乾燥させてから補強を行う。
- 補強対象面に4mm程度以上の凹凸や段差がある場合はポリマーセメントモルタル等で補修する。
- コーナー部のバリ等の鋭利な部分があれば、サンダー等で除去するが、面取りその他特別な下地処理は行わなくてもよい。

5. スリット作成 (S型のみ)

- 側柱の柱脚部の螺旋巻きを行うために、壁にスリットを作成する。原則として、スリット部分の鉄筋は切断してもよい。ただし、壁筋を切断してはいけないと設計図書に記載がある場合や、設計者、監理者に指示された場合は鉄筋は切断してはならない。

6. 貫通孔作成 (A型のみ)

- 側柱と壁の入り隅部分の壁にボルトを通すための貫通孔を開ける。孔はコアドリル等を使用して開ける。原則として、壁の鉄筋は切断しないこと。ただし、設計図書で壁筋を切断してもよいと記載がある場合や、設計者・監理者に了承を得た場合を除く。

7. 補強材の準備

① SRF補強材(ベルト材、シート材等)を所要の長さにより切断し、必要数準備する。

8. 接着剤塗付

- ① 接着剤を補強対象面に塗布する。塗布量は $0.8kg/m^2$ 以上とし、くし目ゴテで厚さ0.5mm厚(2層目も同様)均一に塗布する。1回の塗布範囲は接着剤の可使用時間*2内にベルト材の巻き付けが完了する範囲とする。可使用時間は使用時の温度や湿度により変化する。
*2…缶から接着剤を取り出し、作業で使用できる状態を維持できる時間。
接着剤使用時の温度や湿度により変化する。

9. SRF補強材設置 (短冊貼り)

- ① 接着剤塗布後、SRF補強材を水平に貼り付ける。補強材と補強材は重ねず、突き合わせるように貼り付ける。補強材はしわ・たるみがないようによく伸ばしながら貼り付け、接着剤と補強材が馴染むようによく押える。
- ② SRF補強材を2層以上貼り付ける場合は、1層目完了後の確認作業で異常がないことを確認し、接着剤が硬化してから上記作業を繰り返し行う。

* SRF補強材を仮止めするために、釘等をSRF補強材の上から設置してもよい。ただし、SRF補強材に空ける孔の大きさは5mm以下とする。

10. 柱脚部分のSRF補強材設置 (S型のみ)

- ① 側柱の柱脚部分にSRF補強材を螺旋状に巻き付ける。巻き付け方法は、「柱補強の施工管理」を参照する。
- ② 補強材設置後、スリット部分はポリマーセメントモルタル等を充填する。

11. 柱部分のSRF補強材設置 (A型のみ)

- ① 側柱と壁板部分の必要定着長の範囲に補強材を設置する。補強材は水平に貼り付けて、2段目以降は補強材と補強材は重ねず突き合わせるように貼り付ける。
- ② 壁の貫通孔に合わせて補強材に孔を開ける。孔はヒートカッターやカッター等を使用して空ける。
- ③ 柱と壁の入り隅部分にアングル、フラットバーなどの定着金物を設置する。定着金物は、壁の貫通孔にボルトを通し、ナットで締め付けて固定する。

12. 柱部分のSRF補強材設置 (C型のみ)

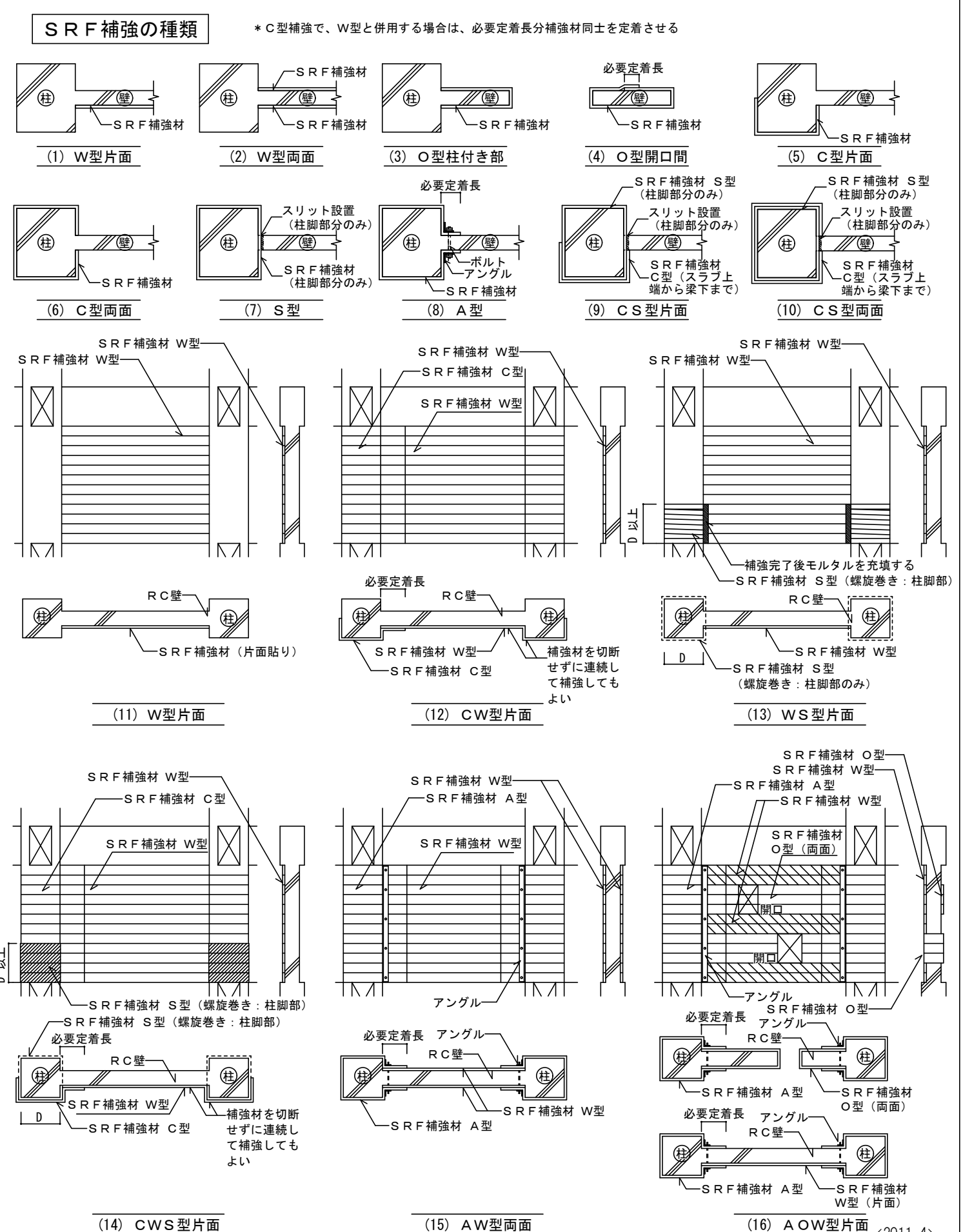
- ① 側柱に補強材を設置する。補強材は水平に貼り付けて、2段目以降は補強材と補強材は重ねず突き合わせるように貼り付ける。

13. 確認作業

- ① ベルト材と補強対象面がムラなく一様に密着していることを打音または触診などにより確認する。
- ② ベルト材に浮きを生じた場合の補修方法はベルト材の上から叩きながら押さえ、補強対象面に密着させる。
- ③ 接着剤が不足している部分には、接着剤を追加する。

14. 養生

- ① 接着剤が硬化するまで、引き剥がし等の荷重が加わらないように注意する。仕上げ材を直接SRF補強材に取り付ける場合は、接着剤が硬化してから施工する。



SRF工法特記仕様書3（崩落防止補強）

種別	品名	材質	厚さ	幅	適用
SRF補強材 (ベルト材)	SRF2100	ポリエステル	2.5mm	100mm	
	SRF3100	ポリエステル	3.0mm	100mm	
	SRF4100	ポリエステル	4.0mm	100mm	
	SRF5100	ポリエステル	5.0mm	100mm	
SRF補強材 (シート材)	SRF T-F	ポリエステル	0.5mm	1000mm	
	SRF T-1	ポリエステル	0.9mm	1000mm	
	SRF 200	ポリエステル	1.1mm	900mm	
	SRF 100W90	ポリエステル	0.9mm	90mm	
接着剤	SRF20	ウレタン系	—	—	
	SRF30	ウレタン系	—	—	

7. 確認作業

シート材とシート材の継手部は、必要定着長以上重ねるように貼り付ける。ただし、シート材を1方向の補強で使用する場合は、重ねなくてもよいこととする。また、定着部以外の補強対象面に凹凸、段差がある場合には、これになるべく沿うように貼りつけることとし、必要最低限接着できない場合が生ずることは許容する。

①接着剤が硬化するまで、SRF補強材の垂れ・浮きがないか適宜確認し、垂れ・浮き等が見られる場合は補強材の上から叩きながら押さえ、補強対象面に密着させる。

8. 養生

①接着剤が硬化するまで、引き剥がし等の荷重が加わらないように注意する。仕上げ材を直接SRF補強材に取付ける場合は、接着剤が硬化してから施工する。

2. 補強対象面の確認

- ①補強対象壁の下地は躯体面、モルタル面、塗装仕上げ面、コンクリートブロック面とする。目視、触診、打音検査を行ない、補強対象面に著しい劣化や浮きがないか確認する。
- ②補強対象面の凹凸を計測する。
- ③補強する際に障害物となるものがあるか確認する。

3. 障害物の撤去

- ①補強する際に障害物となるものは撤去、または仮移設する。
- ②補強対象面の仕上げのクロス、ボード及び下地は撤去する。

4. 補強対象面の補修

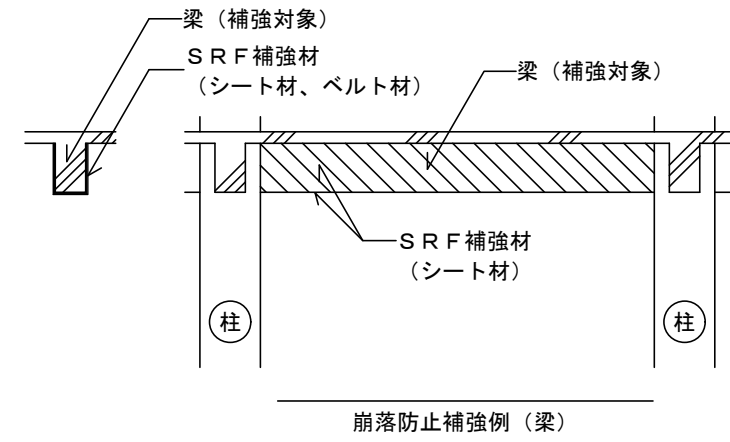
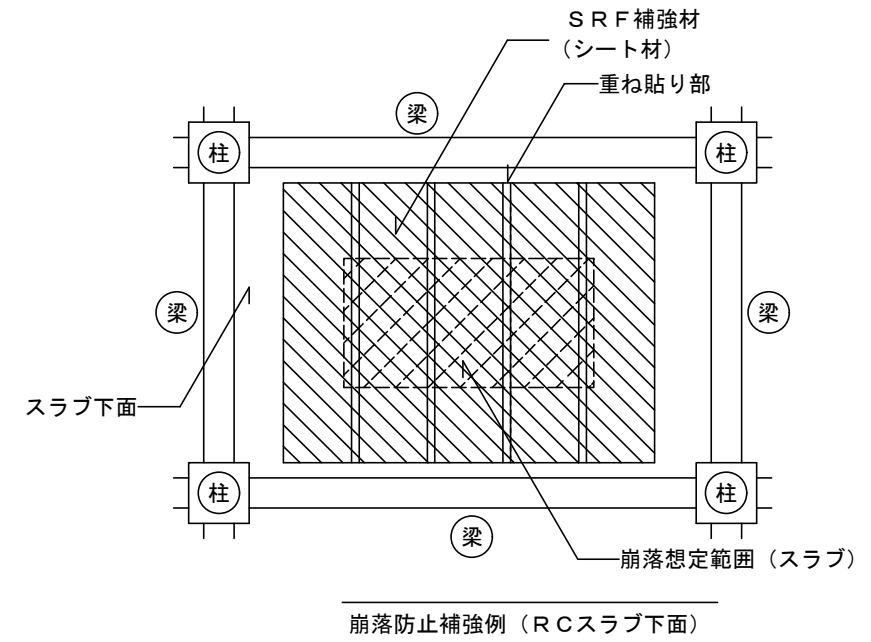
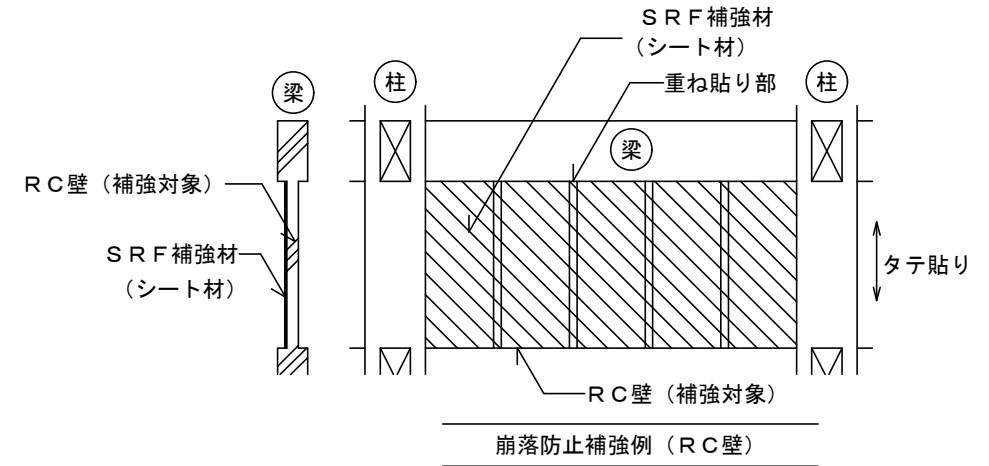
- ①補強対象面に土、油、埃等の汚れが付着している場合は接着剤の下地面への塗布に支障をきたし接着剤の強度発現に大きく影響する場合には付着物を除去する。水で洗浄する場合には、十分乾燥させてから補強を行う。
- ②補強対象面の補修は原則として行わなくてよい。ただし、定着部については、壁補強と同様に補修等を行うこととする。

5. 補強材の準備

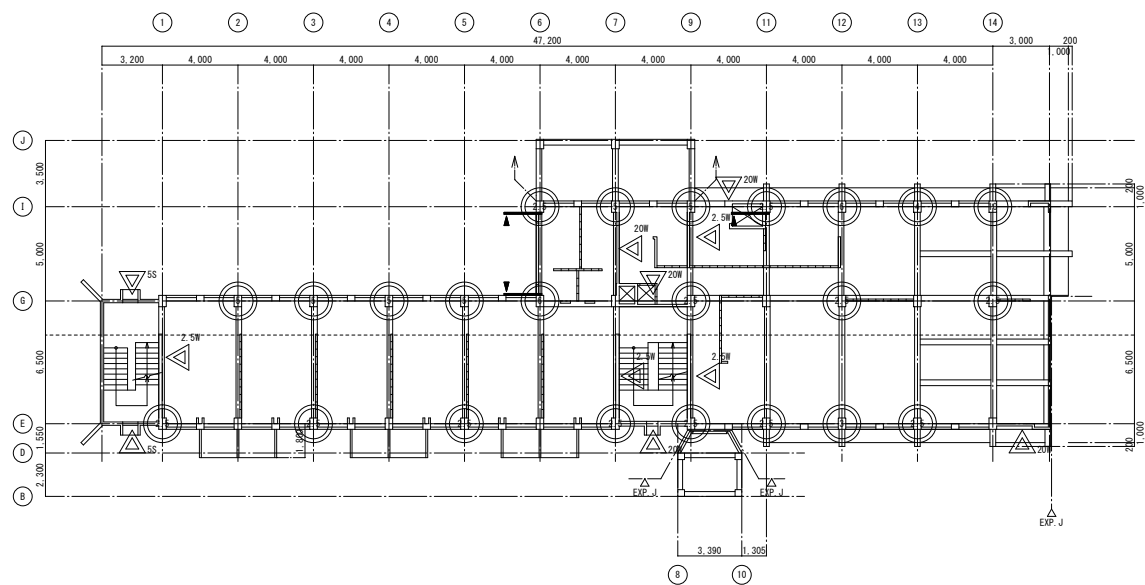
- ①SRF補強材（ベルト材、シート材等）を所要の長さの準備し、必要数準備する。

6. SRF補強材設置

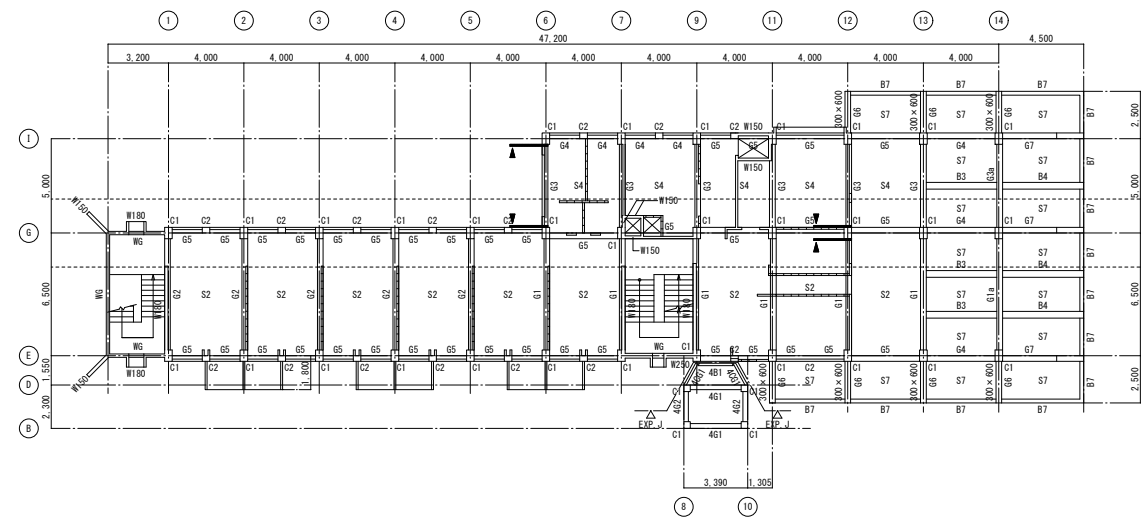
- ①接着剤塗布
補強対象面に、接着剤「SRF20」を塗布する。塗布量の目安は0.8kg/m²以上とし、クシ目ゴテで厚さ0.5mm厚均一に塗布する。ただし、設計図書に記載のある場合には、これに従って、接着剤を塗布しない部分を設けてもよいこととする。接着剤の1回の塗布範囲は、接着材の可使用時間*1内に補強材の貼り付けが完了する範囲とする。
*1…缶から接着剤を取り出し、作業で利用できる状態を維持できる時間。接着剤使用時の温度や湿度により変化する。
- ②SRF補強材貼り付け
接着剤塗布後、SRF補強材を貼り付ける。補強材はしわ・たるみがないようによく伸ばしながら貼り付け、接着剤と補強材が馴染むようによく押える。



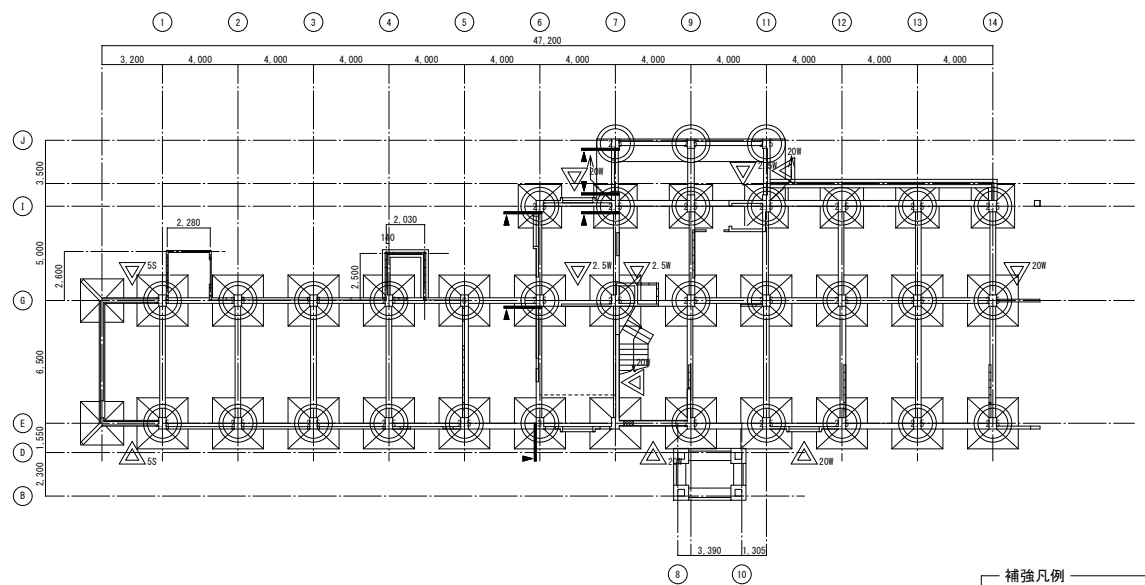
<2011. 4>



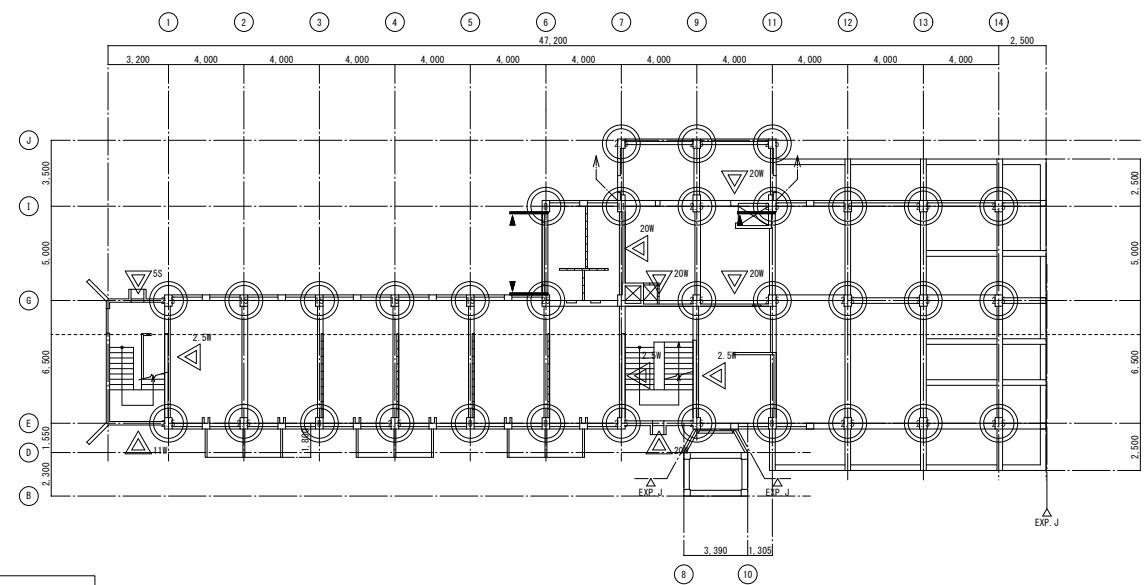
3階梁伏図 S=1/200



4階梁伏図 S=1/200



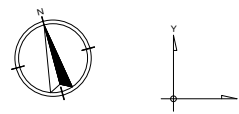
基礎・1階梁伏図 S=1/200

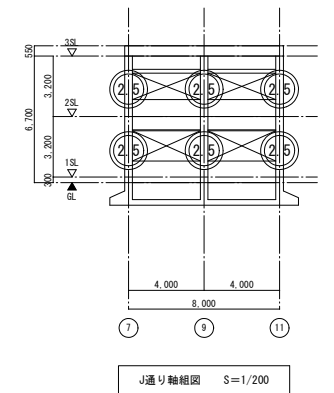
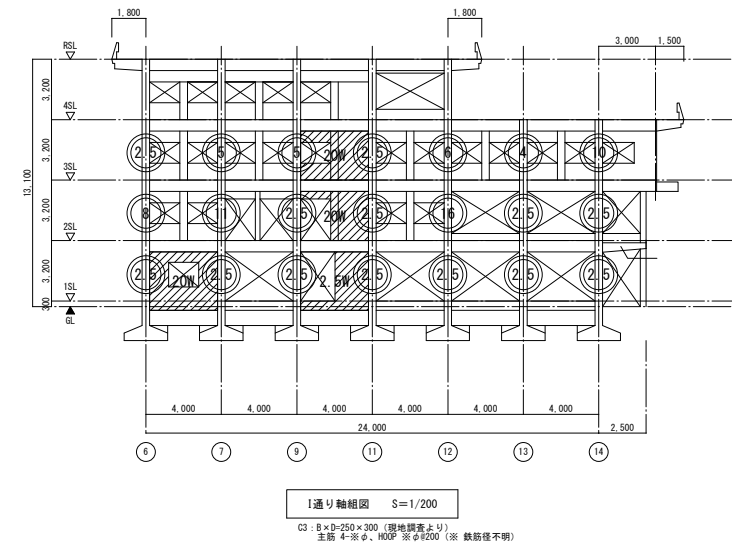
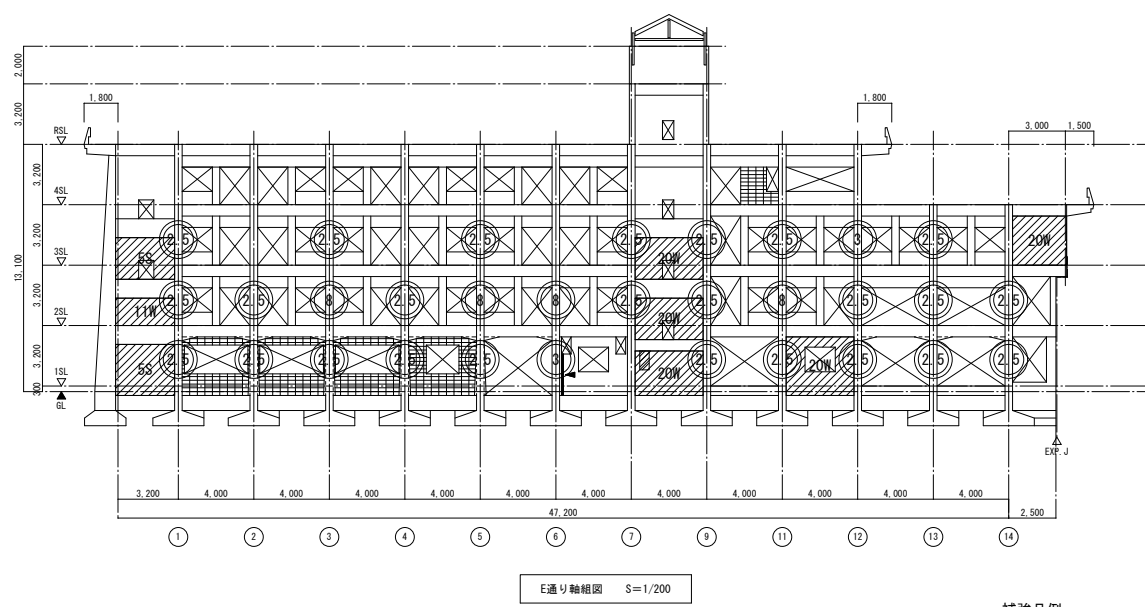
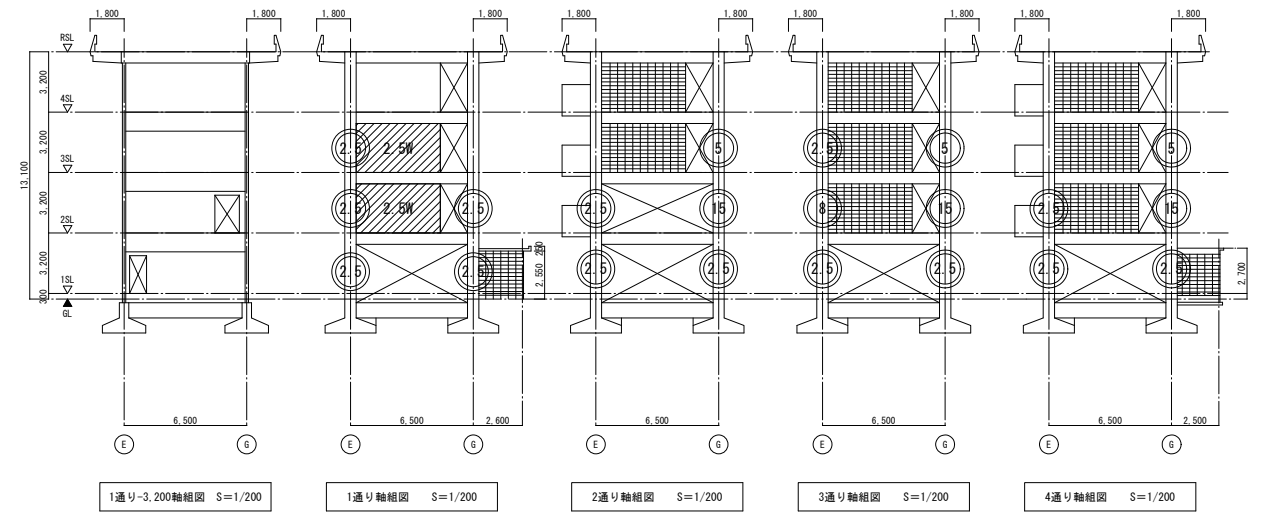
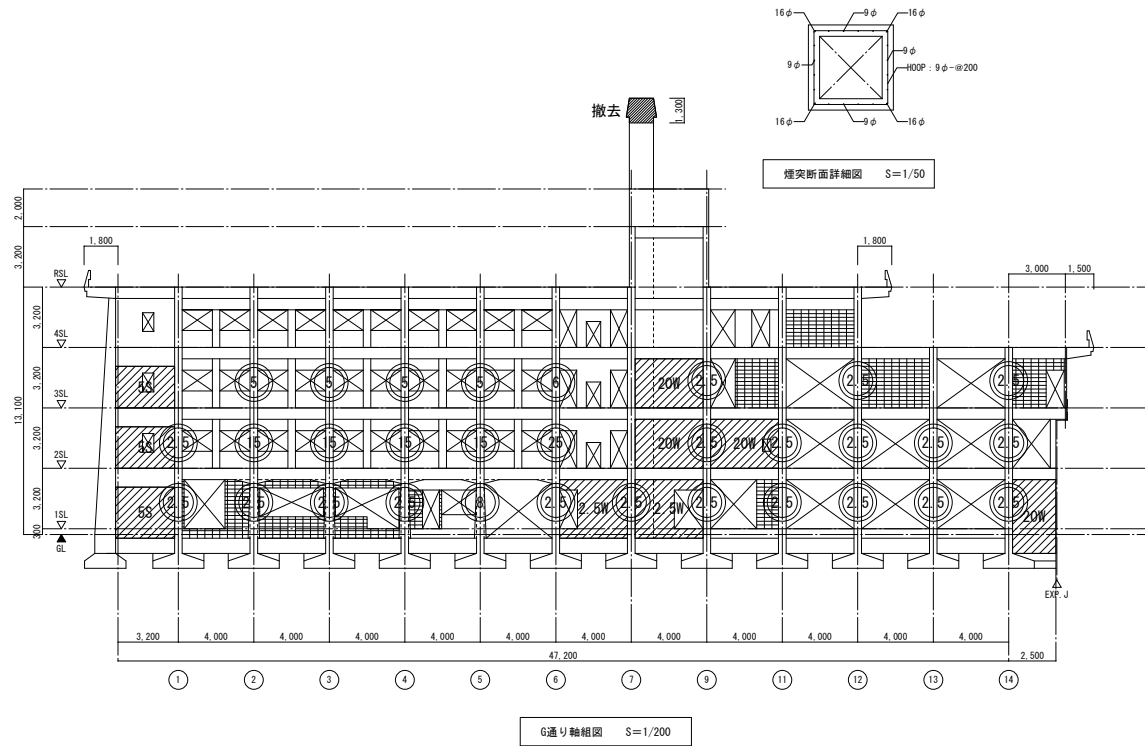


2階梁伏図 S=1/200

補強凡例

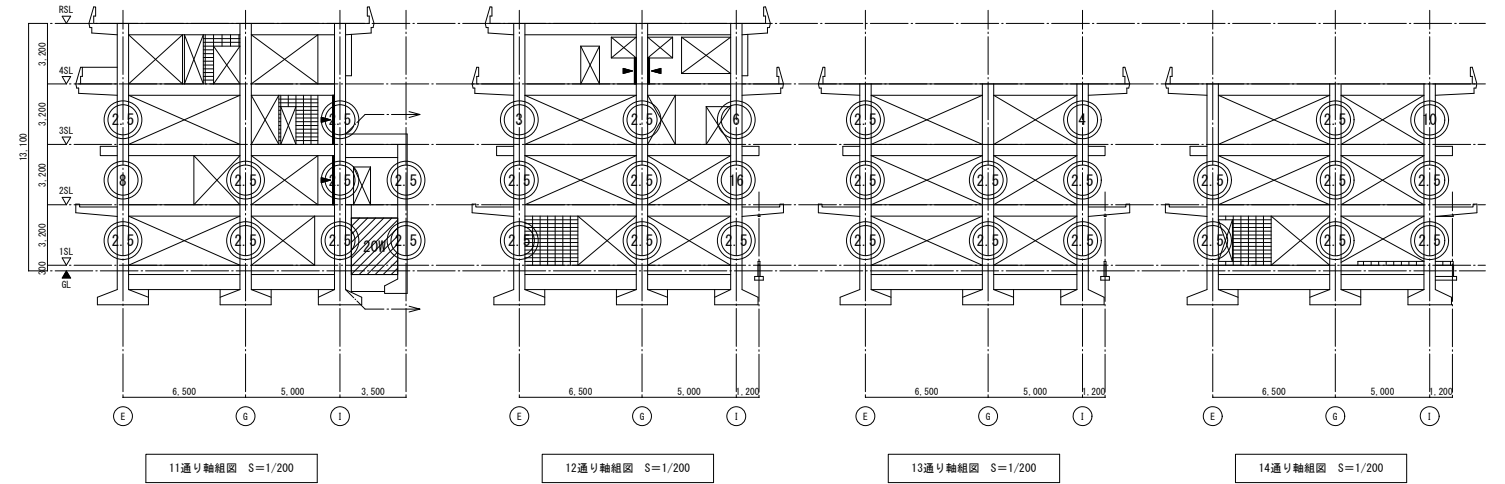
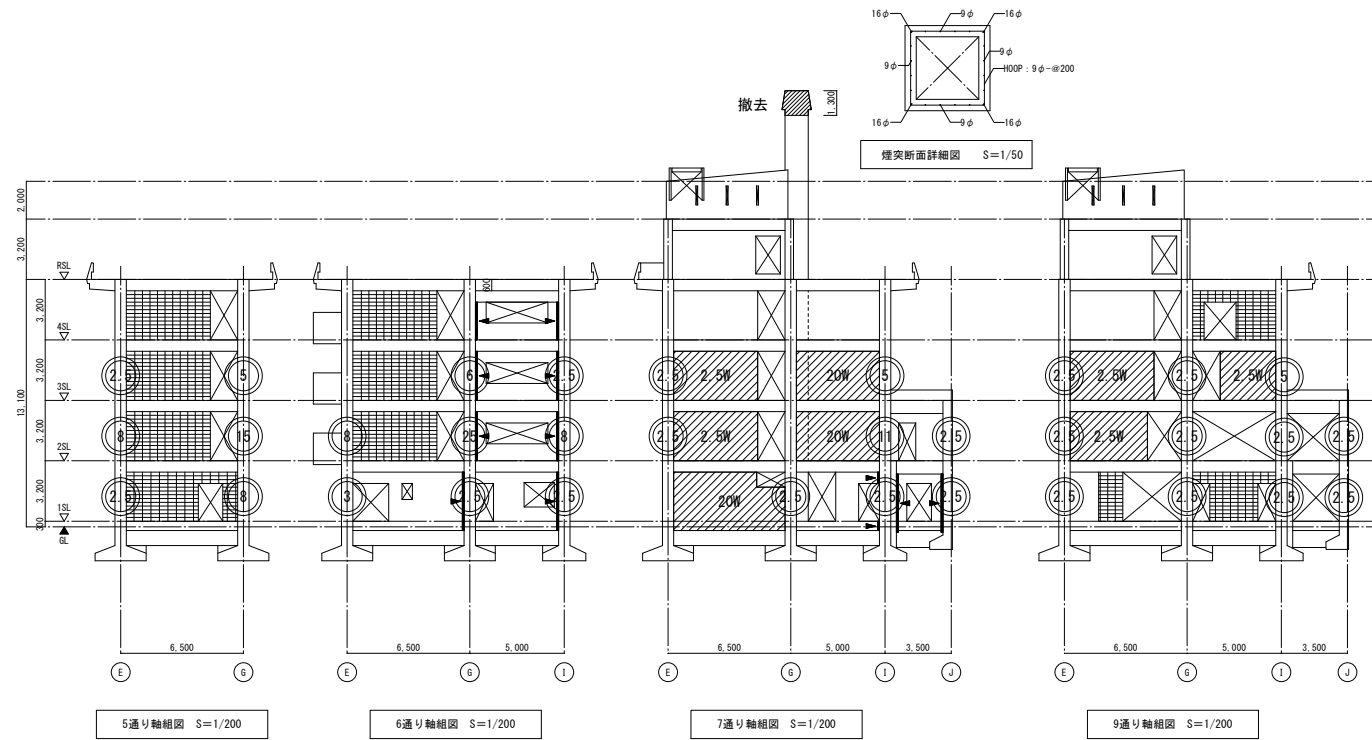
- ⊕ : SRF補強柱 (⊕はSRF枚数×厚さを示す。)
- △ : SRF補強壁 (△はSRF枚数×厚さ及び片面(S)、両面(W)を示す。)
- ┆ : スリット





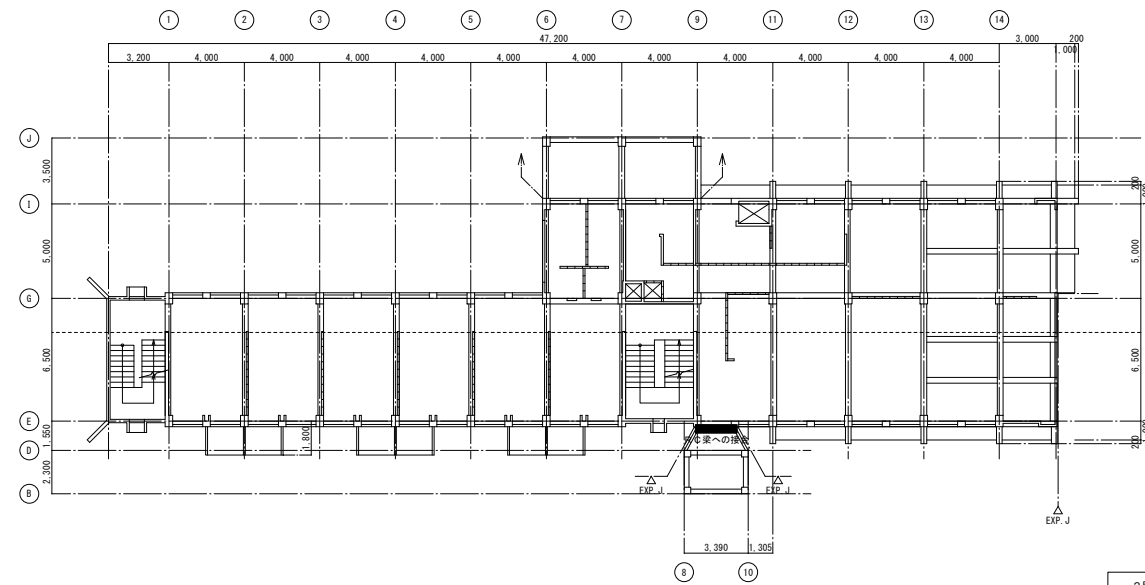
補強凡例

- ⊕ : SRF補強柱 (#はSRF枚数×厚さを示す。)
- △ : SRF補強壁 (#はSRF枚数×厚さ及び片面(S)、両面(W)を示す。)
- ┆ : スリット

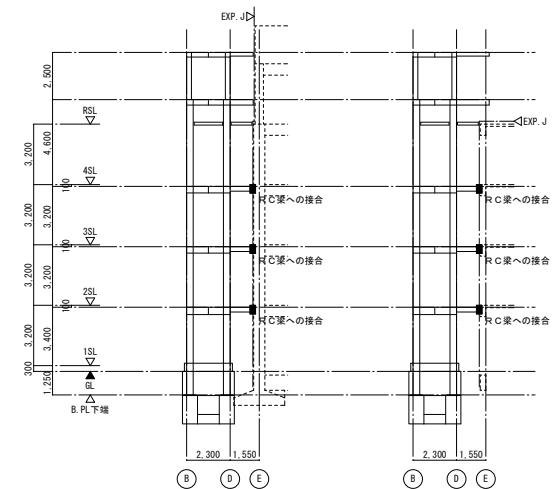


補強凡例

- ⊕ : SRF補強柱 (＃はSRF枚数×厚さを示す。)
- △_{SRF} : SRF補強壁 (＃はSRF枚数×厚さ及び片面(S)、両面(W)を示す。)
- ┆ : スリット

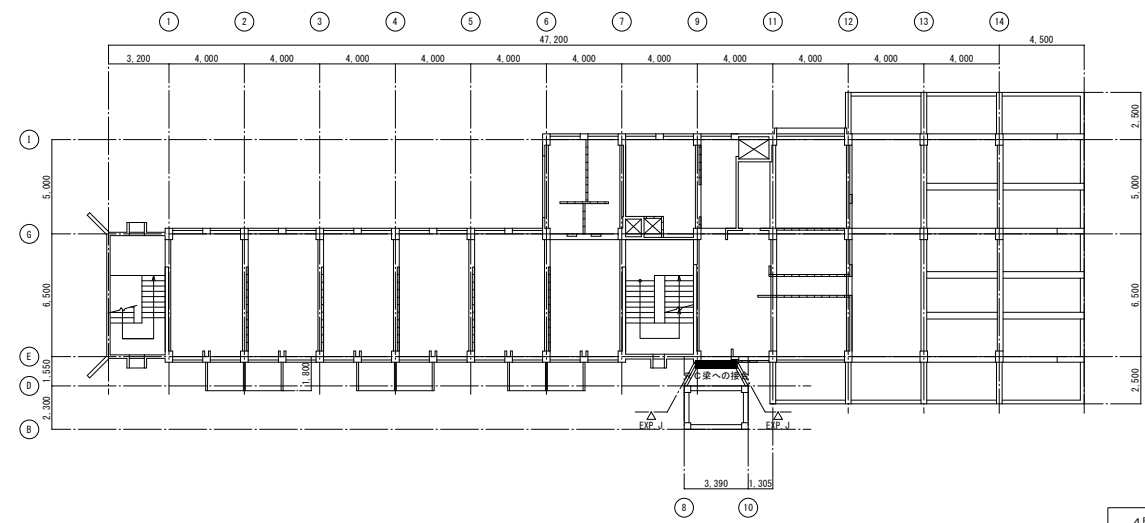


3階梁伏図 S=1/200

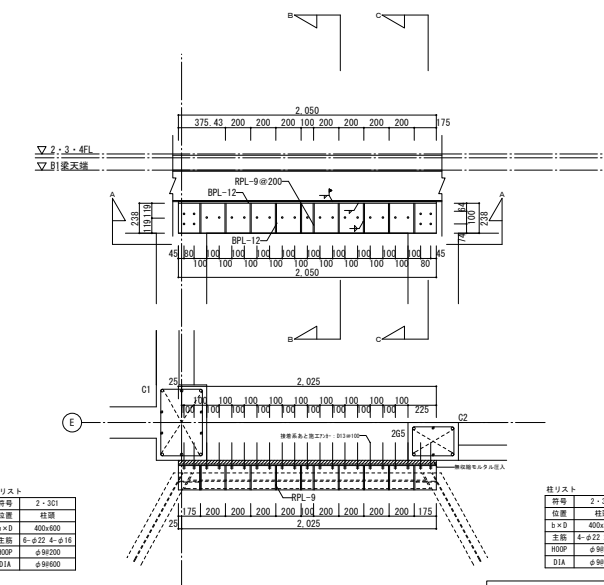


8通り軸組図 S=1/200

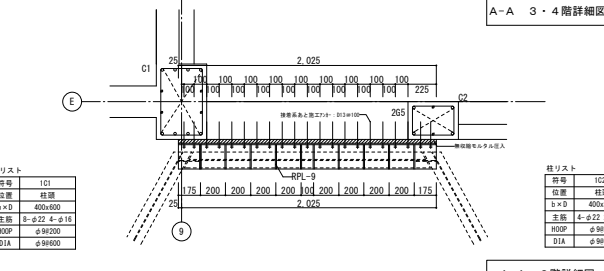
10通り軸組図 S=1/200



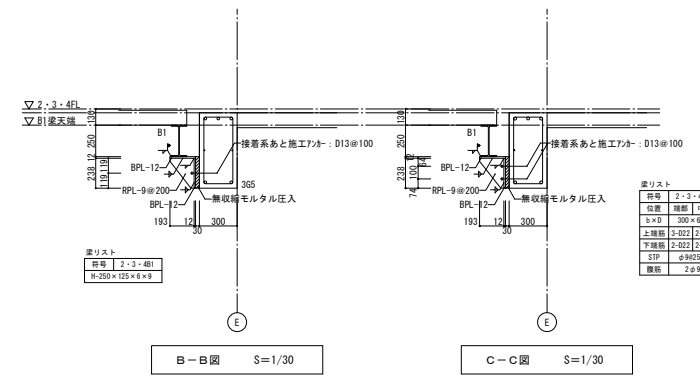
4階梁伏図 S=1/200



A-A 3・4階詳細図 S=1/30

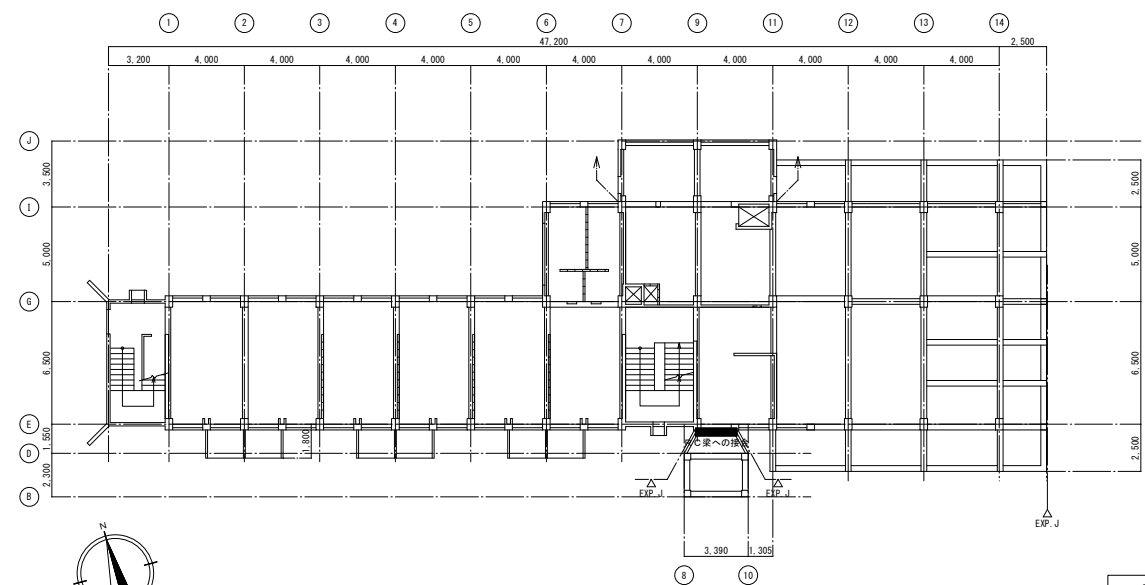


A-A 2階詳細図 S=1/30



B-B図 S=1/30

C-C図 S=1/30



2階梁伏図 S=1/200

材料リスト

数量	2-301
位置	柱頭
寸法	400x600
主筋	4-φ22 4-φ16
ROOF	φ90200
DIA	φ9000

材料リスト

数量	2-302
位置	柱頭
寸法	400x600
主筋	4-φ22 2-φ16
ROOF	φ90200
DIA	φ9000

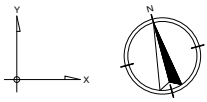
材料リスト

数量	101
位置	柱頭
寸法	400x600
主筋	4-φ22 4-φ16
ROOF	φ90200
DIA	φ9000

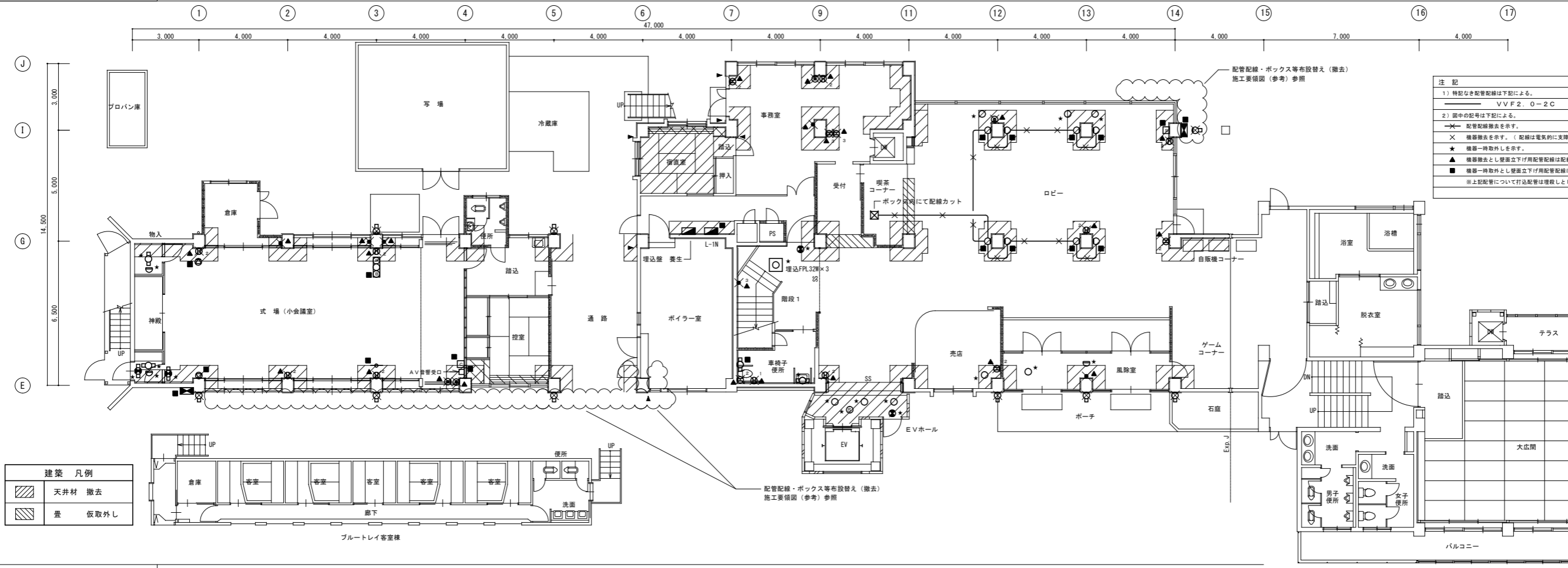
材料リスト

数量	102
位置	柱頭
寸法	400x600
主筋	4-φ22 2-φ16
ROOF	φ90200
DIA	φ9000

凡例	補強材料リスト
BPL (水平)	厚12 205x2,050 (SS400)
BPL (垂直)	厚12 238x2,050 (SS400)
H.T.B	1-M16 (F10T)
RPL	厚9 @200 (SS400)
接合系あと施工フタ	D13@100 埋込長さ13da(有効埋込長さ12da)Dナット



1階撤去平面図



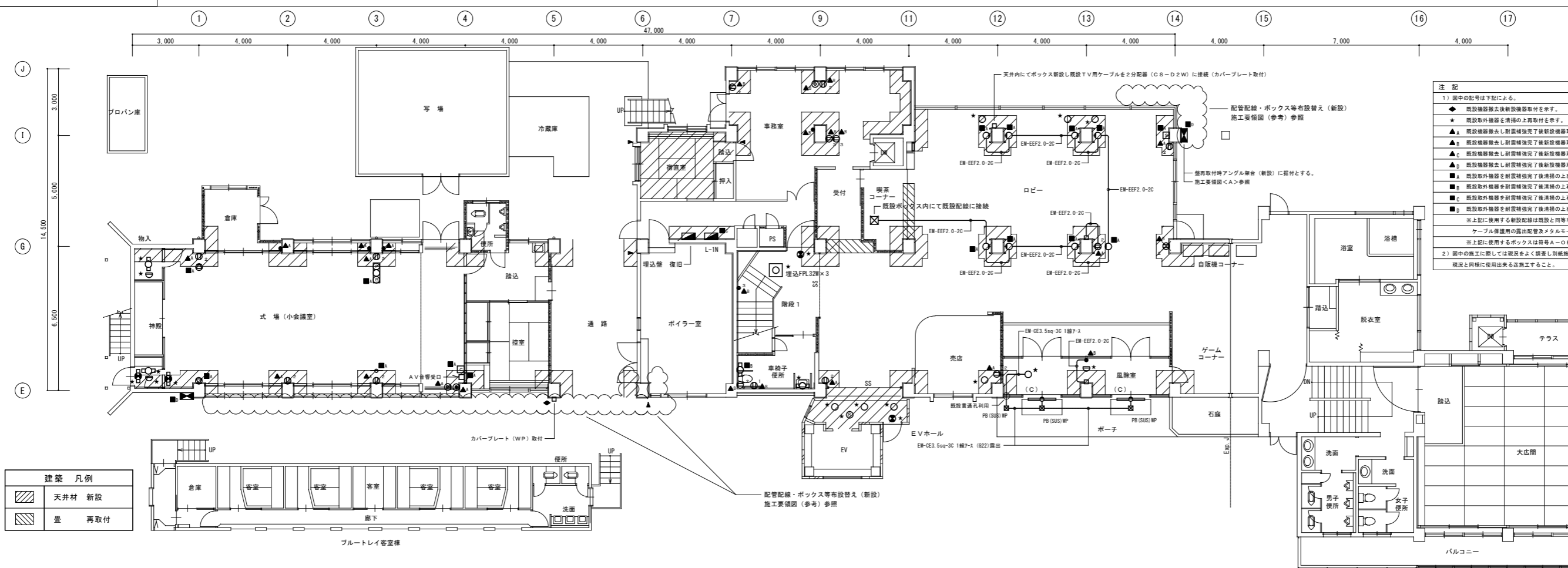
注 記
 1) 特記なき配管配線は下記による。
 VVF2.0-2C
 2) 図中の記号は下記による。
 〓 配管配線撤去を示す。
 ✕ 機器撤去を示す。(配線は電気の支持が生じない種取扱いのこと)
 ★ 機器一時取外しを示す。
 ▲ 機器撤去し壁面立上げ用配管配線は配線のみ天井面まで引抜き再利用とする。
 ■ 機器一時取外しと壁面立上げ用配管配線は配線のみ天井面まで引抜き再利用とする。
 ※上記配管について打込配管は埋設とし露出配管及メタルモールは撤去する。

記号	名称
⏏	動力盤
⏏	電灯盤
⏏	手元照明器
⏏	照明器具 埋込FPL32W×3
⏏	照明器具 埋込DL
⏏	照明器具 直付シーリング
⏏	照明器具 壁付ブラケット
⏏	誘導灯
⏏	スイッチ
⏏	コンセント
⏏	電話用受口 (6種4芯)
⏏	情報用受口 (LAN端子)
⏏	テレビ用直列ユニット
⏏	アンプ
⏏	カットリレー
⏏	スピーカー 天井付
⏏	スピーカー 壁付
⏏	マイクアンテナ
⏏	総合盤 (PBL収容)
⏏	感知器

建築 凡例

〓	天井材 撤去
✕	畳 仮取外し

1階改修平面図

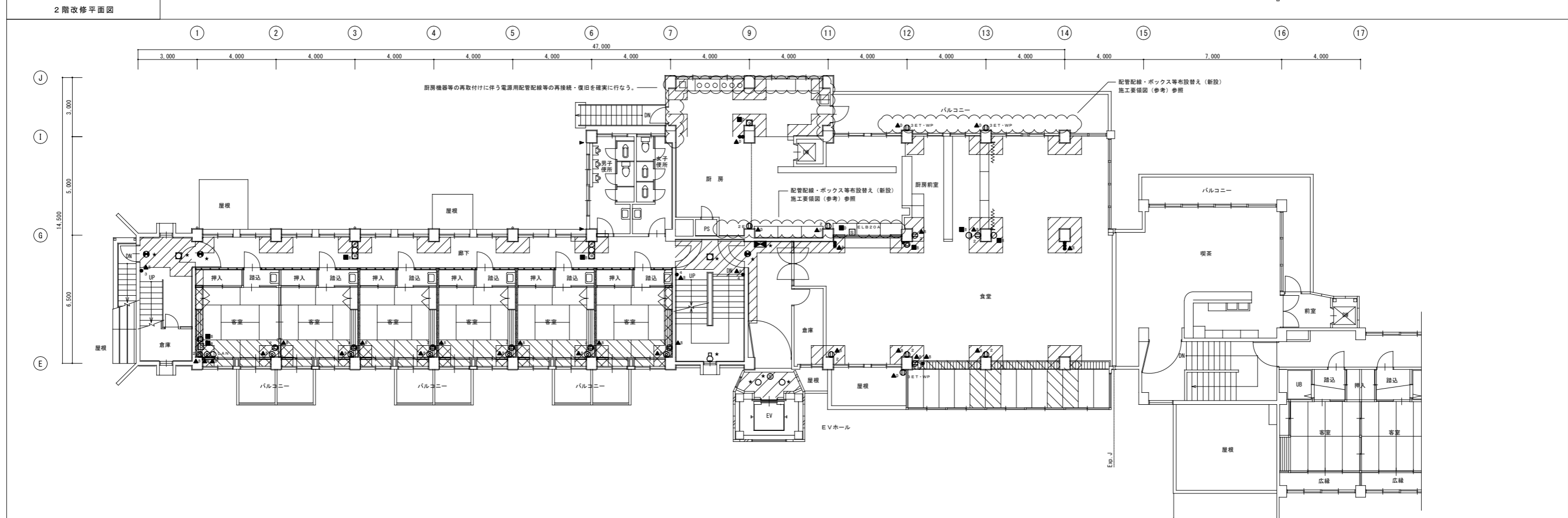
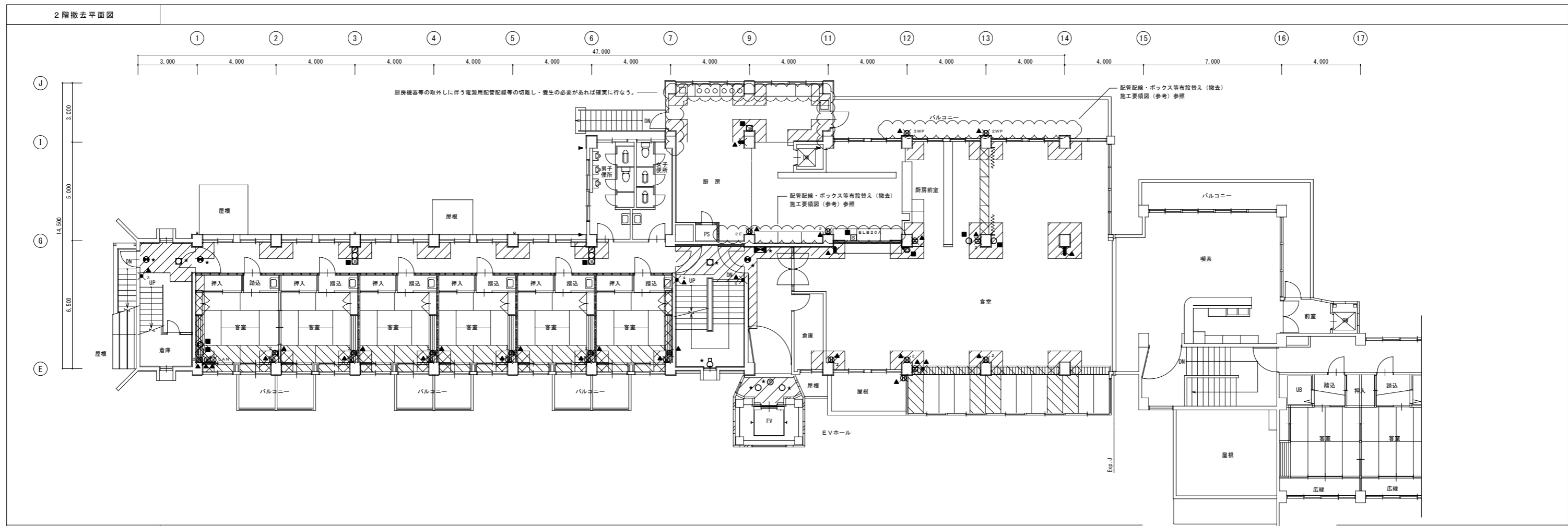


注 記
 1) 図中の記号は下記による。
 ◆ 既設機器撤去後新設機器取付を示す。
 ★ 既設外機器を清掃の上再取付を示す。
 ▲ 既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立上げは新設配管にて復旧する。
 ■ 既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立上げは新設配管+メタルモールにて復旧する。
 ● 既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立上げは新設配管+露出E管にて復旧する。
 ▲ 既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立上げは新設配管+露出E管にて復旧する。
 ■ 既設外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立上げは新設配管+メタルモールにて復旧する。
 ● 既設外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立上げは新設配管+露出E管にて復旧する。
 ▲ 既設外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立上げは新設配管+露出E管にて復旧する。
 ※上記に使用する新設配管は既設と同等なEMケーブルとし配線と同等に使用出来る種施工する。
 ※上記に使用するボックスは符号A-OB・符号B-MM用SB・符号C-露出SBを使用する。
 2) 図中の施工に際しては現況をよく調査し別紙施工要領書を参考に施工方法を検討し手落ちのなき種取扱いに
 現況と同等に使用出来る種施工すること。

記号	名称
⏏	動力盤
⏏	電灯盤
⏏	手元照明器
⏏	照明器具 埋込FPL32W×3
⏏	照明器具 埋込DL
⏏	照明器具 直付シーリング
⏏	照明器具 壁付ブラケット
⏏	誘導灯
⏏	スイッチ
⏏	コンセント
⏏	電話用受口 (6種4芯)
⏏	情報用受口 (LAN端子)
⏏	テレビ用直列ユニット
⏏	アンプ
⏏	カットリレー
⏏	スピーカー 天井付
⏏	スピーカー 壁付
⏏	マイクアンテナ
⏏	総合盤 (PBL収容)
⏏	感知器

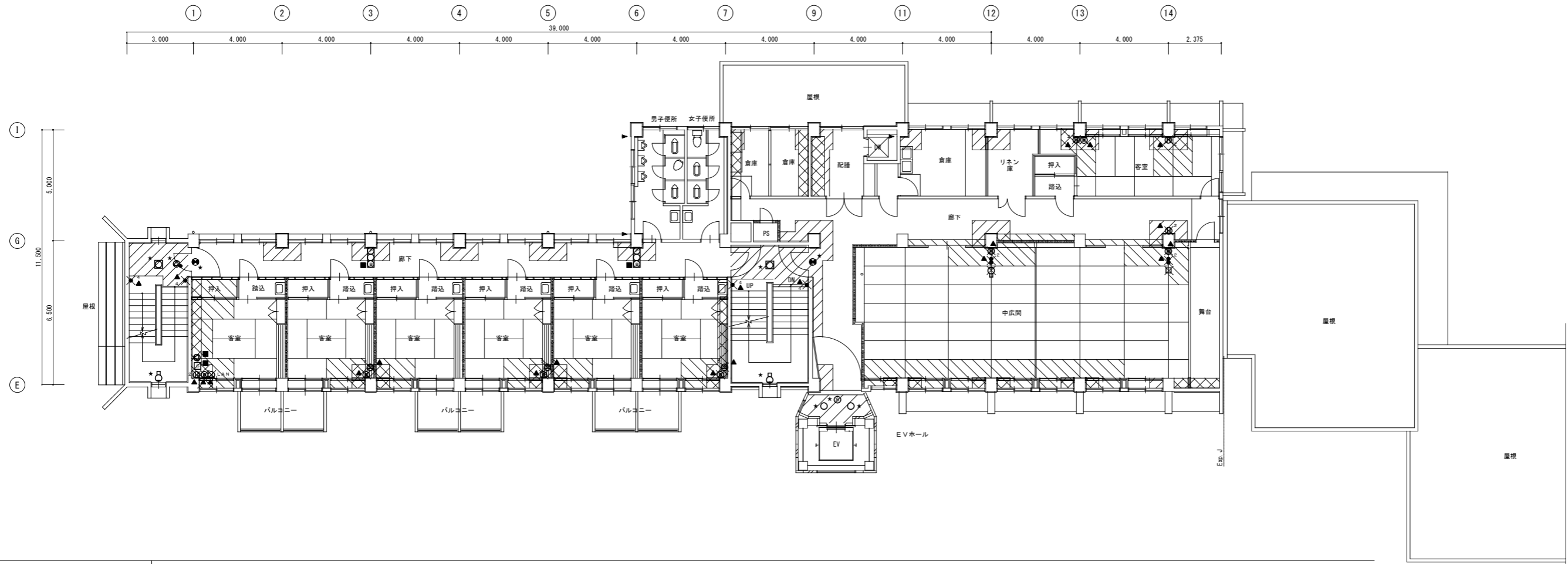
建築 凡例

〓	天井材 新設
✕	畳 再取付

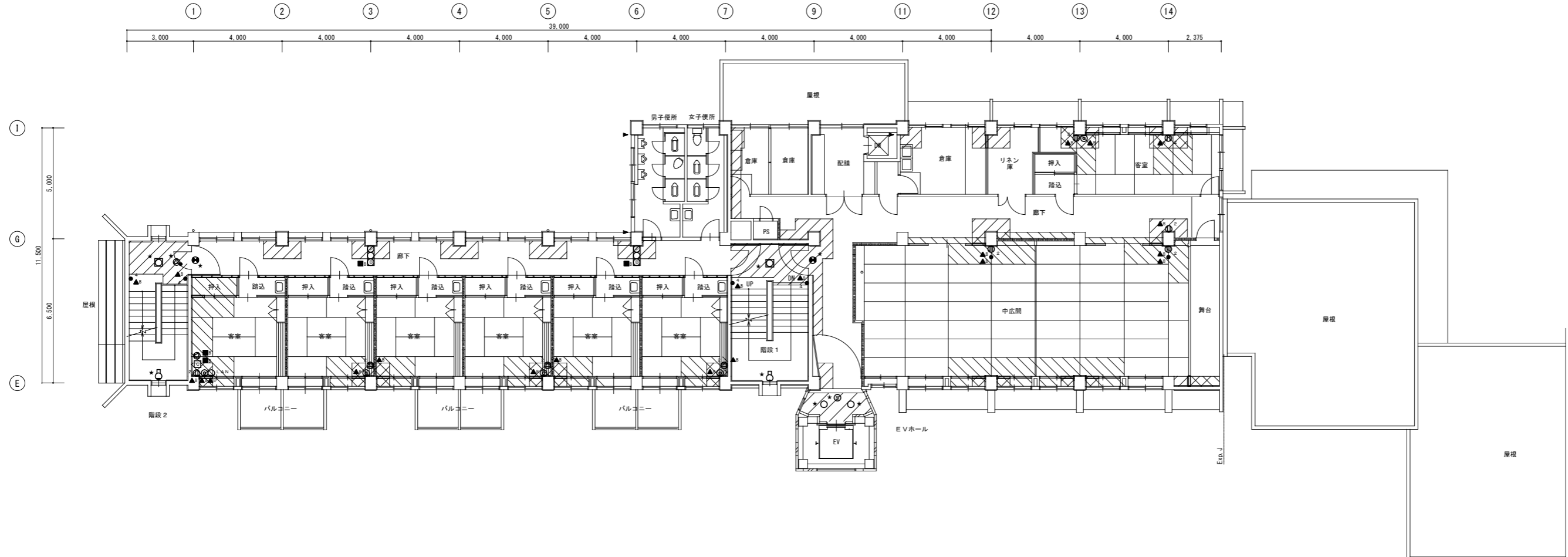


 株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. <small>ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.</small>	資格/番号 代表 設計者 1級建築士 第131983号 新井 一治	印 製 図 種 別	訂正	特記	国民宿舎事業施設 関ロジック耐震補強及び改修工事	図面内容 耐震改修 2階平面図 縮尺 A:1/100 A3:1/200	図面番号 12 図面 区分 3003 電気設備図
	担当 設計者						

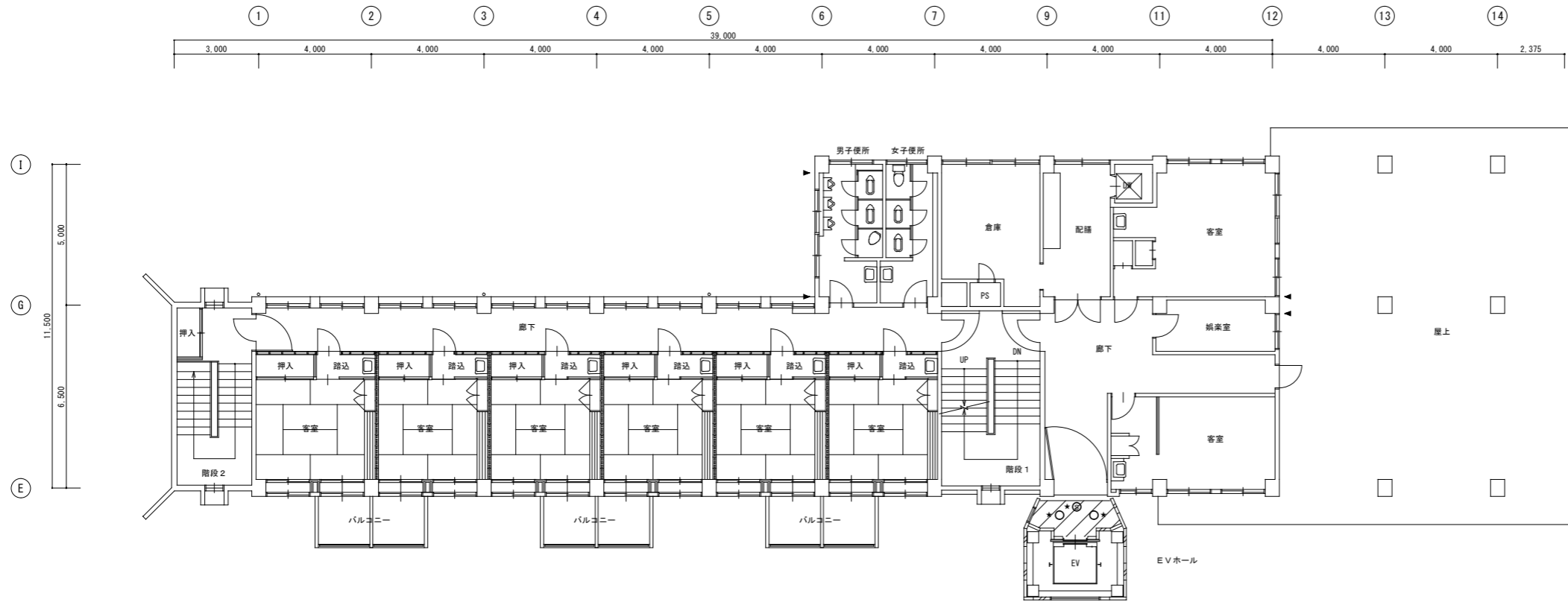
3階撤去平面図



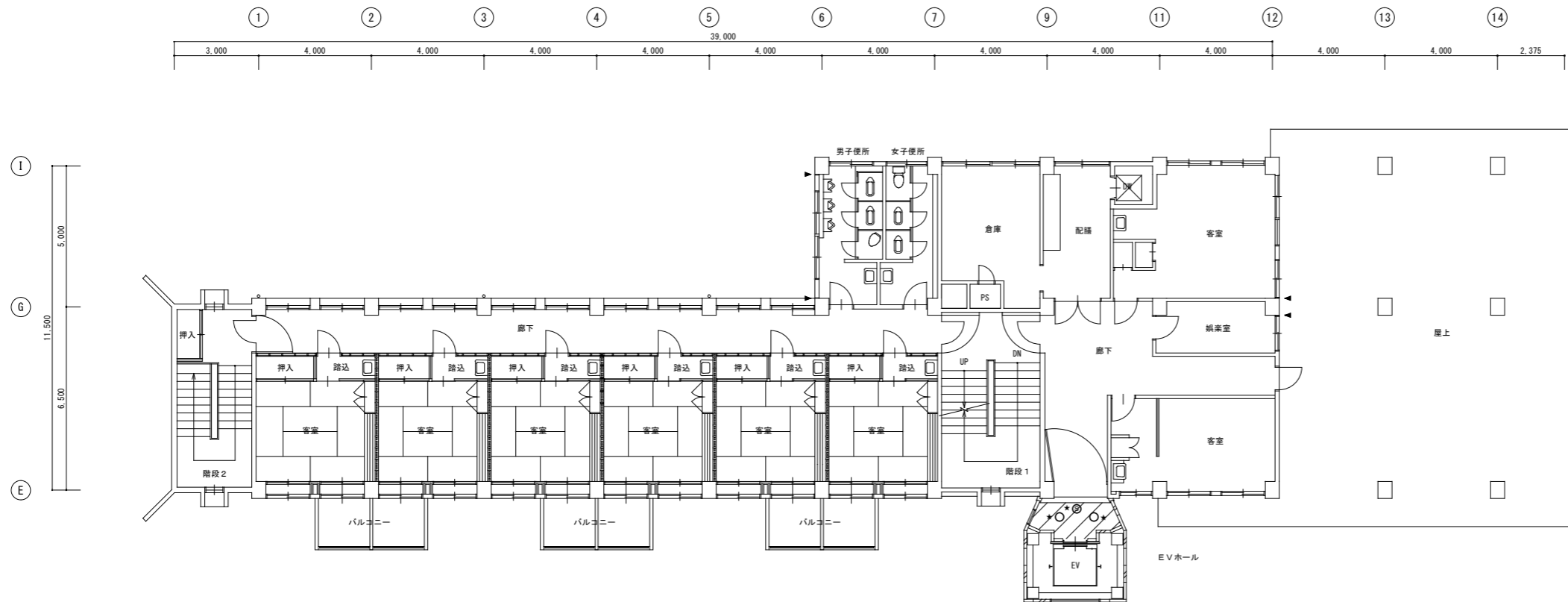
3階改修平面図



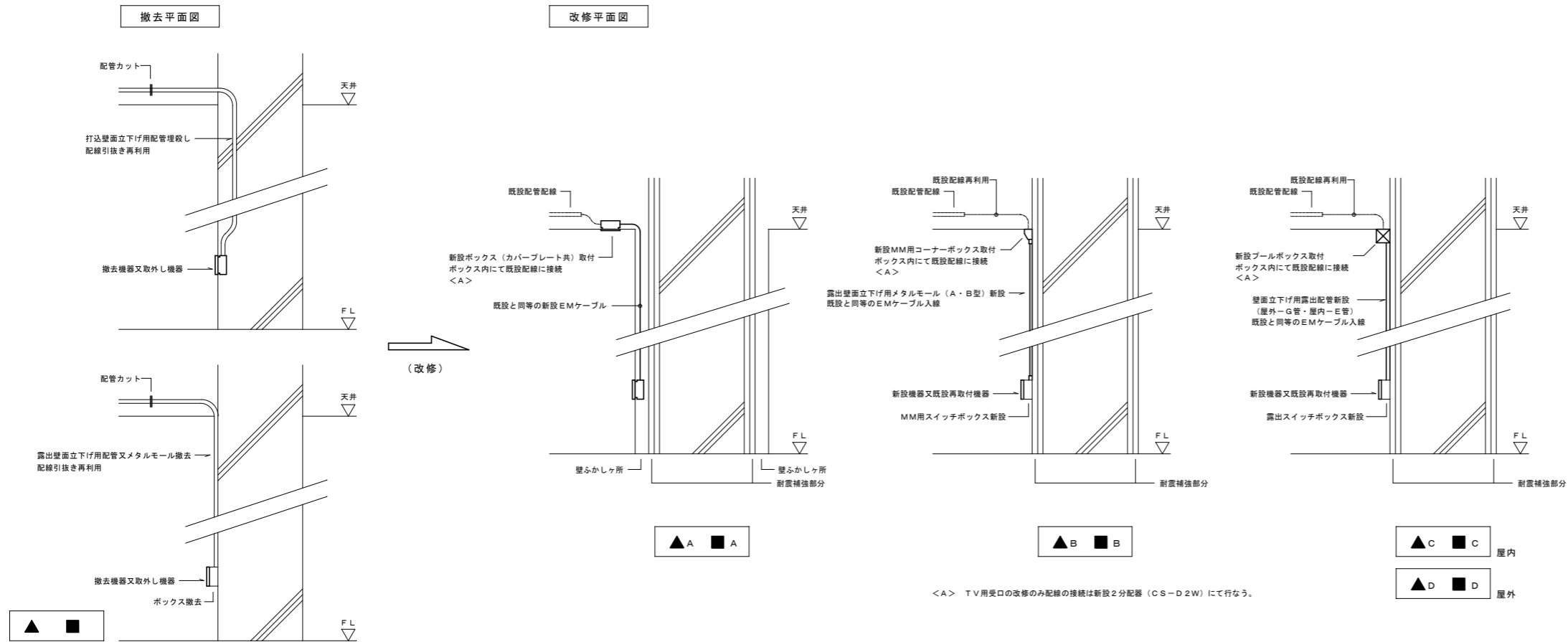
4階撤去平面図



4階改修平面図



耐震補強による改修ヶ所の施工要領図（参考）



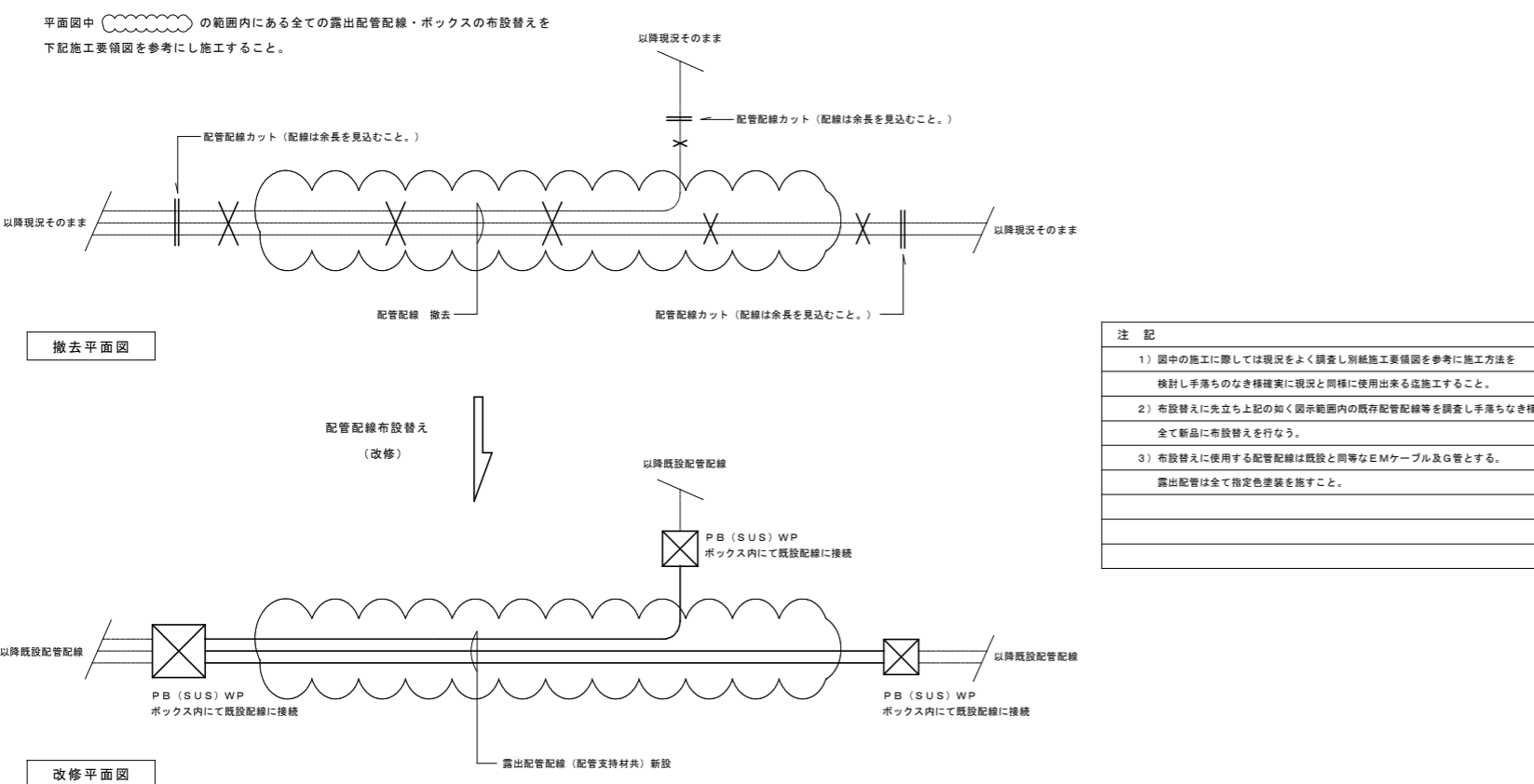
撤去平面図

注 記	
1) 図中の記号は下記による。	
×	機器撤去を示す。（配線は電気的に支障が生じない様処理のこと。）
*	機器一時取外しを示す。
▲	機器撤去とし壁面立下げ用配管配線は配線のみ天井面まで引きき再利用とする。
■	機器一時取外しとし壁面立下げ用配管配線は配線のみ天井面まで引きき再利用とする。
※上記配管について打込配管は埋設しとし露出配管及メタルモールは撤去する。	

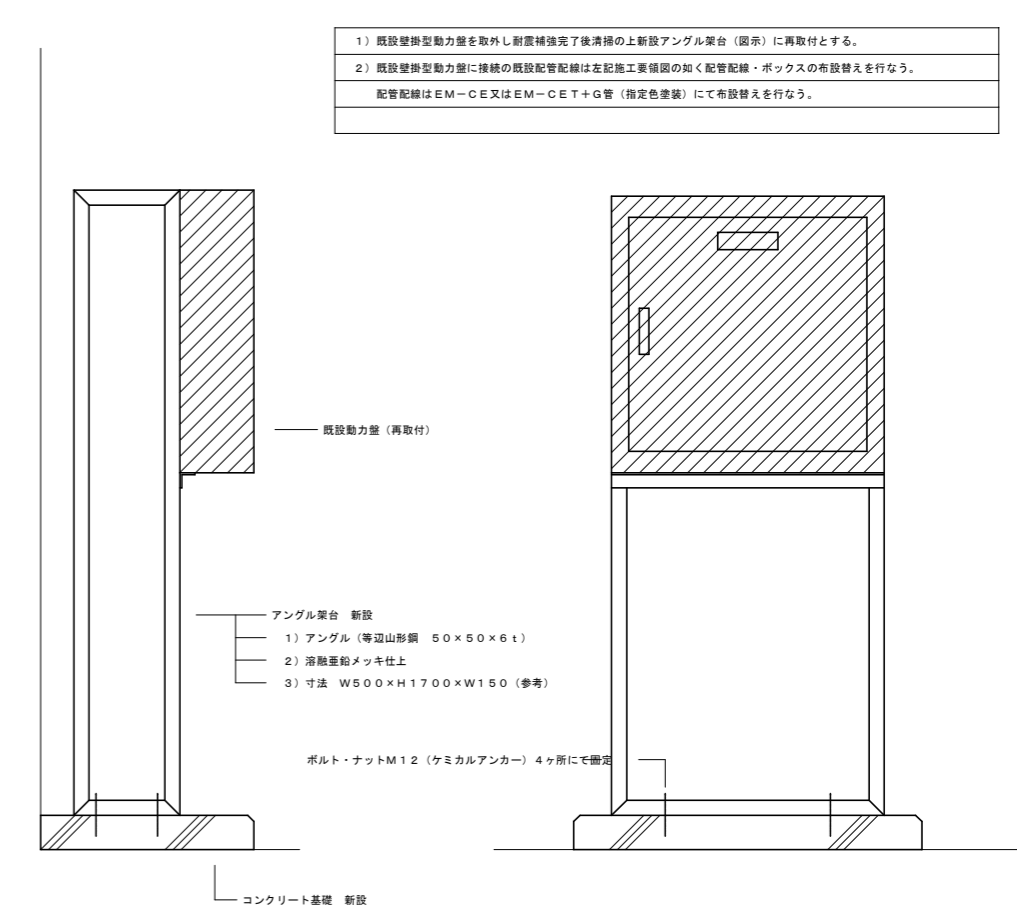
改修平面図

注 記	
1) 図中の記号は下記による。	
◆	既設機器撤去後新設機器取付を示す。
*	既設取外機器を清掃の上再取付を示す。
▲A	既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立下げは新設隠蔽配線にて復旧する。
▲B	既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立下げは新設配線+メタルモールにて復旧する。
▲C	既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立下げは新設配線+露出E管にて復旧する。
▲D	既設機器撤去し耐震補強完了後新設機器取付とし壁面立下げは新設配線+露出G管にて復旧する。
■A	既設取外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立下げは新設隠蔽配線にて復旧する。
■B	既設取外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立下げは新設配線+メタルモールにて復旧する。
■C	既設取外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立下げは新設配線+露出E管にて復旧する。
■D	既設取外機器を耐震補強完了後清掃の上再取付とし壁面立下げは新設配線+露出G管にて復旧する。
※上記に使用する新設配線は既設と同等のEMケーブルとし現況と同様に使用出来る様施工すること。	
ケーブル保護用の露出配管及メタルモールはEMケーブルに適合するサイズを選定すること。	
※上記に使用するボックスは符号A-OB・符号B-MM用SB・符号C-露出SBを使用する。	
2) 図中の施工に際しては現況をよく調査し別紙施工要領図を参考に施工方法を検討し手落ちのなき様確実に	

配管配線・ボックス等布設替え施工要領図（参考）



1階既設動力盤再取付け時施工要領図 <A>

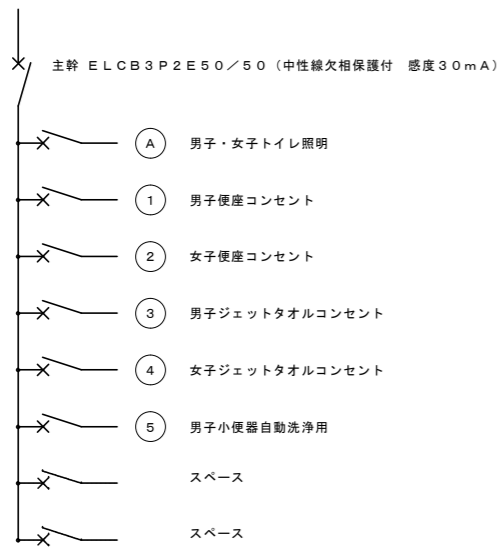


照明器具姿図		(姿图中的品番はパナソニック製とし同等品以上を使用すること。)	
A	LEDダウンライト 60形 電源ユニット内蔵 白熱灯60形器具相当	B	LEDダウンライト 100形 電源ユニット内蔵 蛍光灯FDL27形器具相当
LEDダウンライト NNN71061-LE1		LEDダウンライト NNN72193-LE9	
		ウォールライト 防雨・防湿型 本体：ステンレス カバー：アクリル(乳白) 枠：ステンレス(クリア) 器具取付用台座 (SUS) WP共 FBF7RP-321	

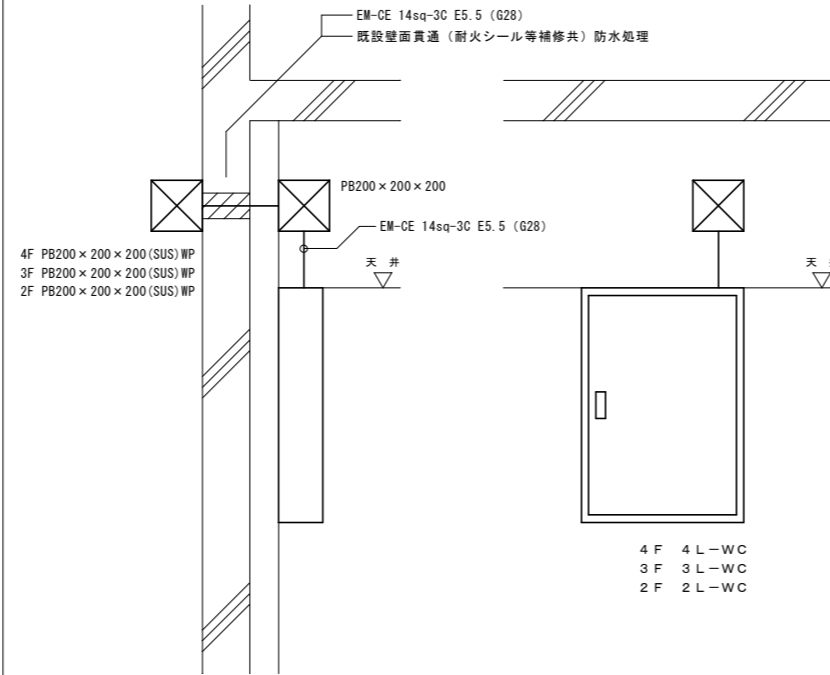
注一照明器具決定前に施工現場係員打合せ了承を得ること。

2L-WC・3L-WC・4L-WC
露出型
パナソニック BN565F同等品以上

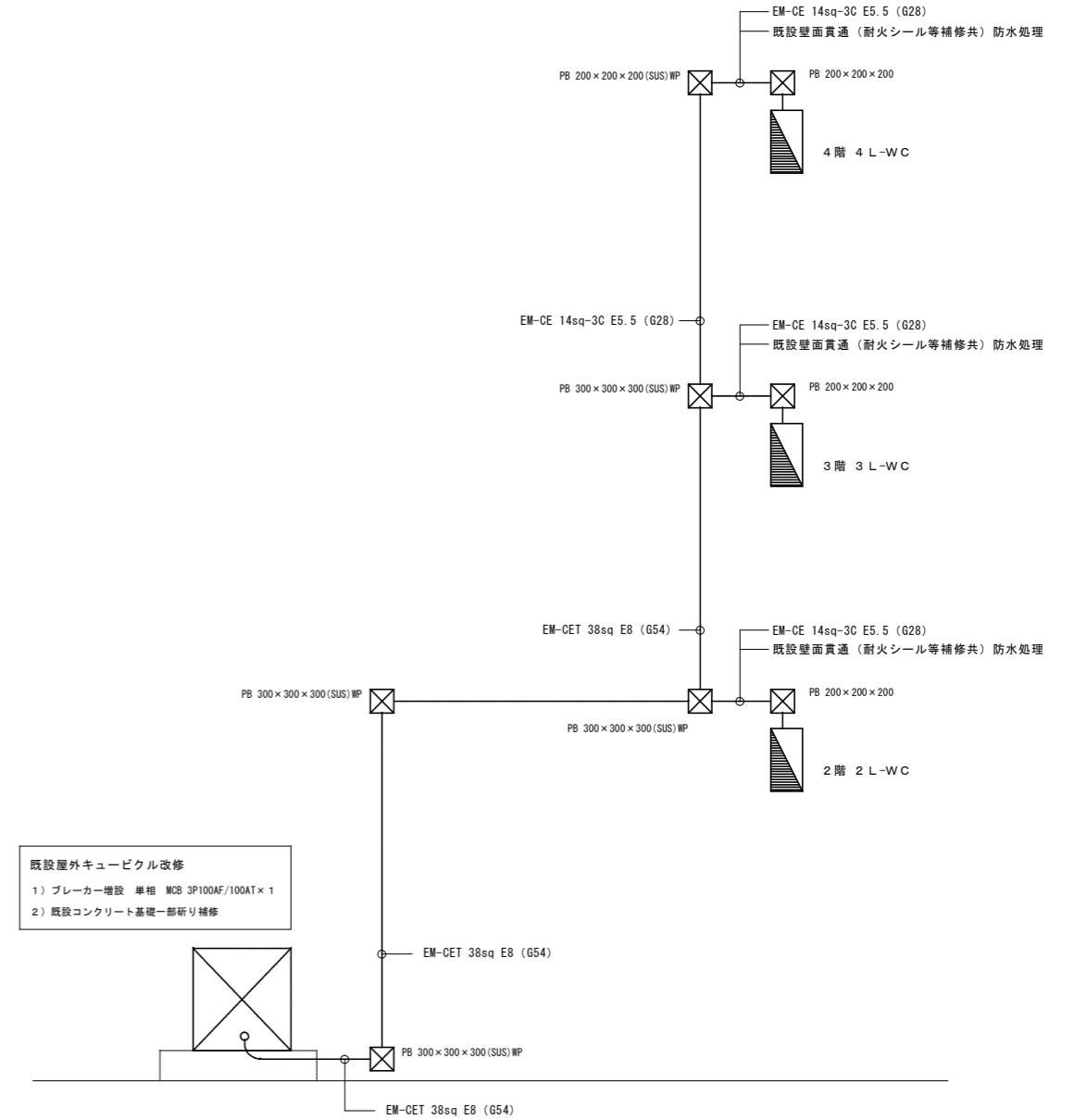
1φ3W210/105V



トイレ改修 分電盤図



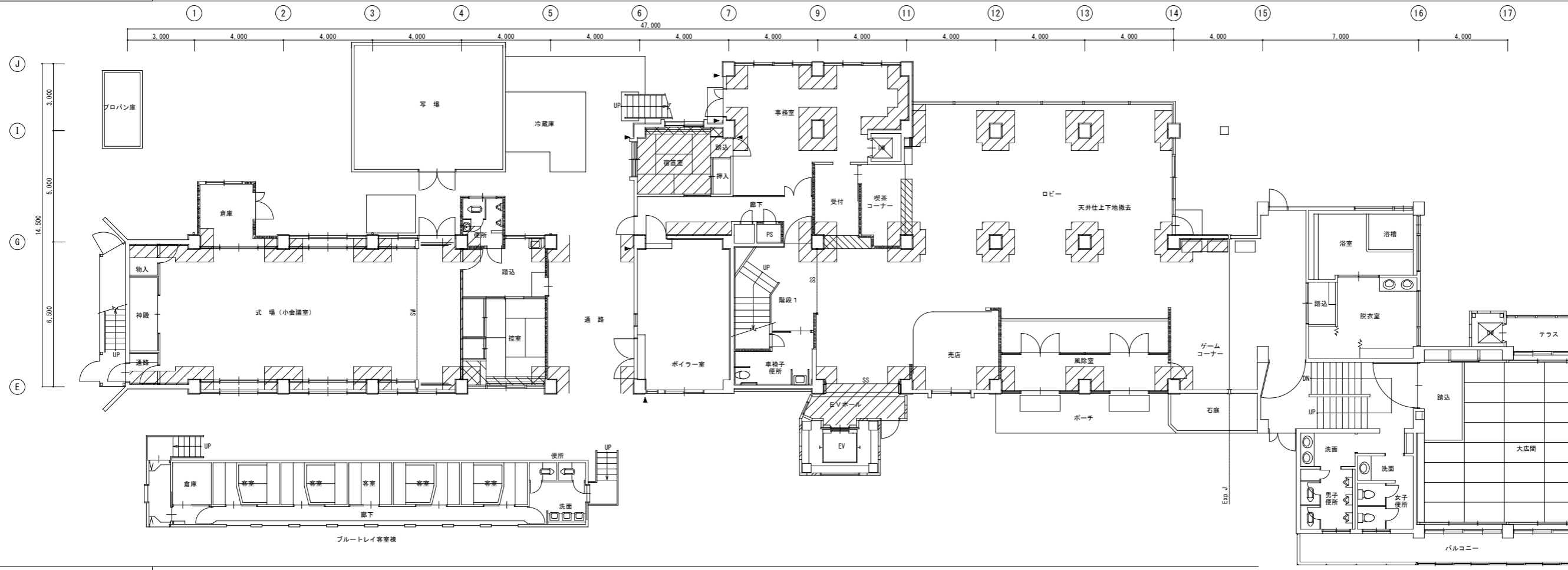
トイレ改修 分電盤取付等参考要領図



既設屋外キュービクル改修
1) ブレーカー増設 単相 MCB 3P100AF/100AT×1
2) 既設コンクリート基礎一部新築

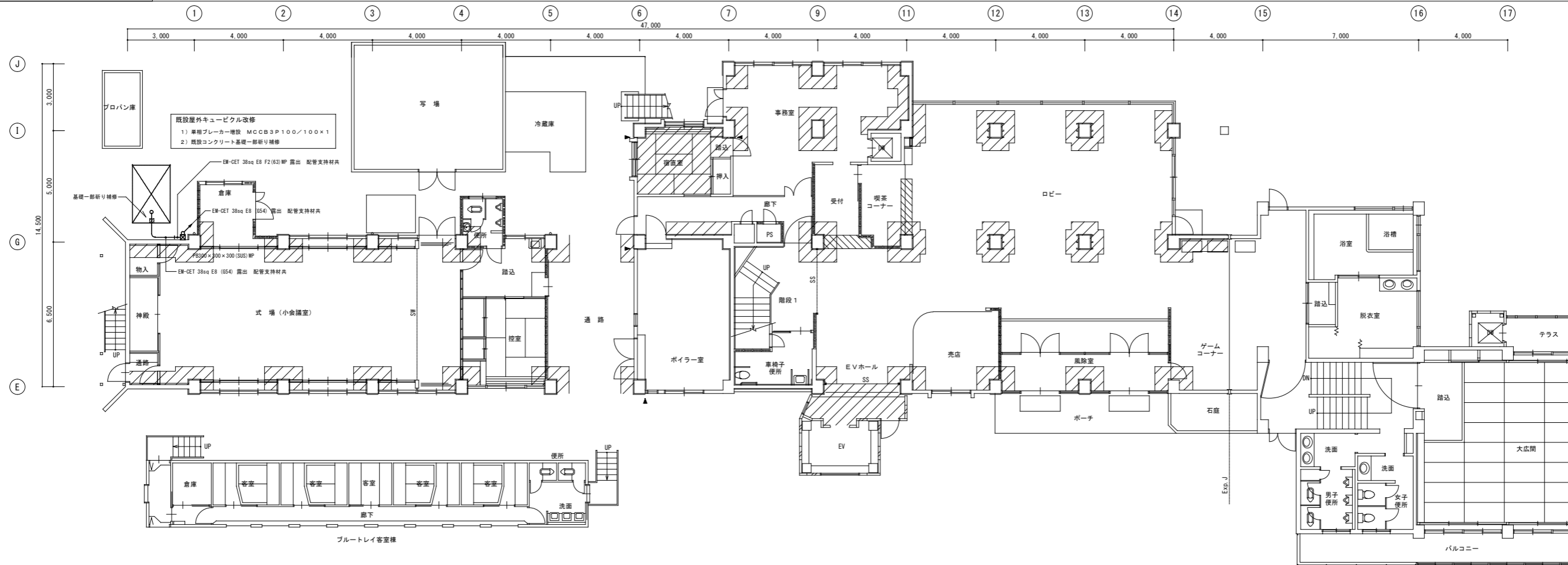
トイレ改修 幹線系統図

1階撤去平面図



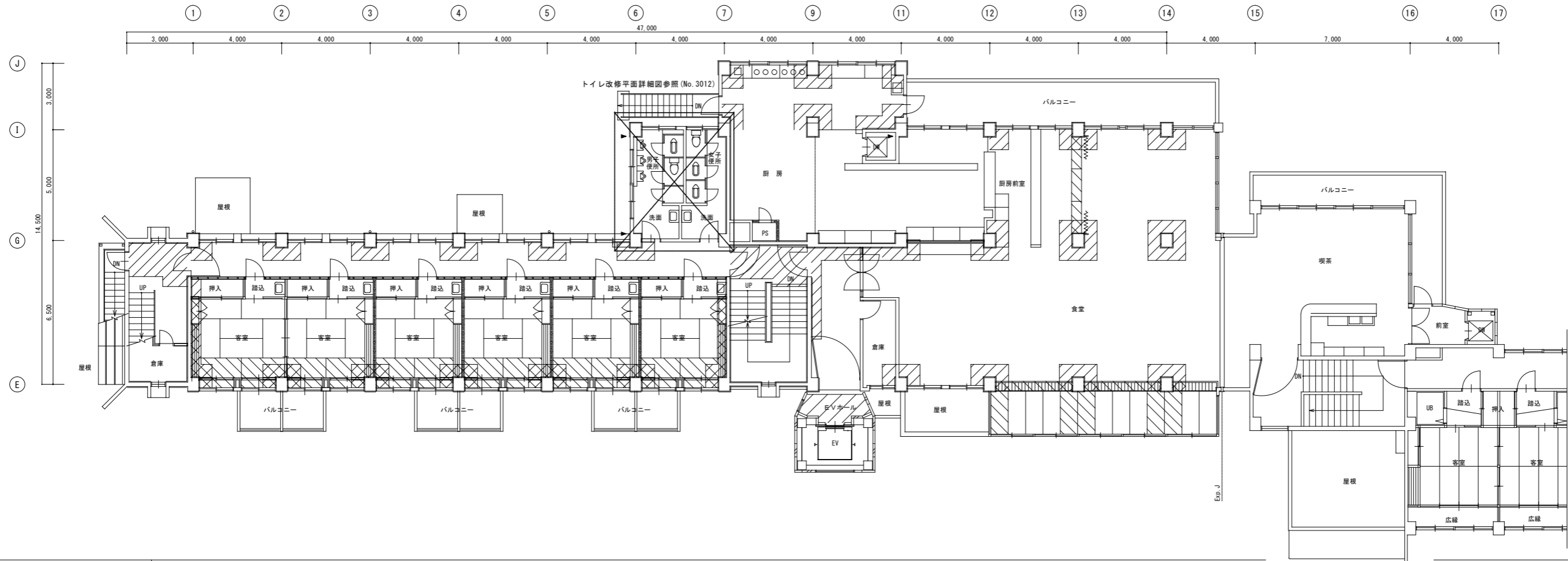
	天井材 撤去
	畳 仮取外し

1階改修平面図

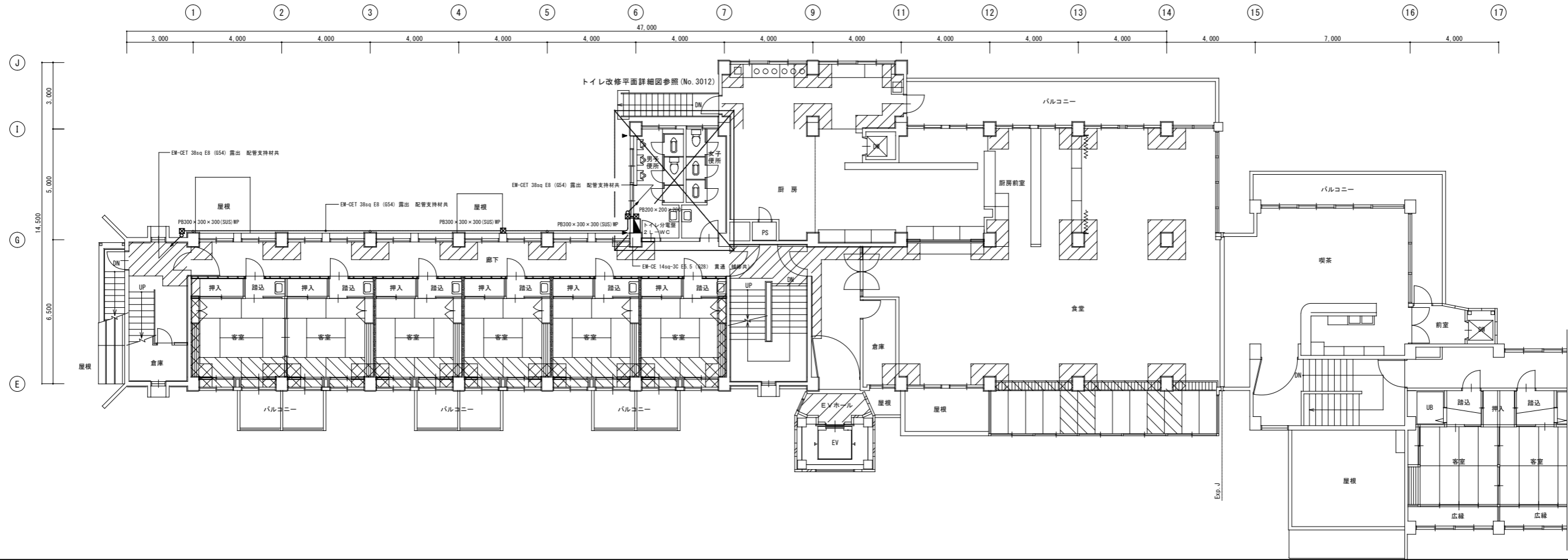


	天井材 新設
	畳 再取付

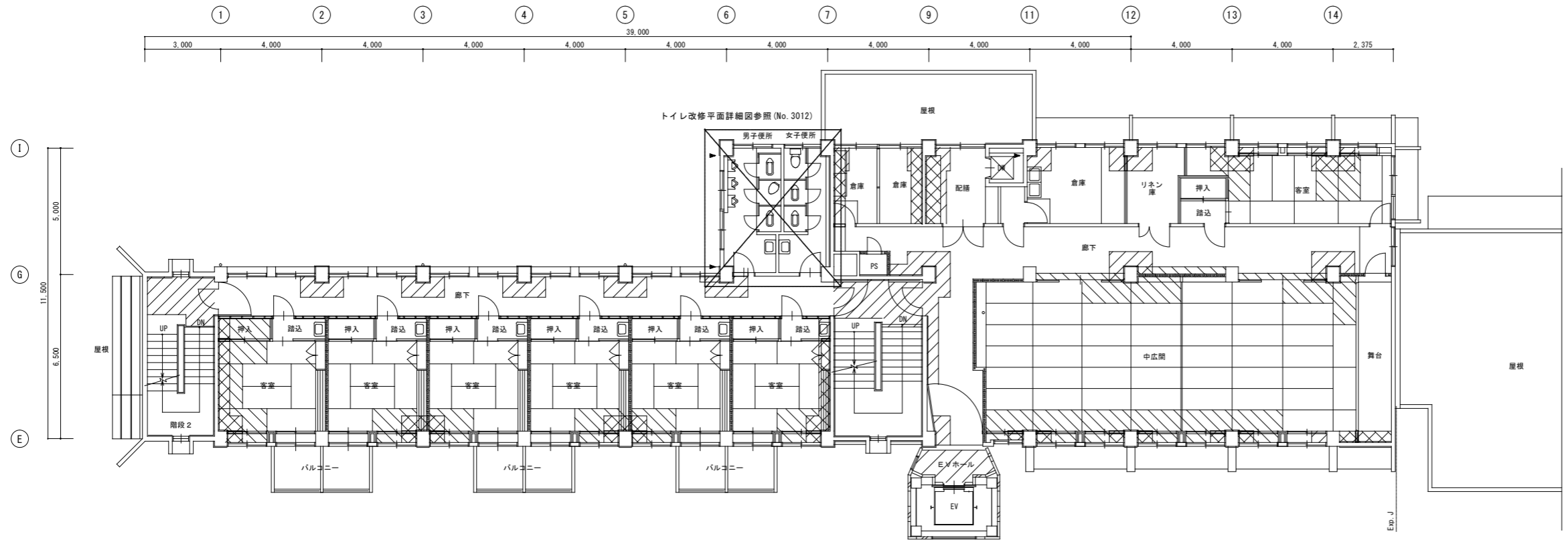
2階撤去平面図



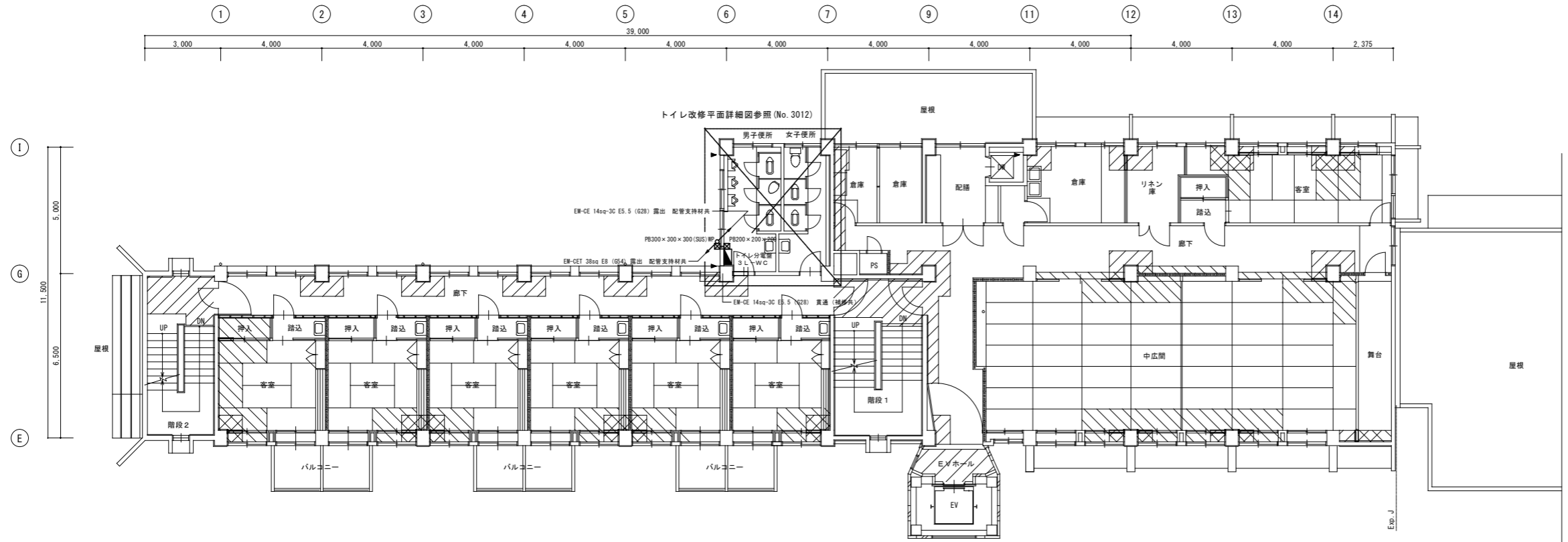
2階改修平面図



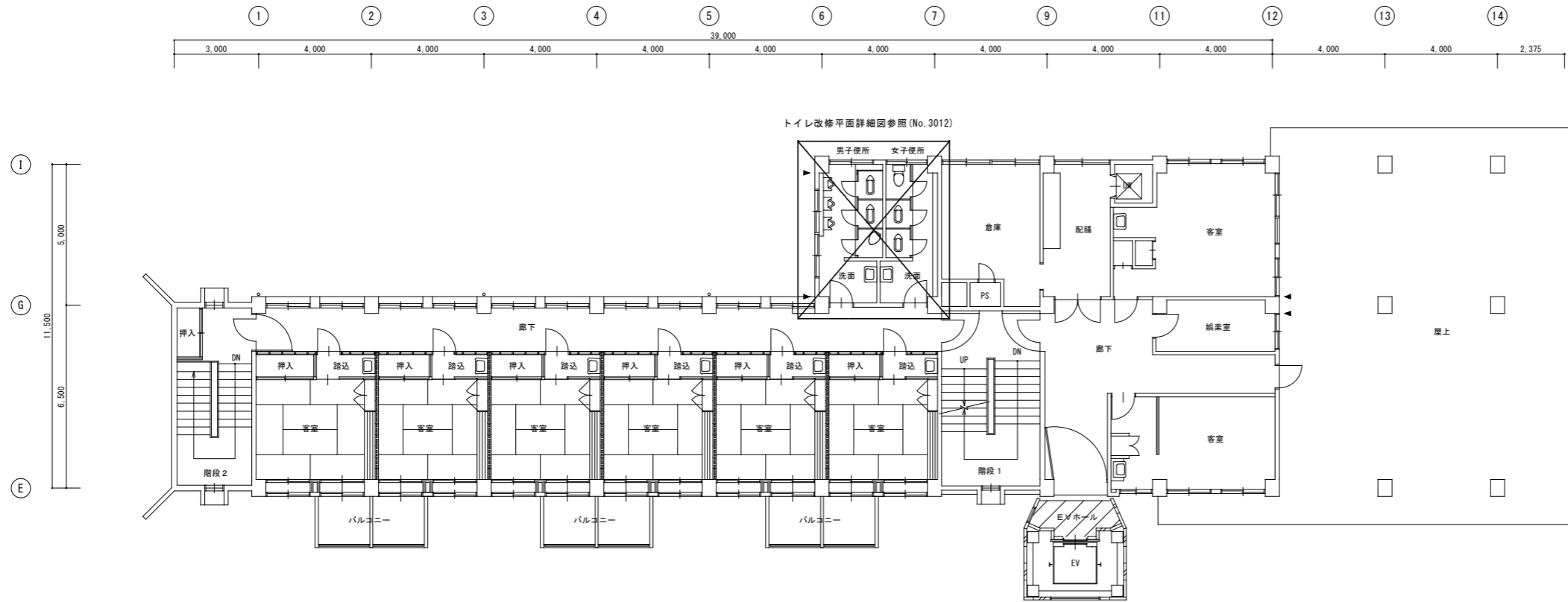
3階撤去平面図



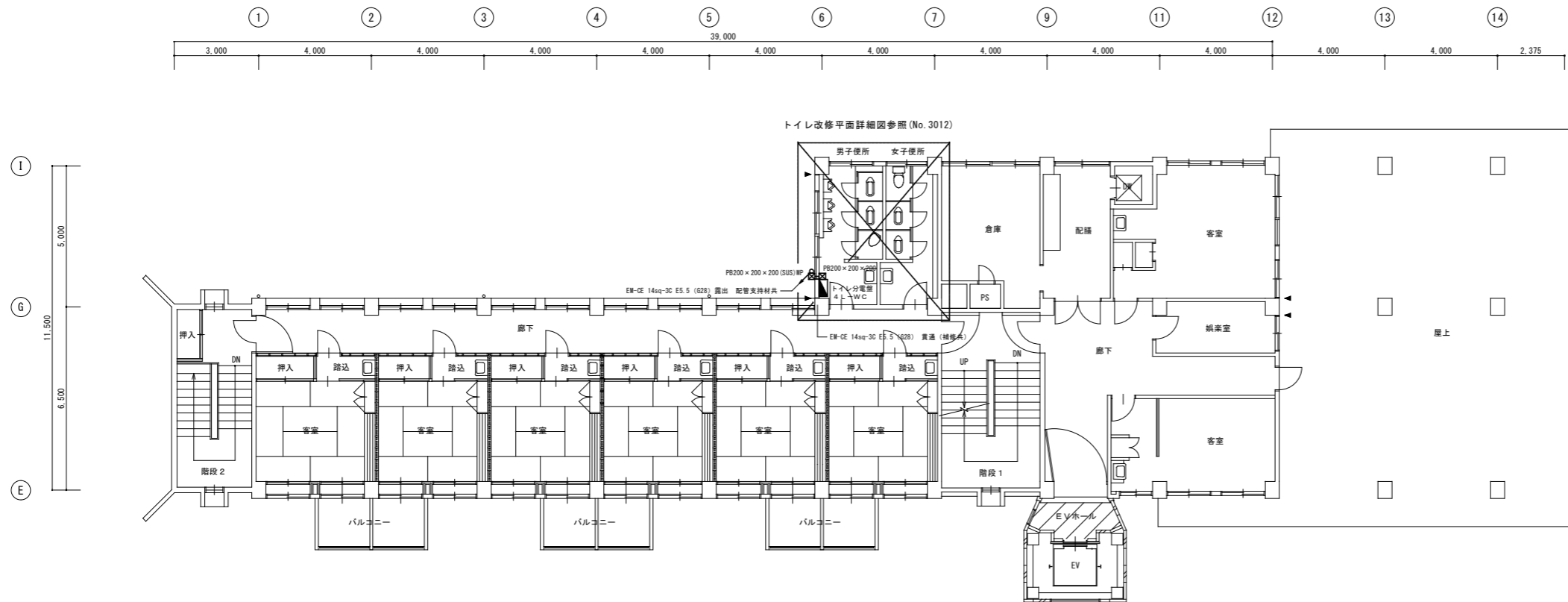
3階改修平面図

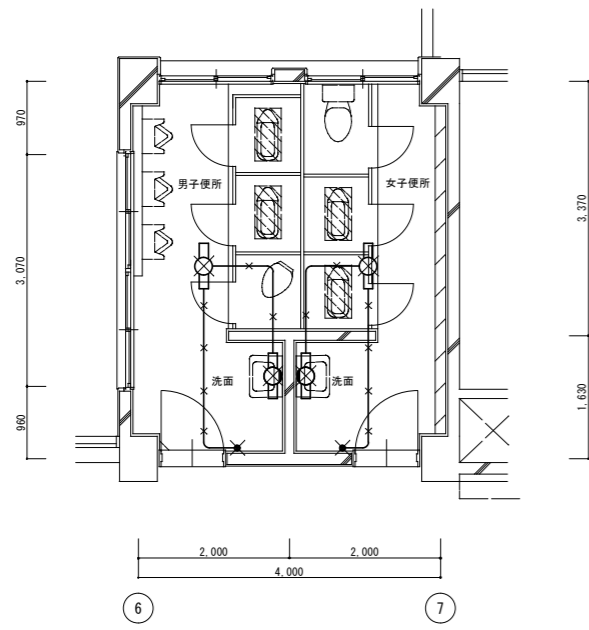


4階撤去平面図



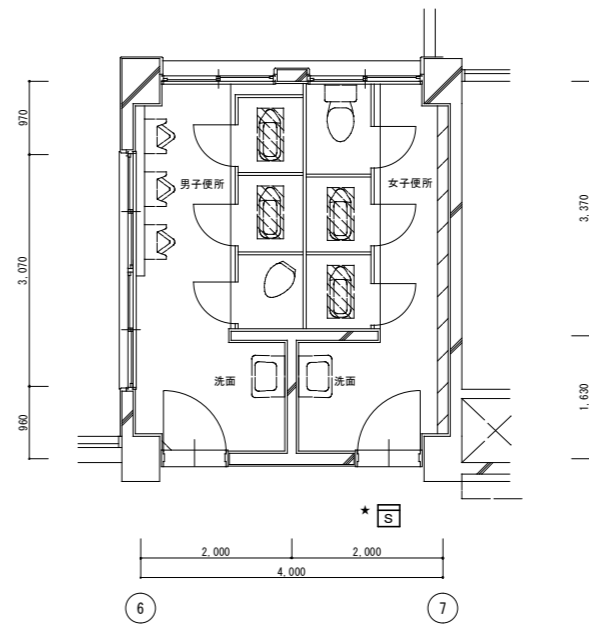
4階改修平面図



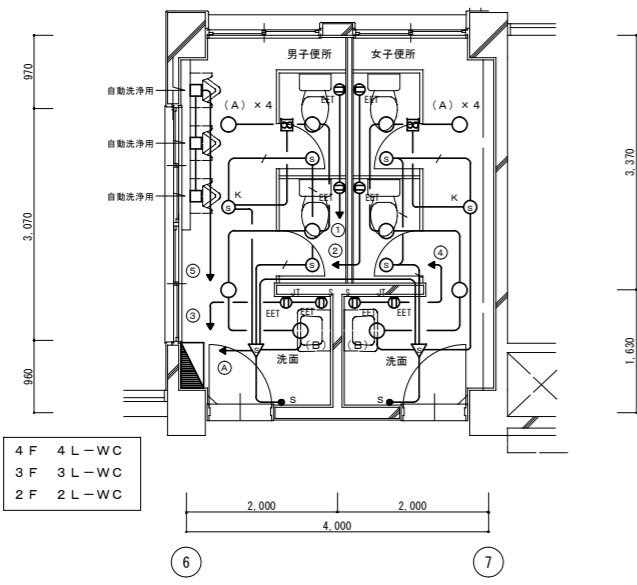


撤去	
天井シーリング	× 2
壁付ブラケット	× 2

注記	
1) 特記なき配管配線は下記による。	— I V 1. 6 × 2 (19)
2) 図中の記号は下記による。	×
	× 機器撤去を示す。
	—× 配管配線撤去を示す。
	(打込配管は配線のみ撤去とする)
3) 撤去後概ね回路等に支障が生じない様既存配線等の電気的な処理を 確実に施すこと。	

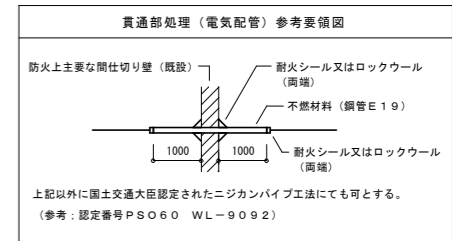
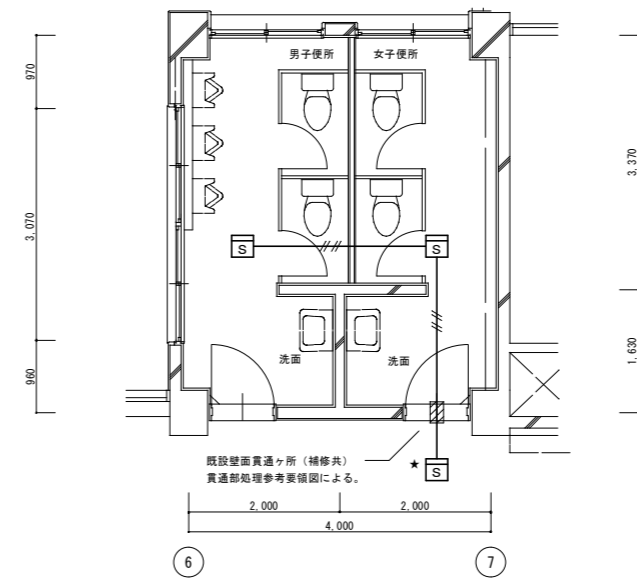


注記	
1) 図中の記号は下記による。	
	★ 機器一時取外しを示す。



4 F	4 L-WC
3 F	3 L-WC
2 F	2 L-WC

注記	
1) 特記なき配管配線は下記による。	— 新設EM-E EF 2. 0-3C PF (22)
	— 新設EM-AE 1. 2-2C PF (16)
	※ 二重天井内のみコログシ配線とする。
2) 図中の記号は下記による。	
●	熱線センサー用操作スイッチ カバー付
▽	熱線センサー 観器 (埋込) 8 A
○	熱線センサー 子器 (埋込)
◎K	熱線センサー 子器 (埋込) 換気扇連動用



注記	
1) 特記なき配管配線は下記による。	— 新設EM-AE 1. 2-4 C
	※ 二重天井内のみコログシ配線とする。
2) 図中の記号は下記による。	
	★ 既設一時取外し機器清掃の上再取付を示す。

空冷ヒートポンプ式空調機

記号	機器名称	形式	組	系統名	定格冷房能力 KW	定格暖房能力 KW	冷媒フロン kg	室内機(参考値)		室外機(参考値)		消費電力(参考値)		電 源	備 考	
								送風機 KW	台	送風機 KW	圧縮機 KW	台	冷房 KW			暖房 KW
ACR-1	ルームエアコン (標準ペア)	床置形	1	1階 式場控室	2.2	2.5	R-22 0.73	0.020	1	0.020	0.70	1		1φ100V (室内機電源)	既設室内機一時取外し・再取付け 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設	
ACR-2	ルームエアコン (標準ペア)	壁掛形	2	3・4階 客室	2.5	2.8	R410A 0.73	0.038	1	0.034	1.10	1	1.110	1.230	1φ100V (室内機電源)	既設室内機一時取外し・再取付け(室外機残置) 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設
ACR-3	ルームエアコン (標準ペア)	床置形	2	2・3階 客室	2.8	4.0	R22 0.95	0.02	1	0.030	0.75	1	1.180	1.290	1φ100V (室内機電源)	既設室内機一時取外し・再取付け(室外機残置) 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設
ACP-1	パッケージエアコン (標準ペア)	床置形 (直吹形)	1	1階 ロビー	7.1	8.0	DF-22 2.7	0.064	1	0.060	1.76	1	2.830	2.810	3φ200V (室外機電源)	既設室内機一時取外し・再取付け 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設
ACP-2	パッケージエアコン (標準ペア)	天井吊露出形	1	2階 食堂	14.0	16.0	R407C 3.7	0.150	1	0.230	3.75	1	6.400	4.960	3φ200V (室外機電源)	既設室内機一時取外し・再取付け(室外機残置) 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設 リモコンスイッチ・配線既設一時取外し・再取付け
ACP-3	パッケージエアコン (標準ペア)	天井埋込カセット形	1	2階 厨房	14.0	16.0	R407C 3.7	0.120	1	0.230	2.90	1	6.200	5.050	3φ200V (室外機電源)	既設室内機残置 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設 リモコンスイッチ・配線既設一時取外し・再取付け
ACP-4	パッケージエアコン (標準ペア)	天井埋込カセット形	1	2階 厨房	10.0	11.2	R-22 2.5	0.120	1	0.200	2.03	1	3.120	3.000	3φ200V (室外機電源)	既設室内機残置 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 既設配管撤去・新設 リモコンスイッチ・配線既設一時取外し・再取付け
ACP-5	パッケージエアコン (標準ペア)	天井埋込カセット形 (4方向吹)	2	1階 式場	7.1	8.0	DF-22 2.7	0.064	1	0.060	1.76	1	2.830	2.810	3φ200V (室外機電源)	既設室外機一時取外し・再取付け(室内機残置) 冷媒フロン 回収・破壊処分・充填 配管既設残置、屋外露出部保温取替え リモコンスイッチ・配線既設一時取外し・再取付け

(特 記)
 (1) 冷房・暖房能力は、JIS規格能力とする。(定格能力)
 (2) 室外機の基礎は 既設再利用。

換気扇類 (撤去)

記号	機器名称	形式	台	系統名	形 番	風 量	静 圧	電気容量	電 源	備 考
						m³/h	Pa	W		
V-1	排風機 電気式シャッター	標準換気扇	3	2-4階 男子便所	200Φ	580	-	20	1φ100V	ウエザーカバー、小窓取付けパネル共 撤去

換気扇類 (新設)

記号	機器名称	形式	台	系統名	形 番	風 量	静 圧	電気容量	電 源	備 考
						m³/h	Pa	W		
VF-1	排風機 天井埋込換気扇 低騒音形	天井埋込換気扇	6	2-4階 男子・女子便所	150Φ	300	120	70	1φ100V	SUS製深形パイプフード共

凡 例

記号	名 称	備 考
—R—	冷 媒 配 管	空調冷媒用保温付継目無銅管 (冷媒管、電源液り電気配線 共巻)
—D—	ド レ ン 管	埋設=VP (JIS K 6741)、その他=耐火二層管
	天井埋込換気扇	丸形ダクト 亜鉛鉄板製スパイラルダクト
	排 風 機	矩形ダクト 亜鉛鉄板
VC	換 気 口	SUS製深形パイプフード (防虫網付)、指定色焼付け塗装
FD	防火ダンパー	
VD	風量調整ダンパー	
—O—	油 管	配管用炭素鋼管 (JIS G 3452 黒)

冷媒配管リスト表

記号	冷 媒 管		液 管	液 管	渡り電気配管配線
	ガス管	液 管			
A	9.5φ	6.4φ	CVV2.0-3C		冷媒管共巻
B	15.9φ	9.5φ	CVV2.0-3C		冷媒管共巻
R	空調機リモコン用電線				CVV2.0-2C (PF16)
冷媒管保温仕様	屋内露出	冷媒管・渡り電気配線共巻の上樹脂製配管化粧箱	屋内隠蔽	冷媒管・渡り電気配線共巻	
冷媒管	屋外露出	冷媒管・渡り電気配線共巻の上ステンレス銅鋼板(配管架台共)	外層化学架橋30倍発泡ポリエチレン+リン酸亜鉛鋼線目無管		被覆厚(液管20mm、液管8-10mm)

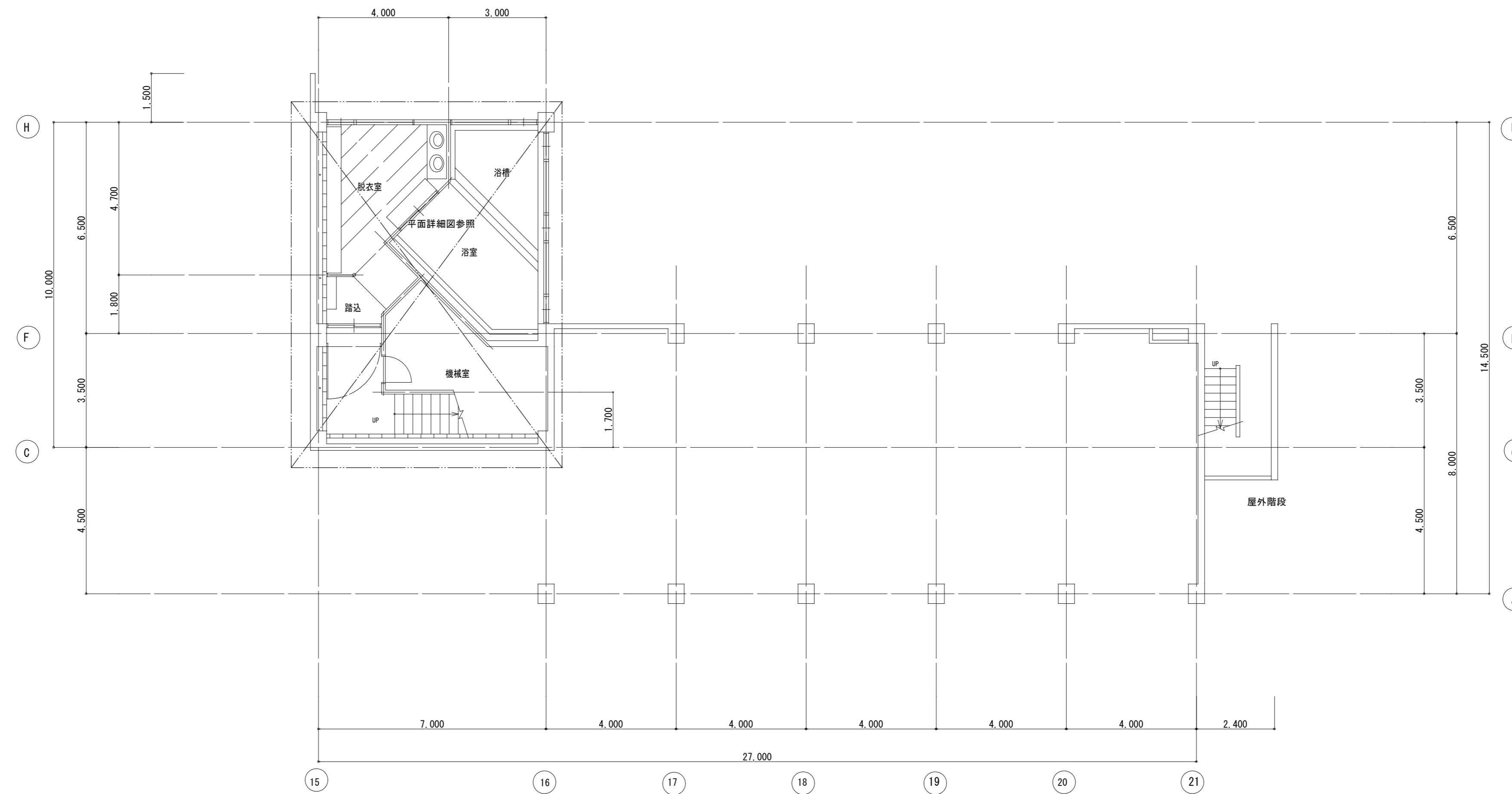
凡 例					
記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
———	給水管	SGP-V (JWWAK116)	☒	水 栓 類	(水・混合・湯)
——I——	給湯管 (往)	一般配管用ステンレス鋼管 (プレス接合)	☒	散 水 栓	ボックス共
——II——	給湯管 (還)	一般配管用ステンレス鋼管 (プレス接合)	☉	床 排 水 ト ラ ッ プ	
————	排水管 (屋内)	耐火二層管 VP (伸縮短管取付) 床下埋設=VP	⊕	床 上 掃 除 口	
————	排水管 (厨房排水)	SGP (白) (JISG3452)	⊗	流 し ト ラ ッ プ	
————	屋外排水管	VP (JISG6741)	⊖	通 気 金 物	
——0——	ガス管	SGP (白) (JISG3452)	⊕	弁 類	JIS10K
-----	給湯器リモコン配線	EM-CEE1.25-2C (PF管内)	⊕	防 振 継 手	

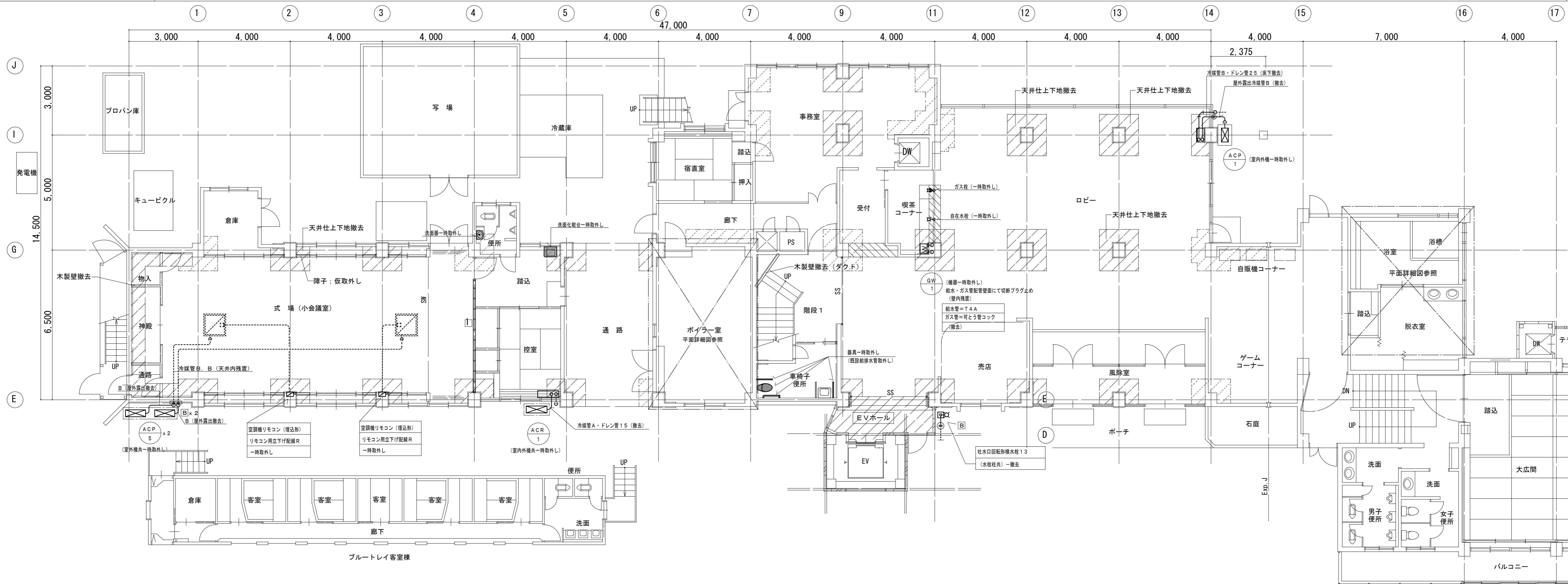
機 器 表 (改修前)

記 号	名 称	仕 様	設置場所	台数	工事内容
B-1	給湯用温水機	形式 鋼板製無圧式温水機 (1回路) 仕様 定格出力 300.000kcal/h (349KW), 伝熱面積7.98m2, 給湯量 6,000L/h, 最高使用圧力 50mPa, A重油38.4L/h, 電気容量 (熱源ポンプ0.4KW×2, バーナー0.75KW, ノズルヒーター0.5KW) 3Φ200V 付属品 弁類共	1階機械室	1	BH-130 (巴ボイラ) 残 置
B-2	給湯用ボイラー	形式 鋼板製油焼き 仕様 定格出力 116KW, 伝熱面積2.2m2, 缶水容量120L, A重油13.8L/h 電気容量 0.5KVA (バーナー0.25KW, オイルプレヒーター0.25KW) 3Φ200V 付属品 弁類共	1階機械室	1	SK-1004XA (昭和鉄工) 残 置
B-3	暖房用蒸気ボイラー	形式 鋼製セクショナルボイラ 油焼き 仕様 定格出力 196.000kcal/h (228KW), 伝熱面積5.8m2, A重油41.4L/h 電気容量 バーナー0.4KW 3Φ200V 付属品 弁類共	1階機械室	1	KFD504 (クボタ) 残 置
SP-1	真空給水ポンプ	形式 様 式 仕様 相当放熱面積 800m2, 給水量 45L/min, 給水圧力 1.0kg, 電気容量 0.75KW 3Φ200V 付属品 給水電磁弁・補給水電磁弁・オーバーフロー電磁弁, 操作盤, 端子箱 その他付属品共	1階機械室	1	VTF-B800 (前田鉄工所) 残 置
RU-1	浴槽循環濾過機	形式 けいそう土 仕様 濾過能力 20m3/h, 濾過面積 4m2, ポンプ50Φ×1.5KW 3Φ200V 付属品 除毛器, 濾過機本体, 弁類 その他付属品共	1階機械室	1	BU1-64 (日機装イコー) 残 置
P-1	給湯循環ポンプ (B-1系統)	形式 ラインポンプ 仕様 40Φ×110L/min×10.5m×0.4KW 3Φ200V 付属品 GV40×2, CV40, その他付属品共	1階機械室	1	PE-2-406-0.4T (川本ポンプ) 残 置
P-2	給湯循環ポンプ (B-2系統)	形式 ラインポンプ 仕様 40Φ×110L/min×10.5m×0.4KW 3Φ200V 付属品 GV40×2, CV40, その他付属品共	1階機械室	1	PE-2-406-0.4T (川本ポンプ) 残 置
GW-1	ガス湯沸器	形式 屋内壁掛形 元止式 仕様 給湯能力5号, ガス仕様 (LPG) 11.2KW (0.8kg/h) 付属品 フレキホース共	1階喫茶 コーナー	1	RUS-V51YT (リンナイ) 機器一時取外し 既設止水栓, ガスコック撤去 (配管残置)
GW-2	ガス給湯器	形式 屋内壁掛形 上方排気式 仕様 給湯能力16号, ガス仕様 (LPG) 34.9KW (2.49kg/h), 電気容量64W, 凍結ヒーター74W 1Φ100V 付属品 排気筒 ステンレス筒60Φ, 付属品共	1階厨房	1	RUX-V1611SWFA-E (リンナイ) 機器一時取外し 給水=既設GV20・FJ20撤去 給湯=既設FJ20撤去 ガス=既設ガスコック20撤去 排気筒SUS撤去
GW-3	ガス湯沸器	形式 貯湯式据置形 仕様 貯湯量 63L, ガス仕様 (LPG) 14.0KW (1.0kg/h) 付属品 給湯口付共	2階厨房前室	1	DST-3号 機器一時取外し 既設止水栓, ガスコック撤去 (配管残置)
OT-1	オイルサービスタンク	形式 蒸気加熱ヒーター付 仕様 タンク容量210L, 560Φ×1365L, 架台820×560×1,620H	1階機械室	1	残 置

機 器 表 (改修後)

記 号	名 称	仕 様	設置場所	台数	工事内容
B-1	給湯用温水機	形式 鋼板製無圧式温水機 (1回路) 仕様 定格出力 480.000kcal/h (558KW), 伝熱面積14.61m2, 給湯量 9,600L/h, 最高使用圧力 0.49MPa, A重油62.9L/h, 電気容量 (熱源ポンプ0.4KW×2, バーナー1.5KW, 制御回路280VA) 3Φ200V 付属品 弁類共	1階機械室	1	新 設
B-2	給湯用ボイラー	形式 鋼板製油焼き 仕様 定格出力 116KW, 伝熱面積2-2m2, 缶水容量120L, A重油13.8L/h 電気容量 0.5KVA (バーナー0.25KW, オイルプレヒーター0.25KW) 3Φ200V 付属品 弁類共	1階機械室	1	SK-1004XA (昭和鉄工) 既設再利用 (機器清掃・調整共)
P-1	給湯循環ポンプ (B-1系統)	形式 ラインポンプ 仕様 40Φ×110L/min×10.5m×0.4KW 3Φ200V 付属品 GV40×2, CV40, その他付属品共	1階機械室	1	新 設
P-2	給湯循環ポンプ (B-2系統)	形式 ラインポンプ 仕様 40Φ×110L/min×10.5m×0.4KW 3Φ200V 付属品 GV40×2, CV40, その他付属品共	1階機械室	1	PE-2-406-0.4T (川本ポンプ) 既設再利用
GW-1	ガス湯沸器	形式 屋内壁掛形 元止式 仕様 給湯能力5号, ガス仕様 (LPG) 11.2KW (0.8kg/h) 付属品 フレキホース共	1階喫茶 コーナー	1	RUS-V51YT (リンナイ) 既設再取付け (清掃共) 止水栓, ガスコック新設 (既設配管に接続)
GW-2	ガス給湯器	形式 屋内壁掛形 上方排気式 仕様 給湯能力16号, ガス仕様 (LPG) 34.9KW (2.49kg/h), 電気容量64W, 凍結ヒーター74W 1Φ100V 付属品 排気筒 ステンレス筒60Φ, 付属品共	1階厨房	1	RUX-V1611SWFA-E (リンナイ) 既設再取付け (清掃共) 給水=GV20・FJ20新設 給湯=FJ20新設 ガス=ガスコック20新設 排気筒SUS新設
GW-3	ガス湯沸器	形式 貯湯式据置形 仕様 貯湯量 63L, ガス仕様 (LPG) 14.0KW (1.0kg/h) 付属品 給湯口付共	2階厨房前室	1	DST-3号 既設再取付け (清掃共) 止水栓, ガスコック新設 (既設配管に接続)





- (注記)
1. 図中.....表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中——表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切筋・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 切筋を示す。

車椅子便所

洋風便器	GBC-110ST	1	一撤取外し
同上手すり	KF-481SH70	1	一撤取外し
同上手すり	KF-920S70D12 (壁L型)	1	一撤取外し
洗面器	KF-312S55	(1)	撤去
同上手すり	KF-312S55	1	一撤取外し

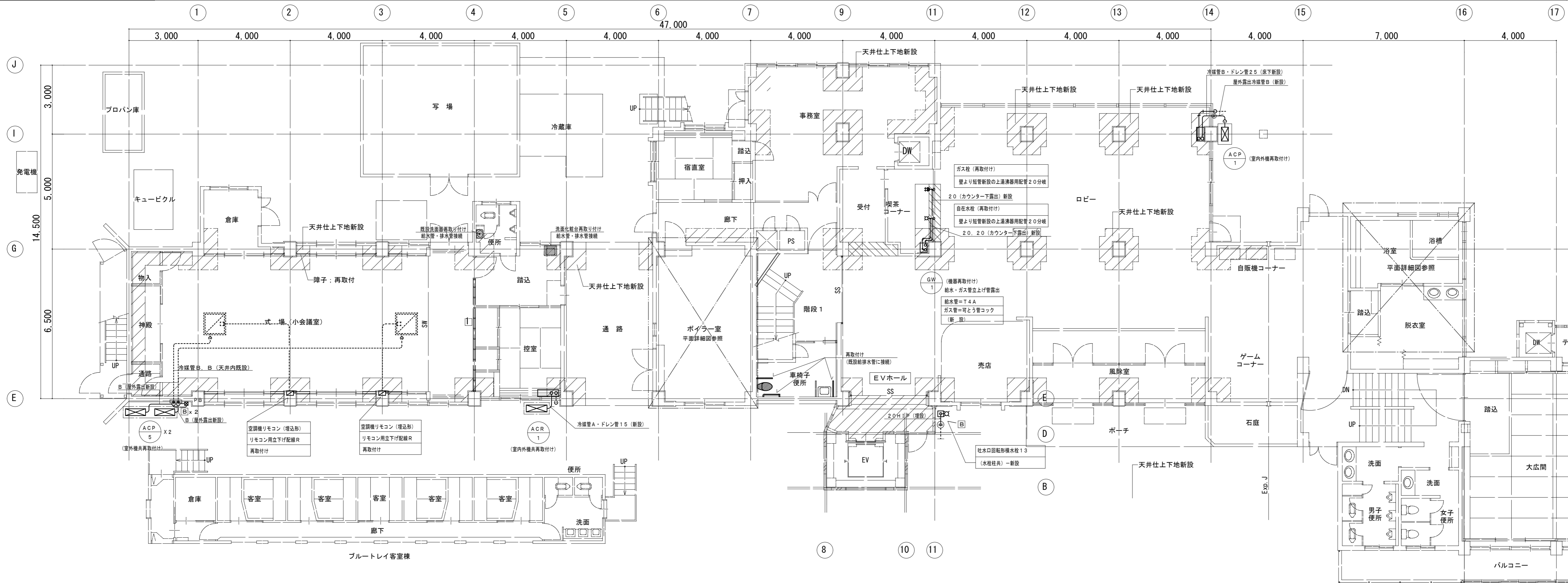
同上品量は1MAXとする

式機 踏込

洗濯化粧台	600型	1	一撤取外し
同上キャビネット		1	一撤取外し

便所

洗面器	既設品	1	一撤取外し
同上化粧鏡		1	一撤取外し
同上化粧棚		1	



- (注記)
1. 図中.....表記は既存配管・器具を示す。
 2. 図中——表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。
 5. 図中PBは空調機室外機張り操作継接用ボックスを示す。(ステンレス製150×150×100H)

車椅子便所

洋風便器	GBC-110ST	1	再取付
同上手すり	KF-481SH70	1	再取付
同上手すり	KF-920S70D12 (壁L型)	1	再取付
洗面器	KF-312S55	(1)	撤去
同上手すり	KF-312S55	1	再取付

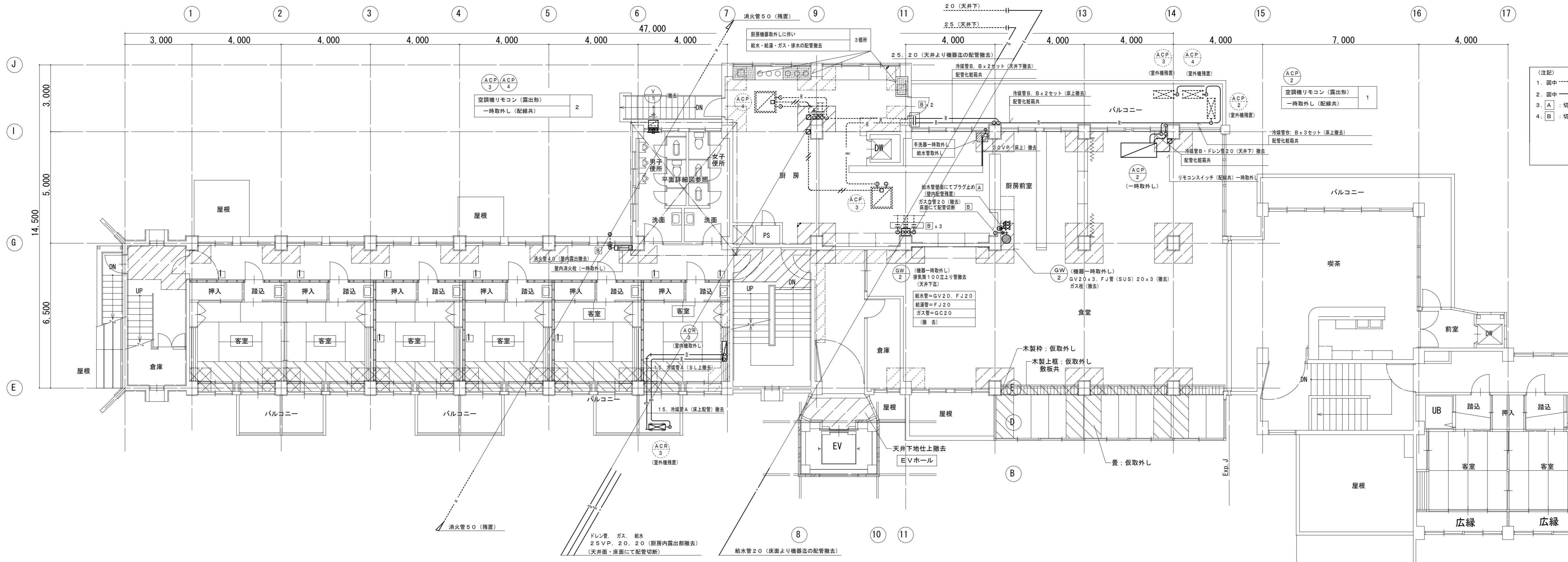
給水管・排水管は既設配管に接続
同上品量は1MAXとする

式機 踏込

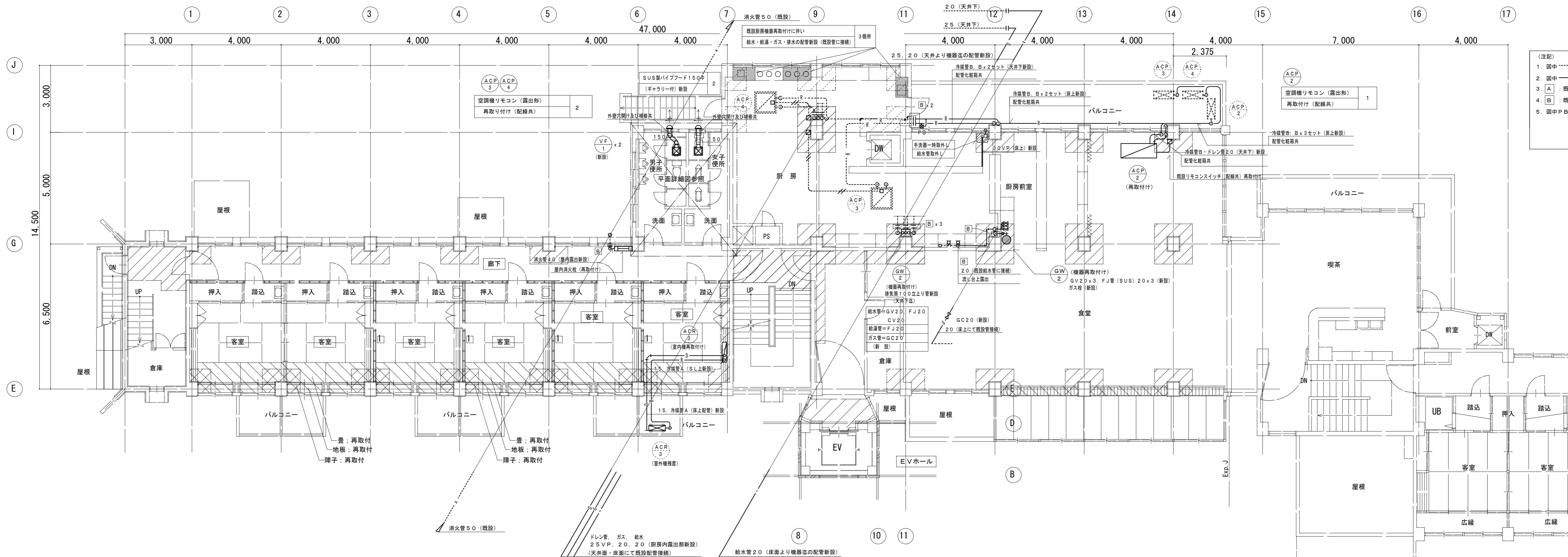
洗濯化粧台	600型	1	再取付
同上キャビネット		1	再取付

便所

洗面器		1	再取付
同上化粧鏡		1	再取付
同上化粧棚		1	再取付

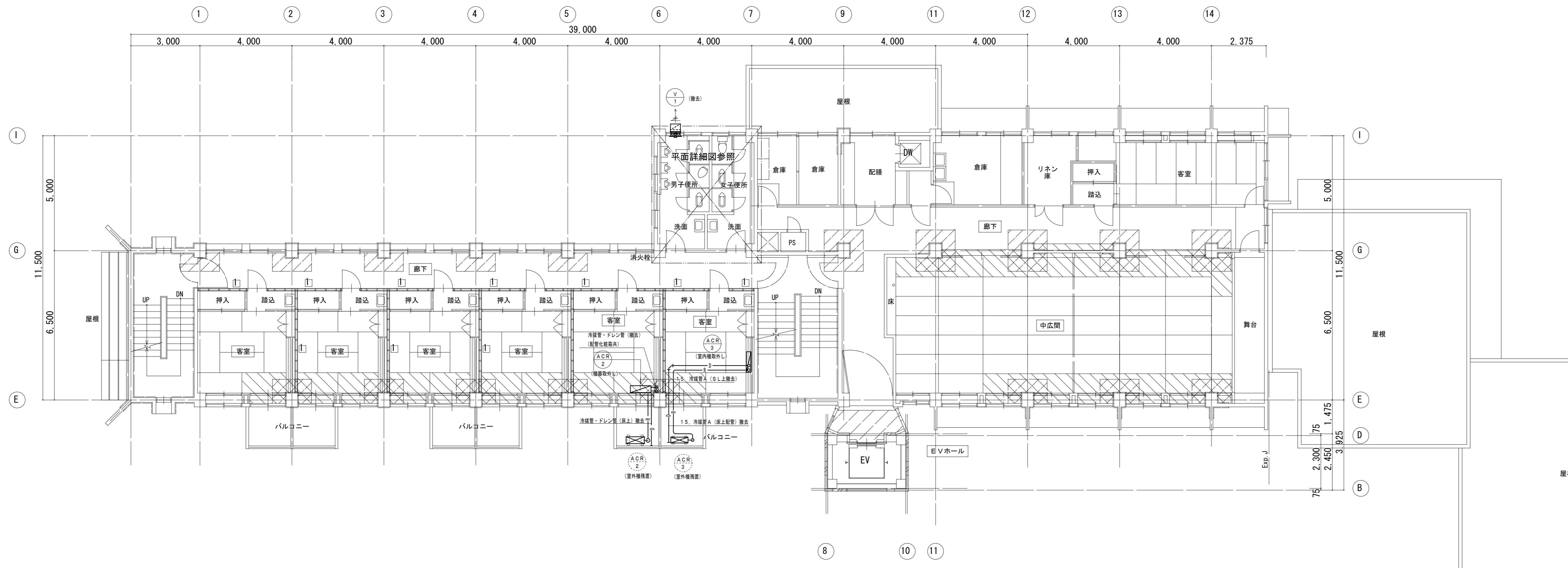


(注記)
 1. 図中 表記は既存機器・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は新設機器・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。

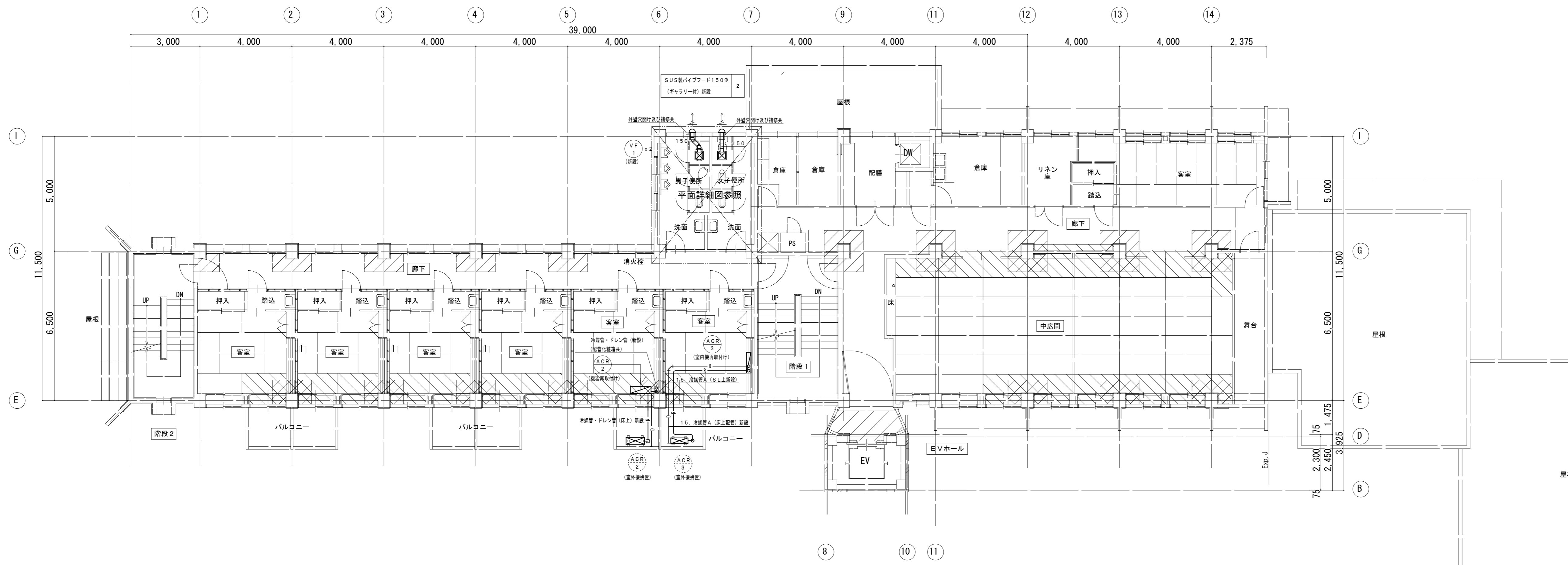


(注記)
 1. 図中 表記は既存機器・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は新設機器・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。
 5. 図中PBは空調機室内外機渡り接続用プルボックスを示す。(ステンレス製 150×150×100H)

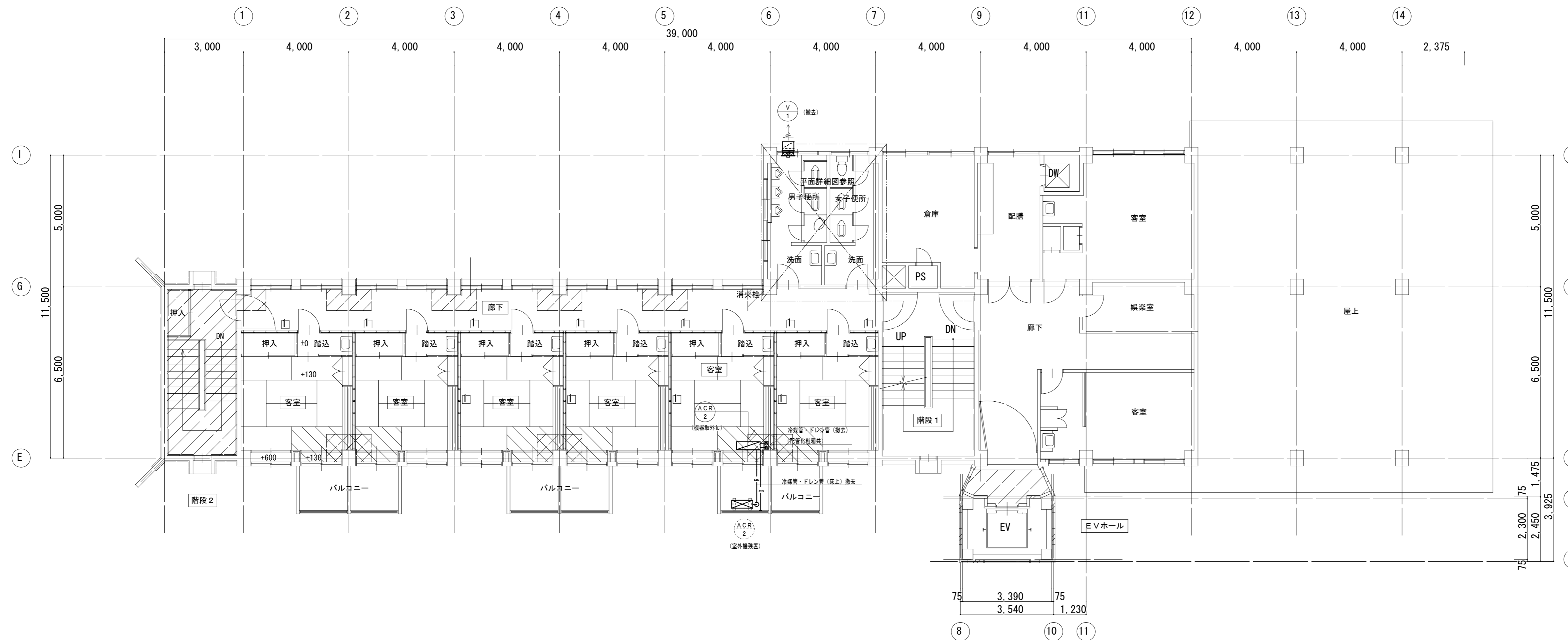
資格/番号	記名	押印	製図	検図	訂正	特記
代表設計者 一級建築士 第151989号	新井 一治		12.10.22	12.10.23		
担当設計者 一級建築士 第18181号	兼松 祐之					



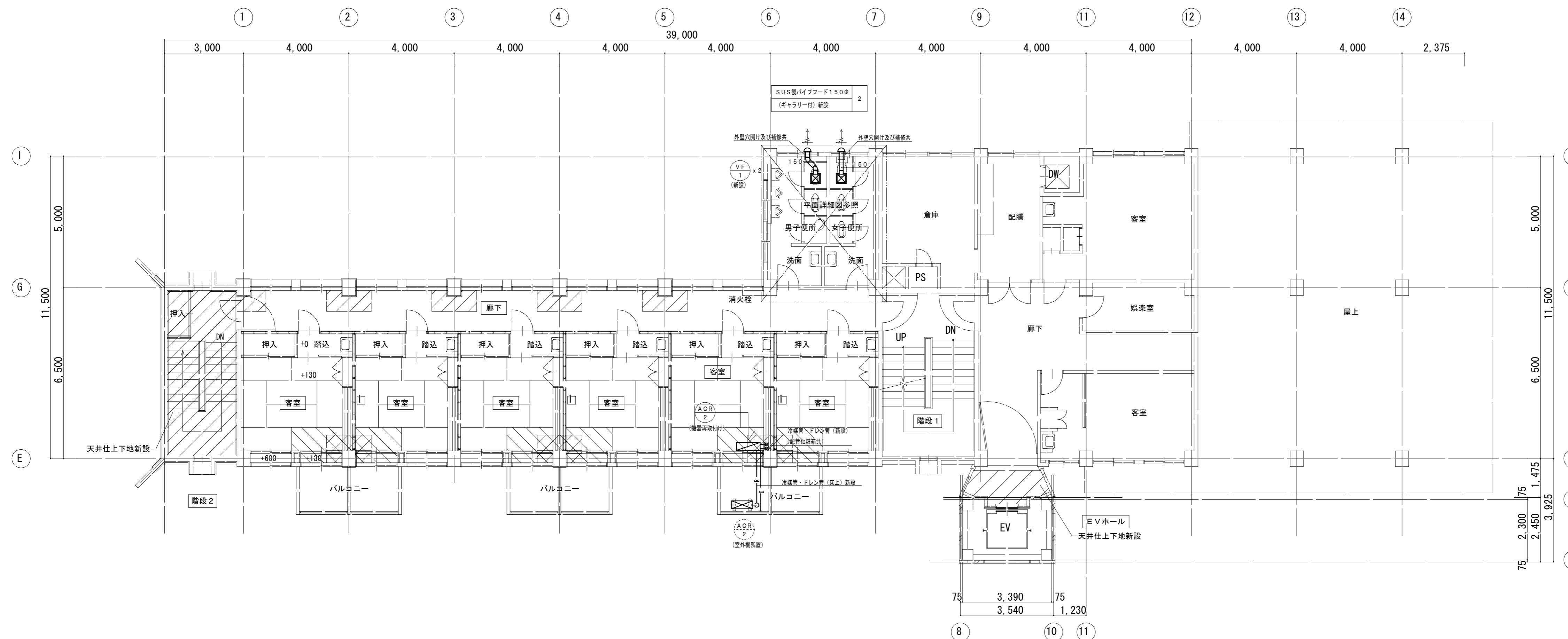
(注記)
 1. 図中 表記は既存機器配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 切断を示す。



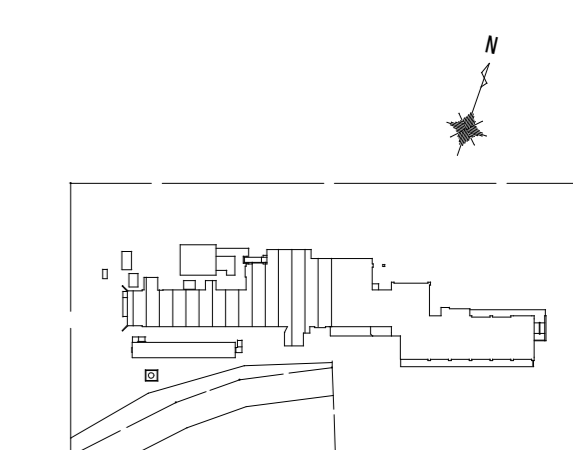
(注記)
 1. 図中 表記は既存配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。
 5. 図中P Bは空調機室外機渡り操作接続用プルボックスを示す。
 (ステンレス製 150×150×100H)

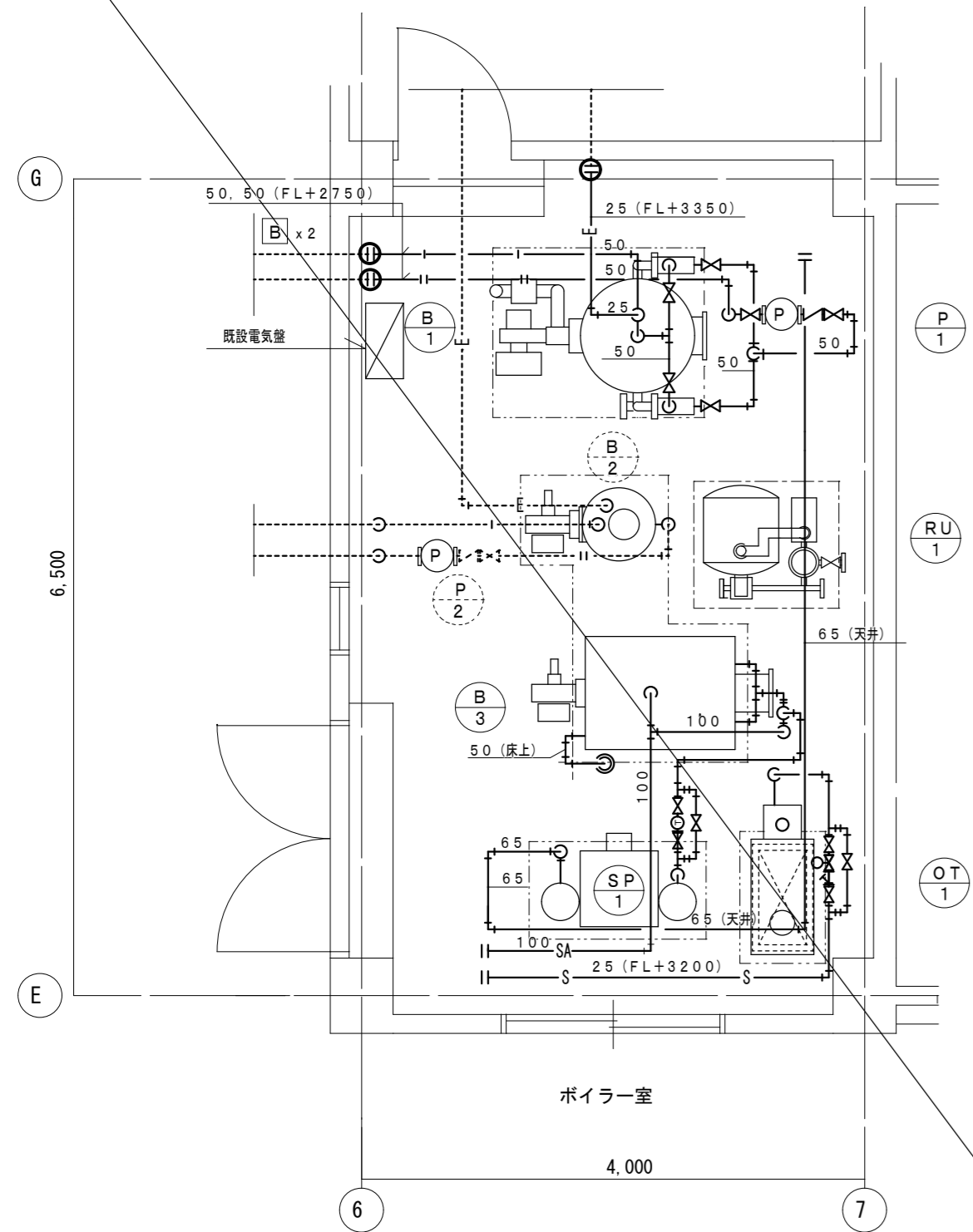


(注記)
 1. 図中.....表記は既存配置配管・器具を示す。
 2. 図中——表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 切断を示す。



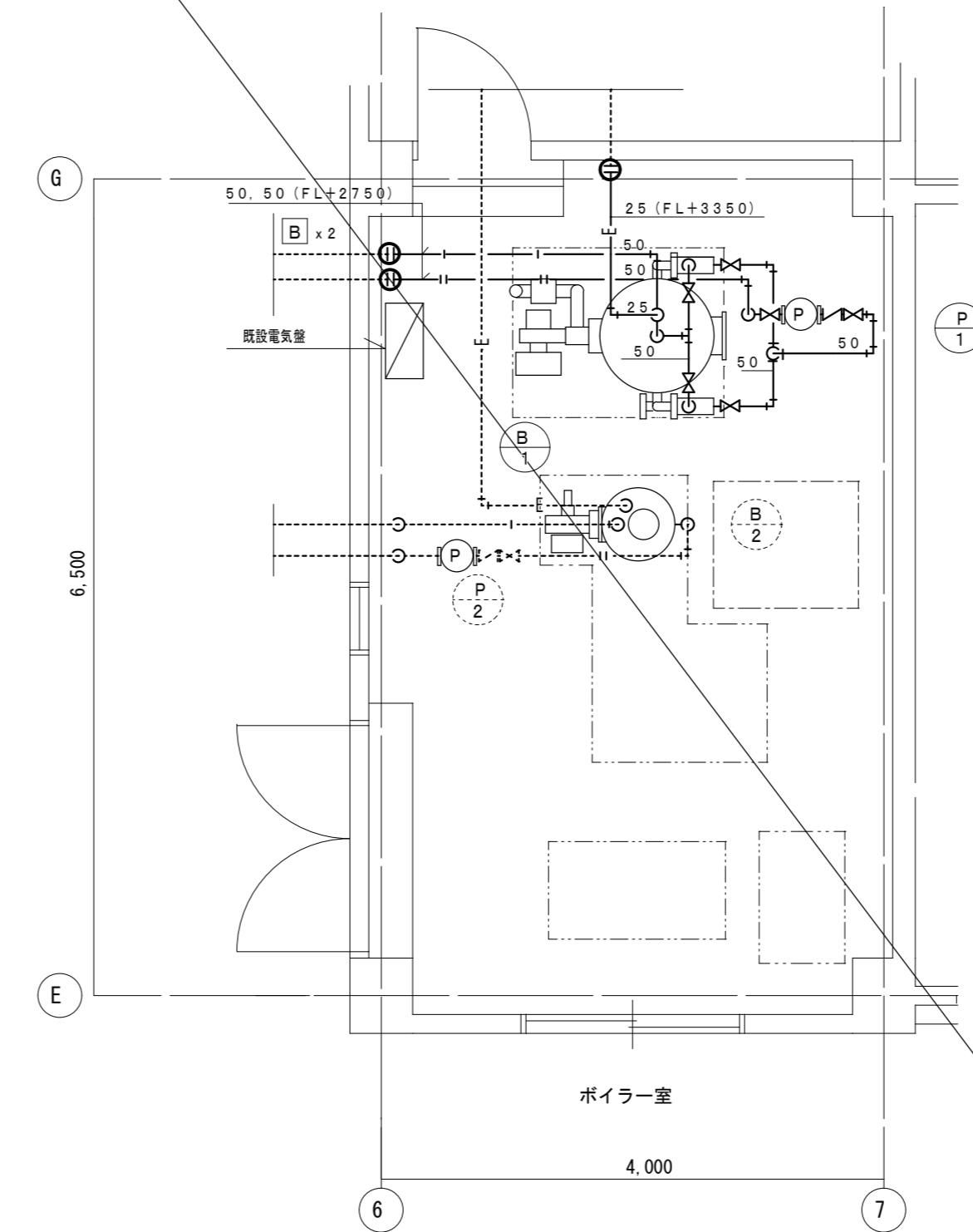
(注記)
 1. 図中.....表記は既存配置配管・器具を示す。
 2. 図中——表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。
 5. 図中Pは空室機室内外機送り操作線接続用プルボックスを示す。
 (ステンレス製150×150×100H)





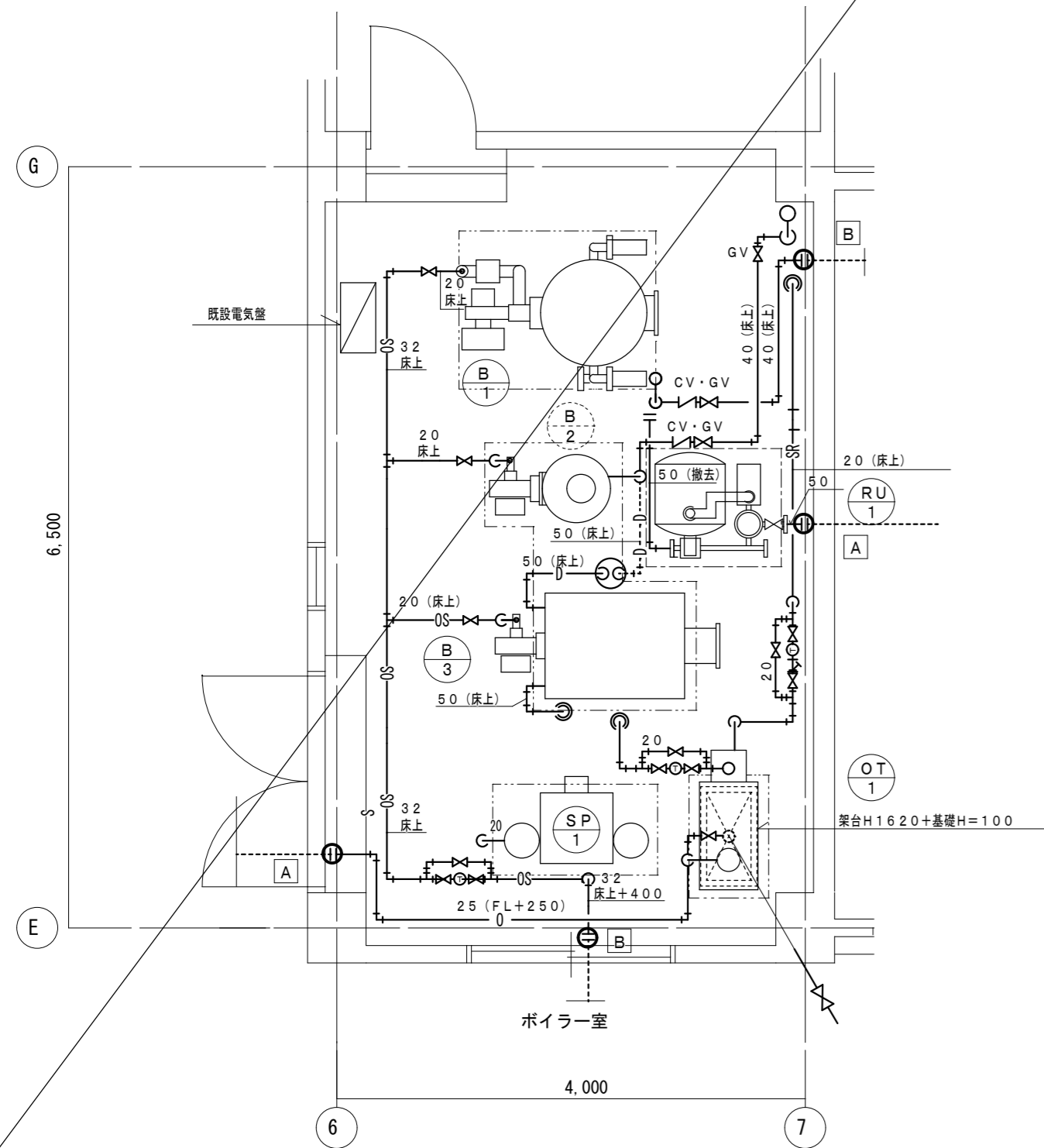
上部配管図

(注記)
 1. 図中 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 切断を示す。
 5. 図示無くとも撤去機器の配管・弁類は機械室内撤去とする。

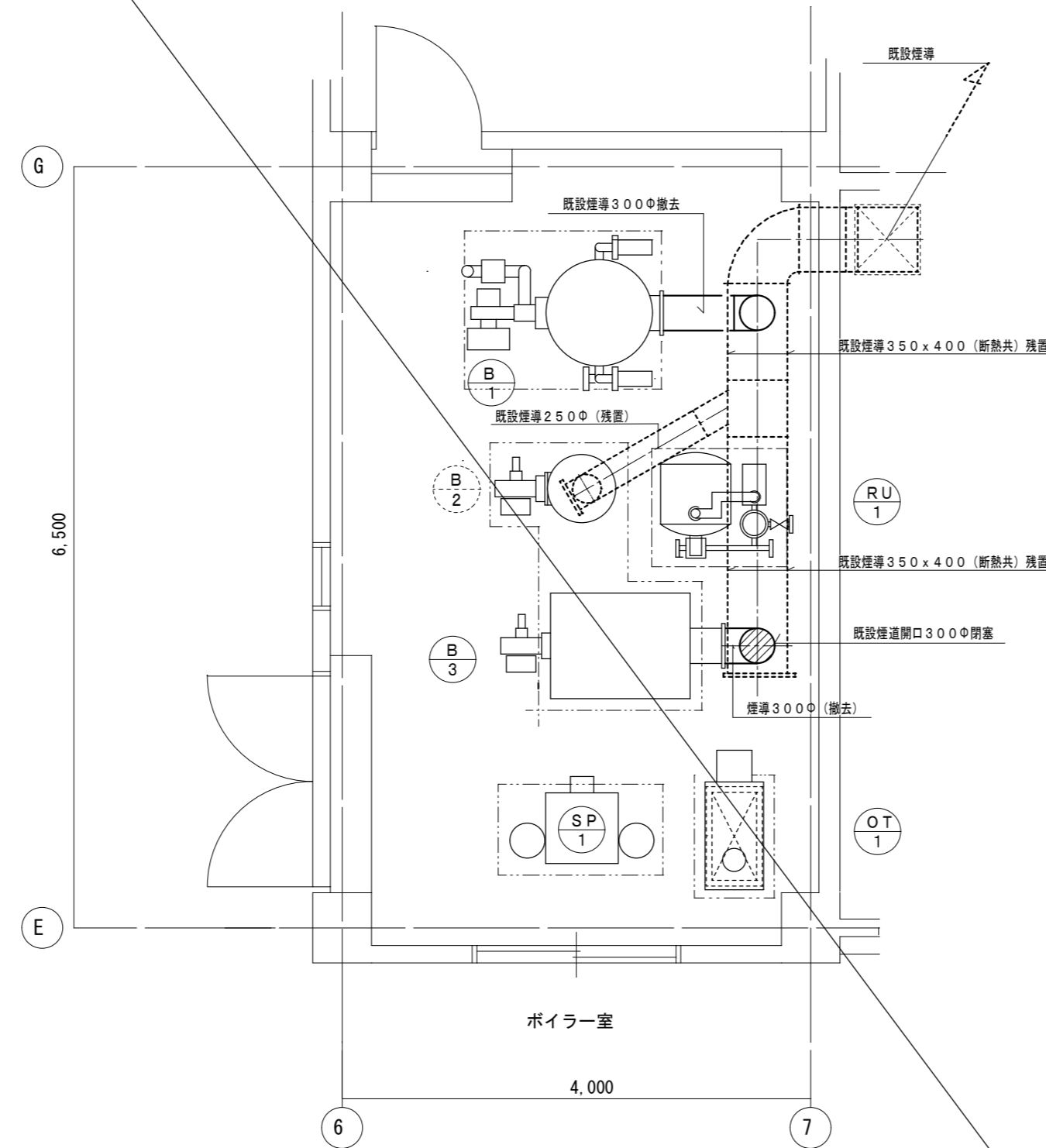


上部配管図

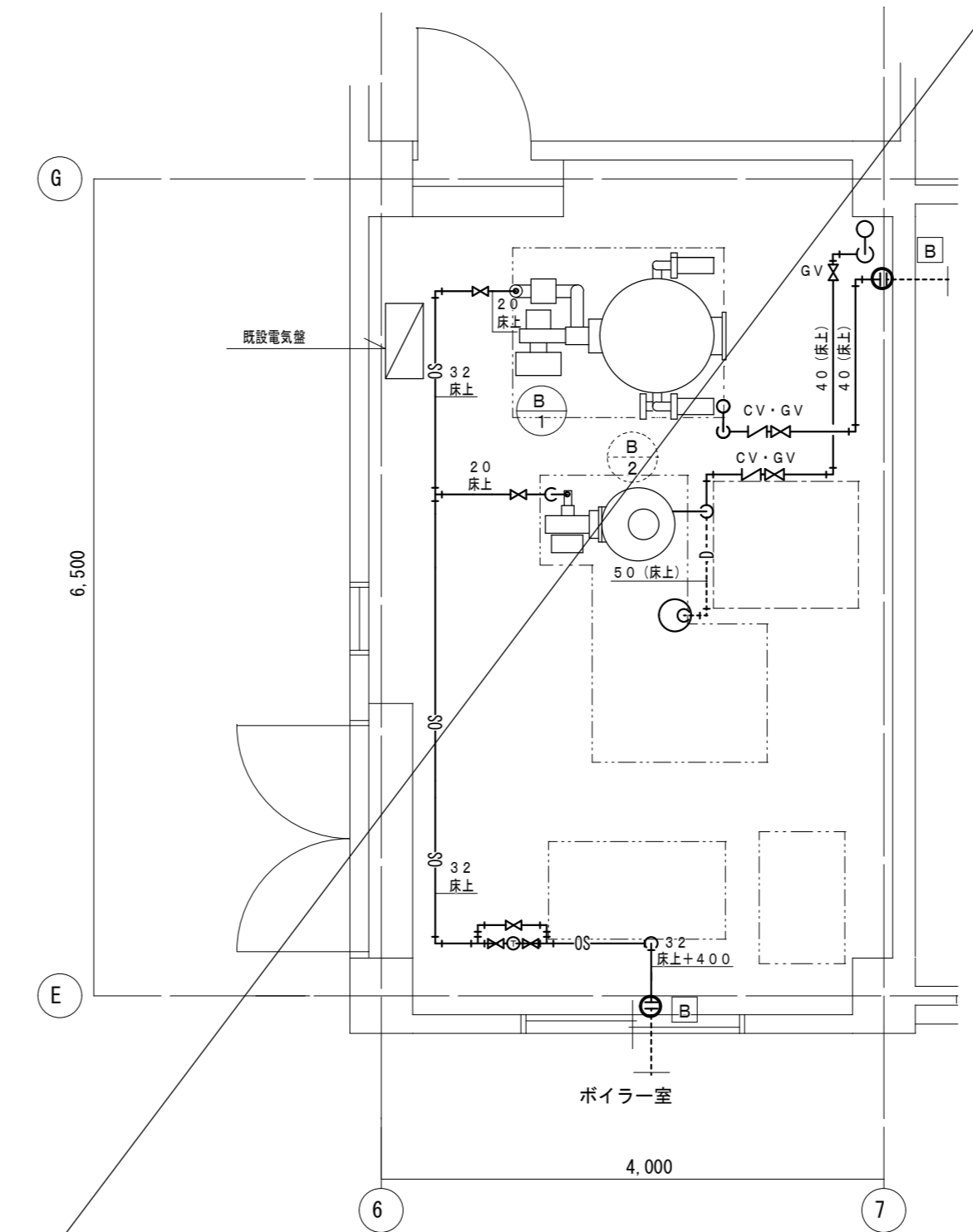
(注記)
 1. 図中 表記は既存配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 既設管プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管に接続を示す。



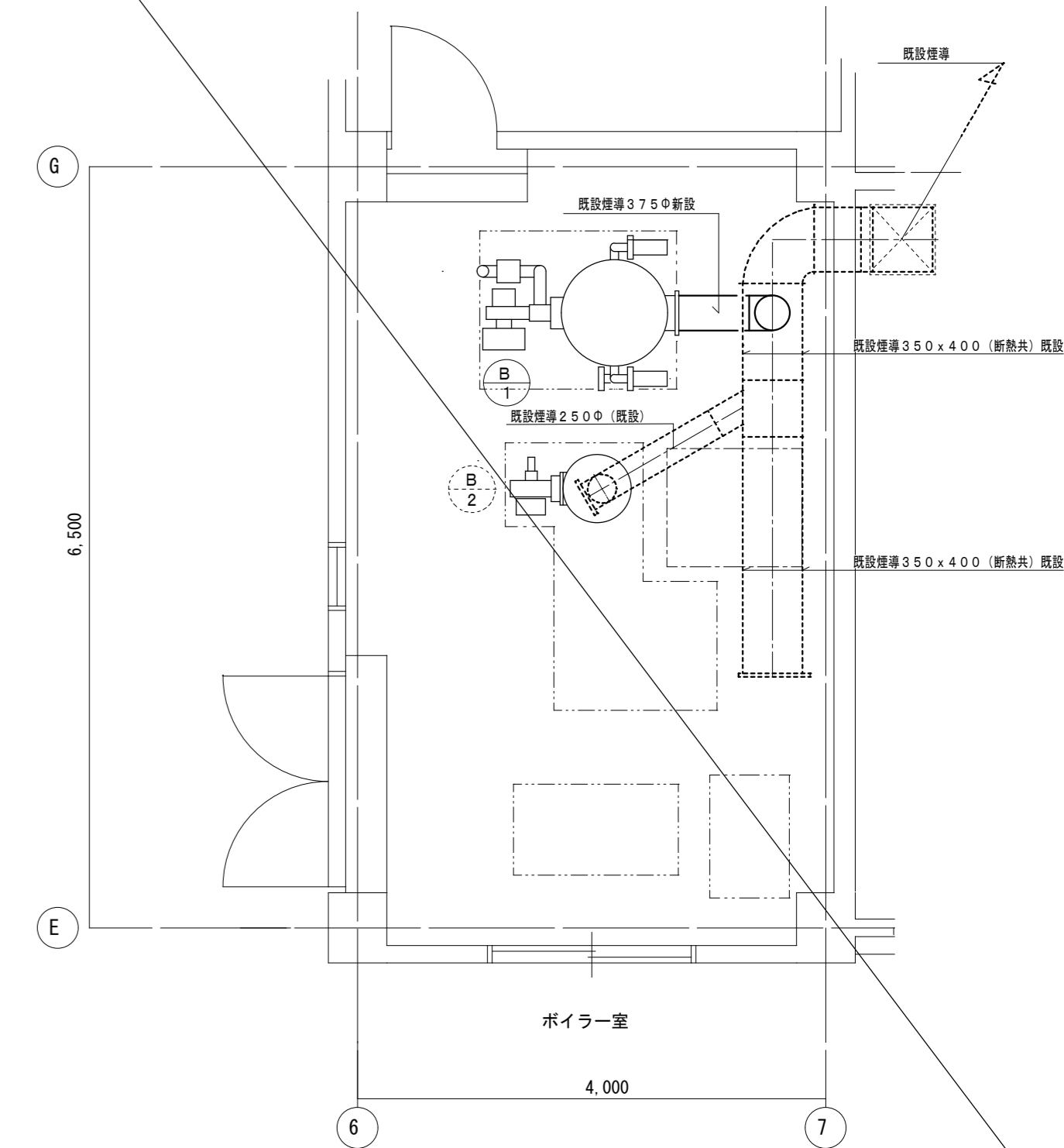
下部配管図



煙導配置図



下部配管図



煙導配置図

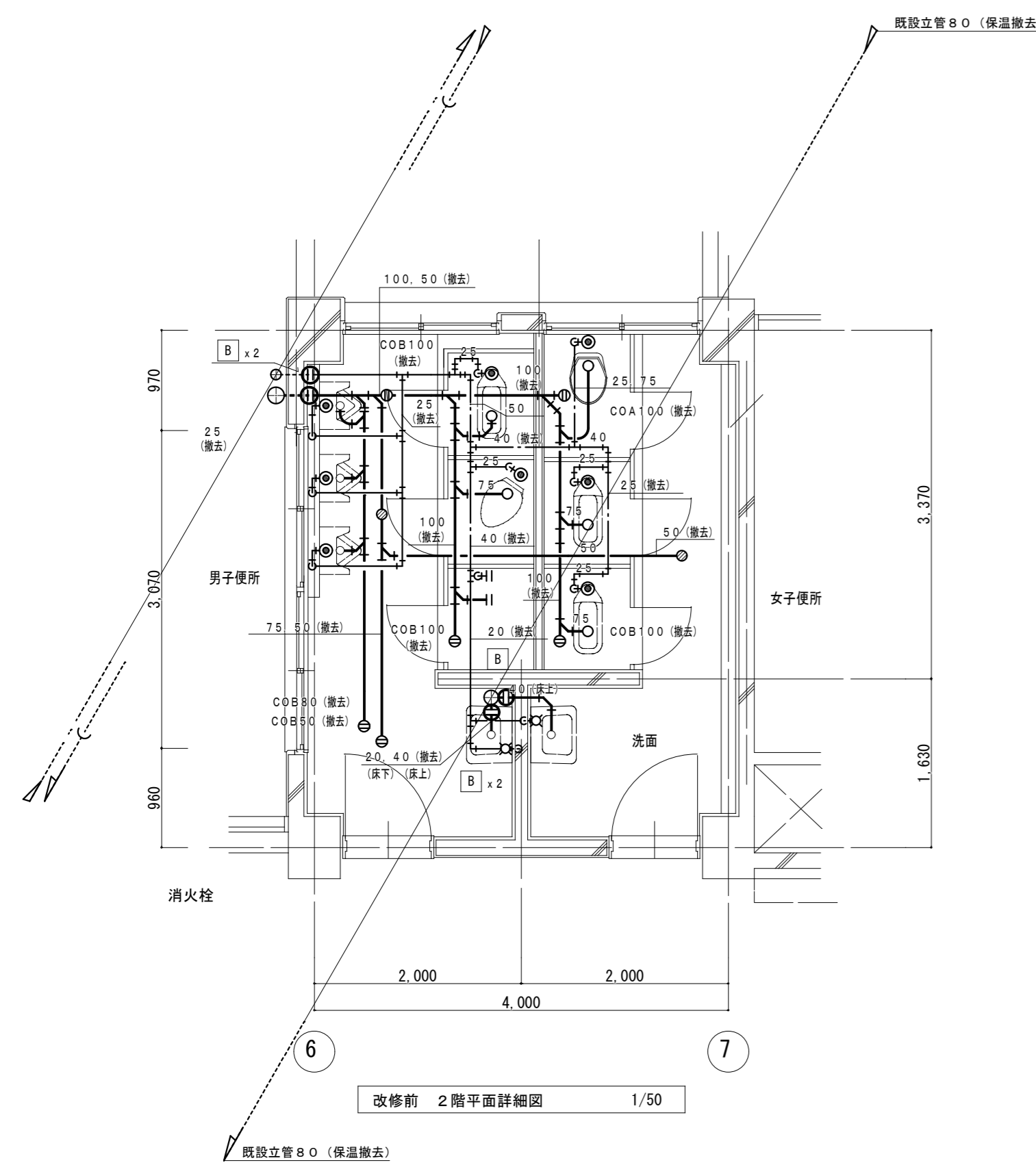
株式会社 山下設計
 YAMASHITA SEKKEI INC.
 ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

代表 設計者	一級建築士 第151899号	新井 一治	製 図	12.10.22	検 査	12.10.23	訂 正
担当 設計者	一級建築士 第201429号 設備設計一級建築士 第1181号	兼松 祐之					

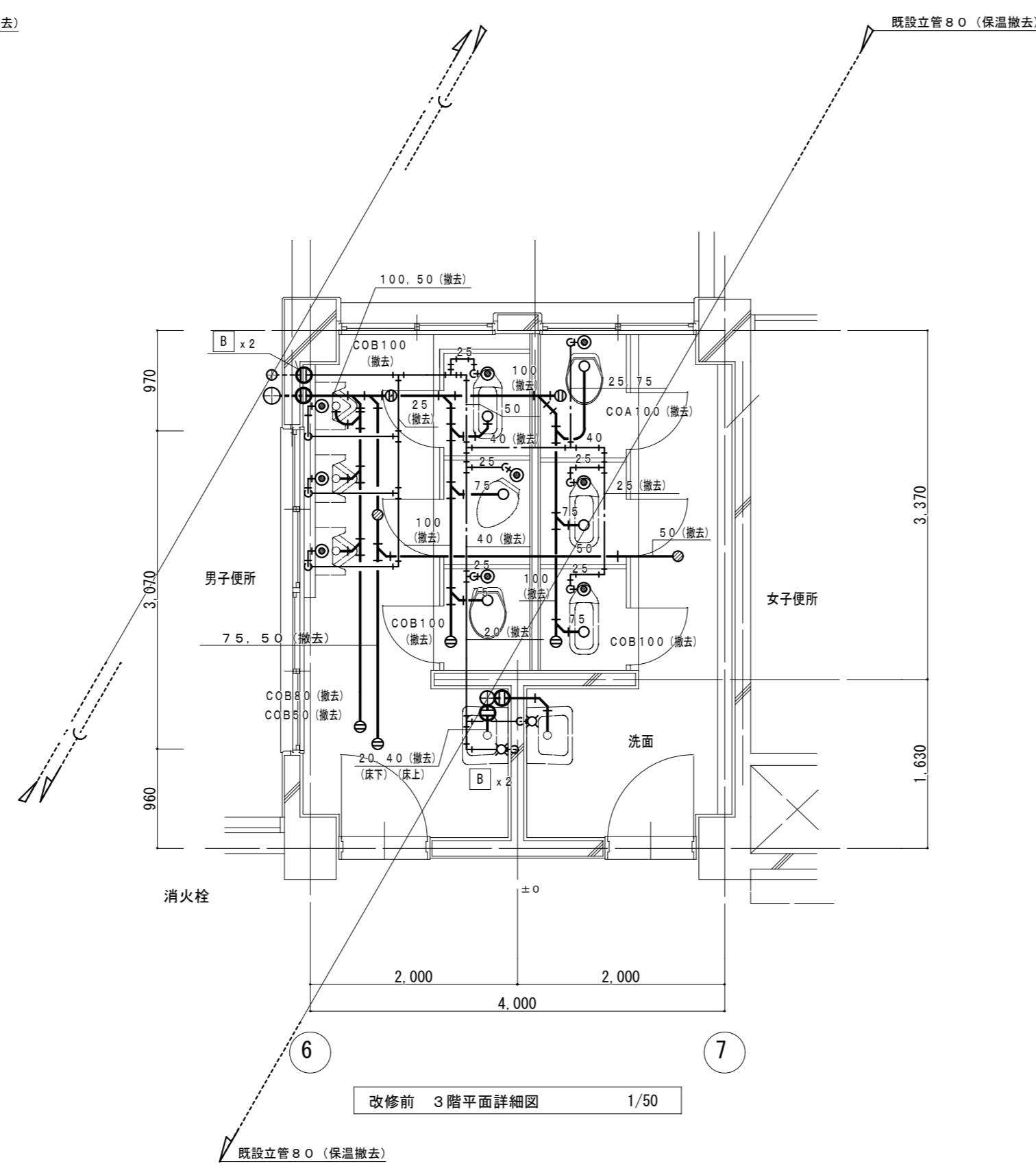
特 記	
-----	--

国民宿舎事業施設 関ロジック耐震補強及び改修工事

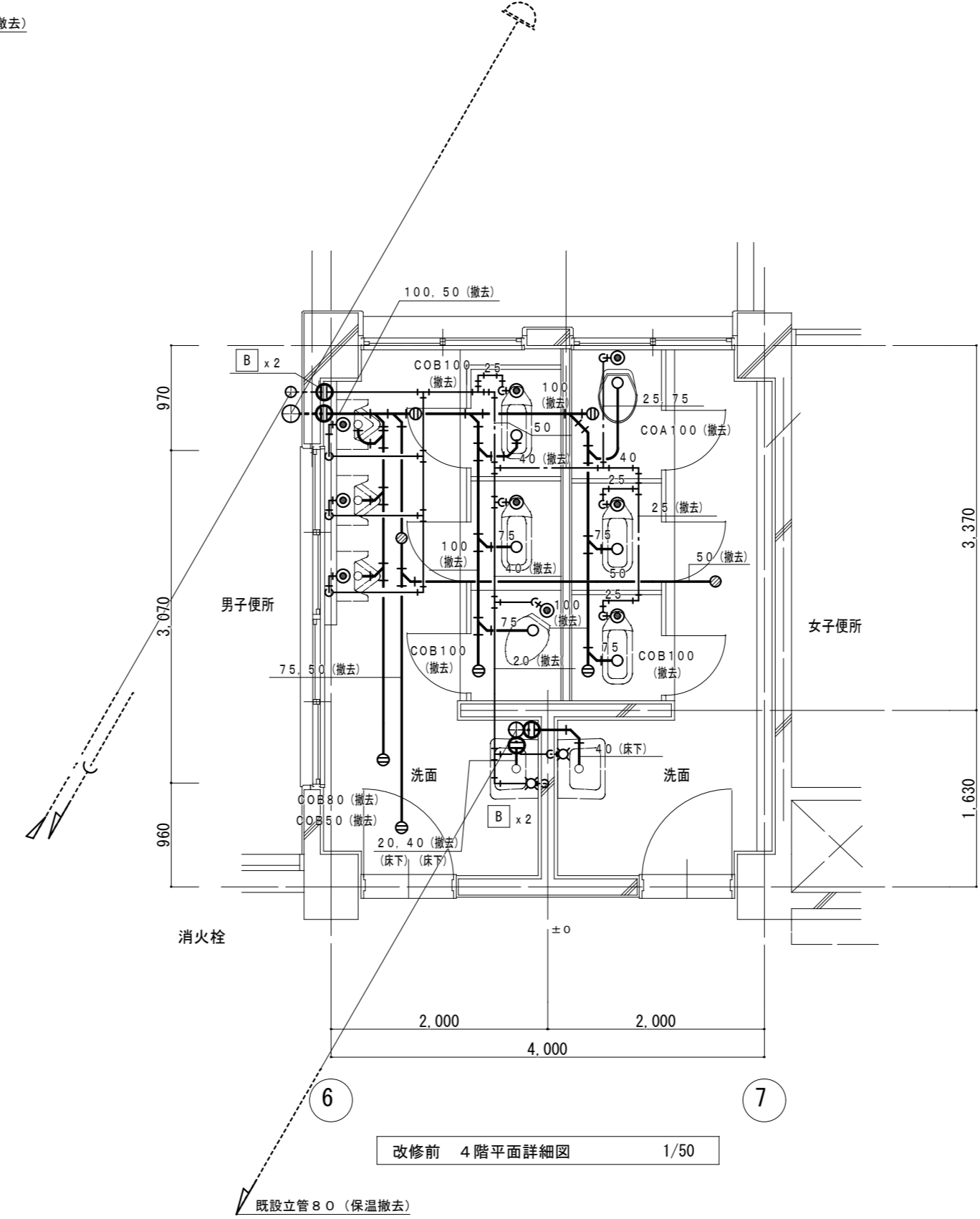
図面内容	1階ボイラー室平面詳細図	図面番号	11
縮尺	A1:1/50, A3:1/100	枚ノ内 区分	4009 機械設備図



改修前 2階平面詳細図 1/50



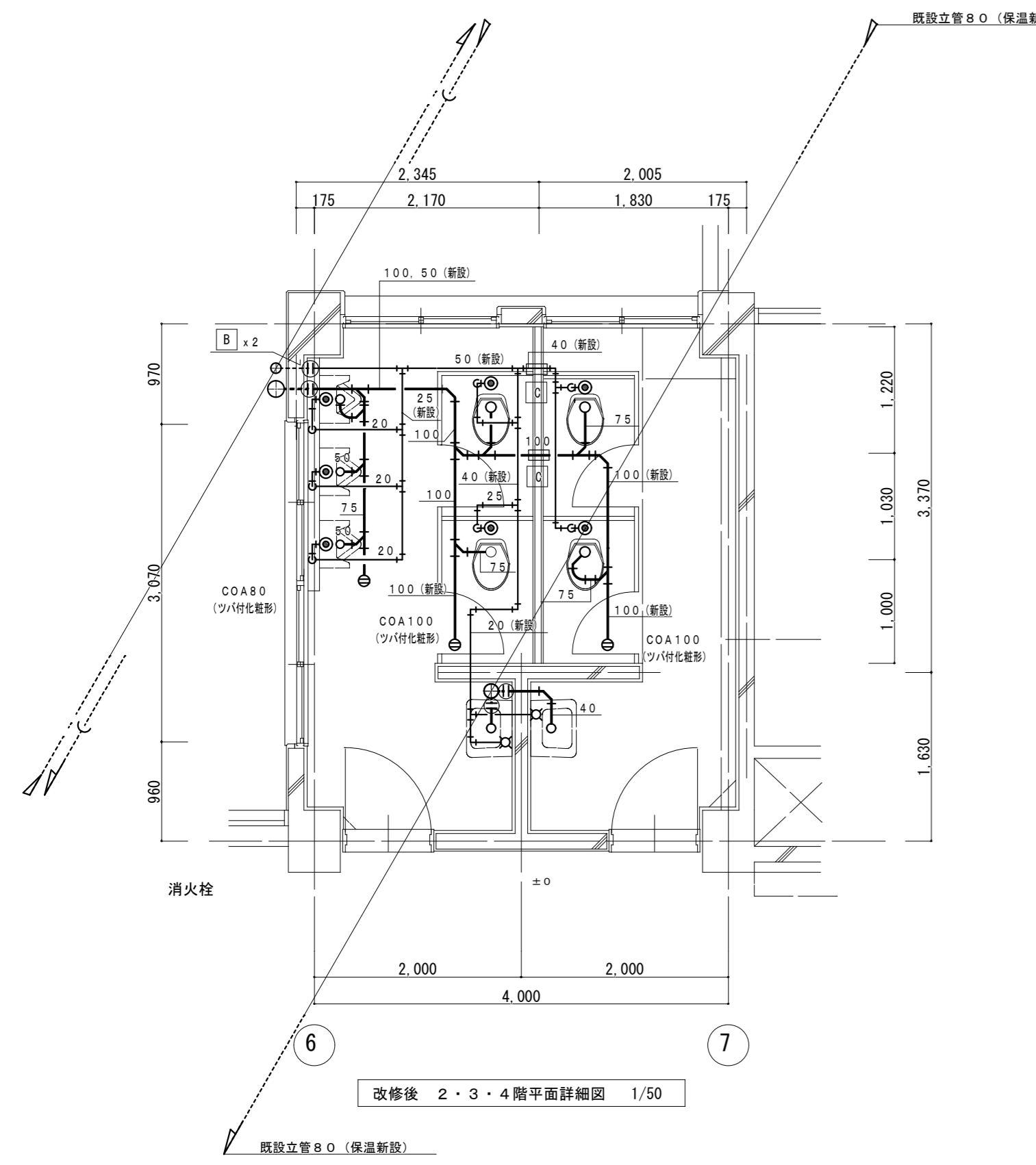
改修前 3階平面詳細図 1/50



改修前 4階平面詳細図 1/50

- (注記)
1. 図中 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管切断を示す。
 5. 床スラブはつり・天井 撤去・復旧は建築工事。
 6. 小便器用面台改修は建築工事。

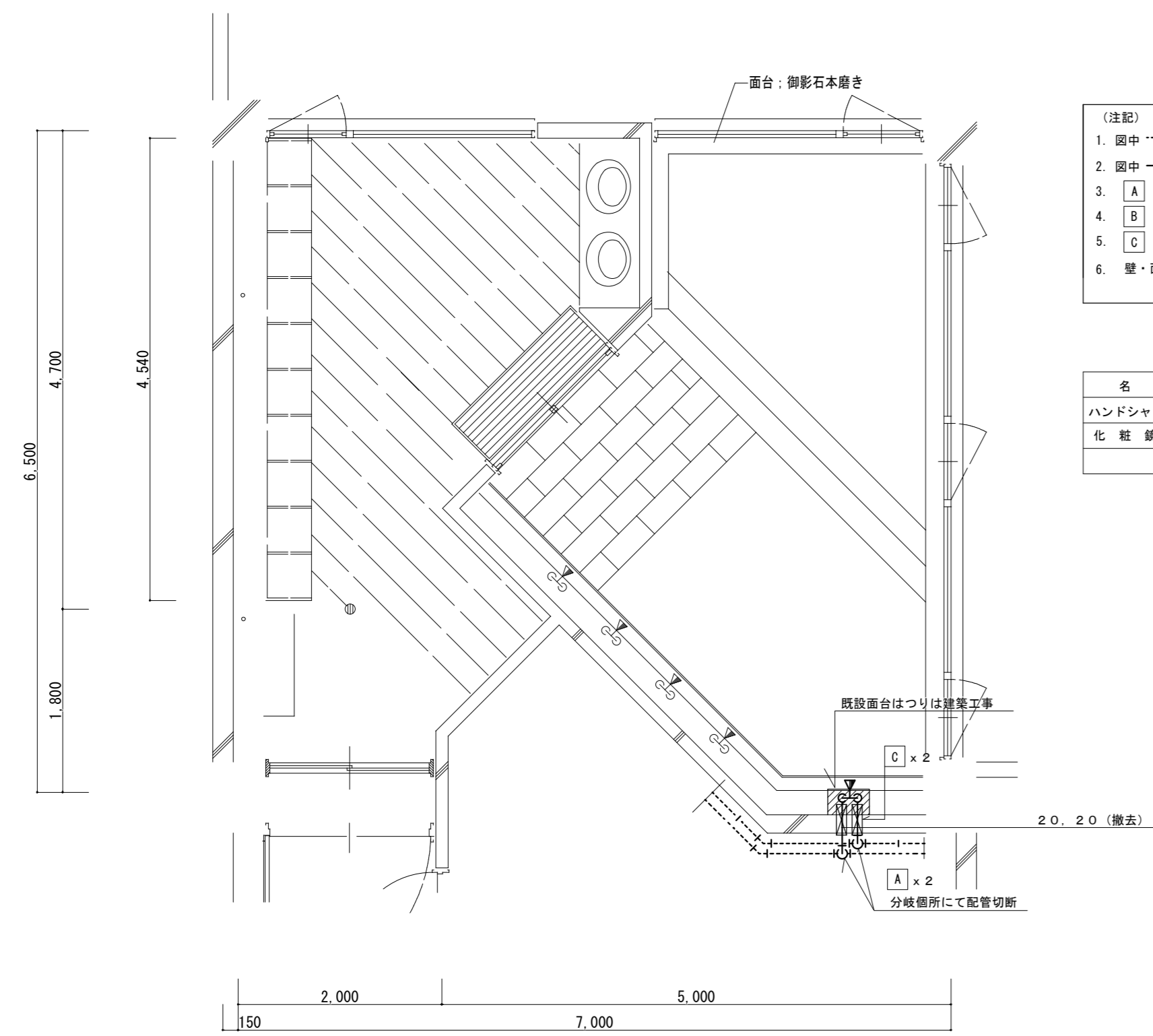
名 称	品 番	2階	3階	4階	工事内容	備 考
洋 風 便 器	C-21 (FV)	2	3	2	撤 去	給水管・排水管共撤去
和 風 犬 便 器	C-375VF	3	3	4	撤 去	給水管・排水管共撤去
小 便 器	床置形トランプ付	3	3	3	撤 去	給水管・排水管共撤去
洗 面 器	L-23D	2	2	2	撤 去	給水管壁面プラグ止め (壁内残置)・排水管共撤去
化 粧 鏡	450×600	2	2	2	撤 去	
化 粧 棚	S-3	2	2	2	撤 去	
床排水金物	T5B-50	2	2	2	撤 去	



改修後 2・3・4階平面詳細図 1/50

- (注記)
1. 図中 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中 ——— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管接続を示す。
 5. 床スラブ開け・はつり及び補修は本工事。
 6. [C] : 既設箱体穴開け及び補修を示す。

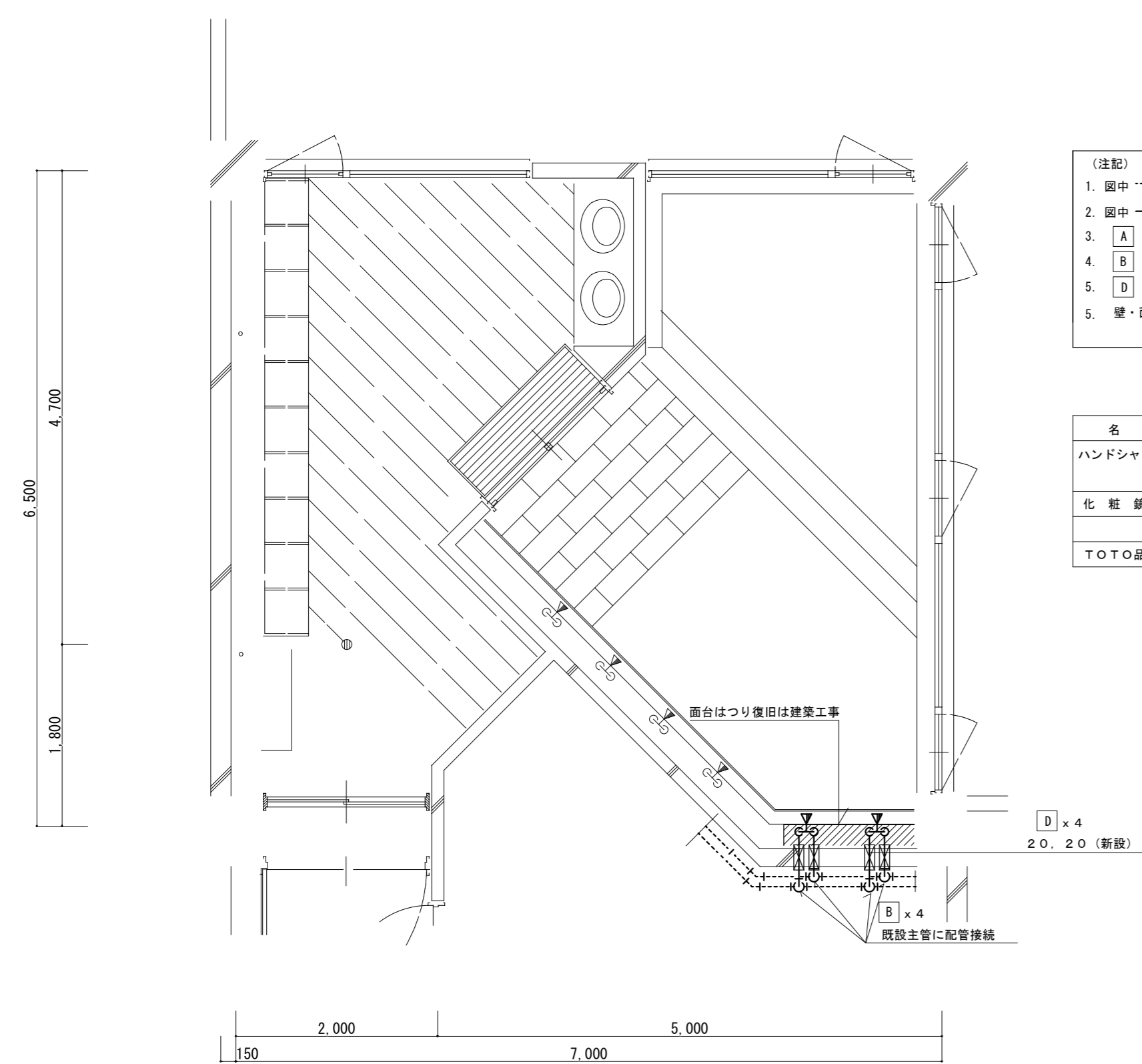
名 称	品 番	2階	3階	4階	工事内容	備 考
洋 風 便 器	C-480N (TOTO品番参照)	4	4	4	新 設	給水管・排水管共新設
自動洗浄小便器	UFS800CE 自動洗浄 (AC100V)	3	3	3	新 設	給水管・排水管共新設
洗 面 器	L250A	2	2	2	新 設	給水管・排水管共新設
化 粧 鏡	YM4560A	2	2	2	新 設	
化 粧 棚	YKH400	2	2	2	新 設	



- (注記)
1. 図中..... 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中—— 表記は撤去配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管切断を示す。
 5. [C] : 既設配管撤去後躯体開口穴埋めを示す。(補修共)
 6. 壁・面台 はつり・撤去・復旧は建築工事。

名 称	品 番	浴室	工事内容	備 考
ハンドシャワーセット		1	撤 去	分岐より給水管20・給湯管20共撤去
化粧鏡		1	撤 去	

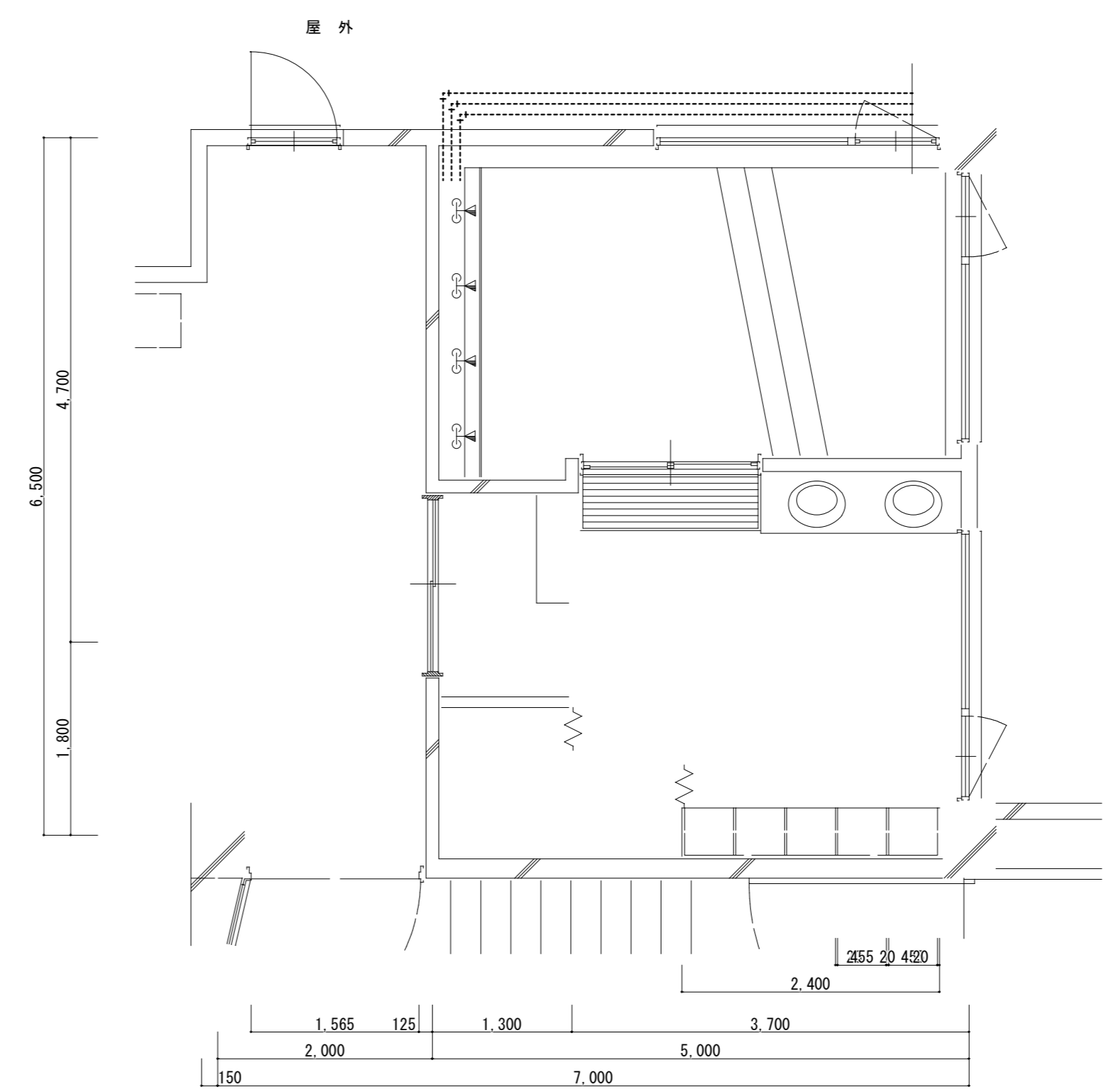
改修前 平面詳細図 1/50



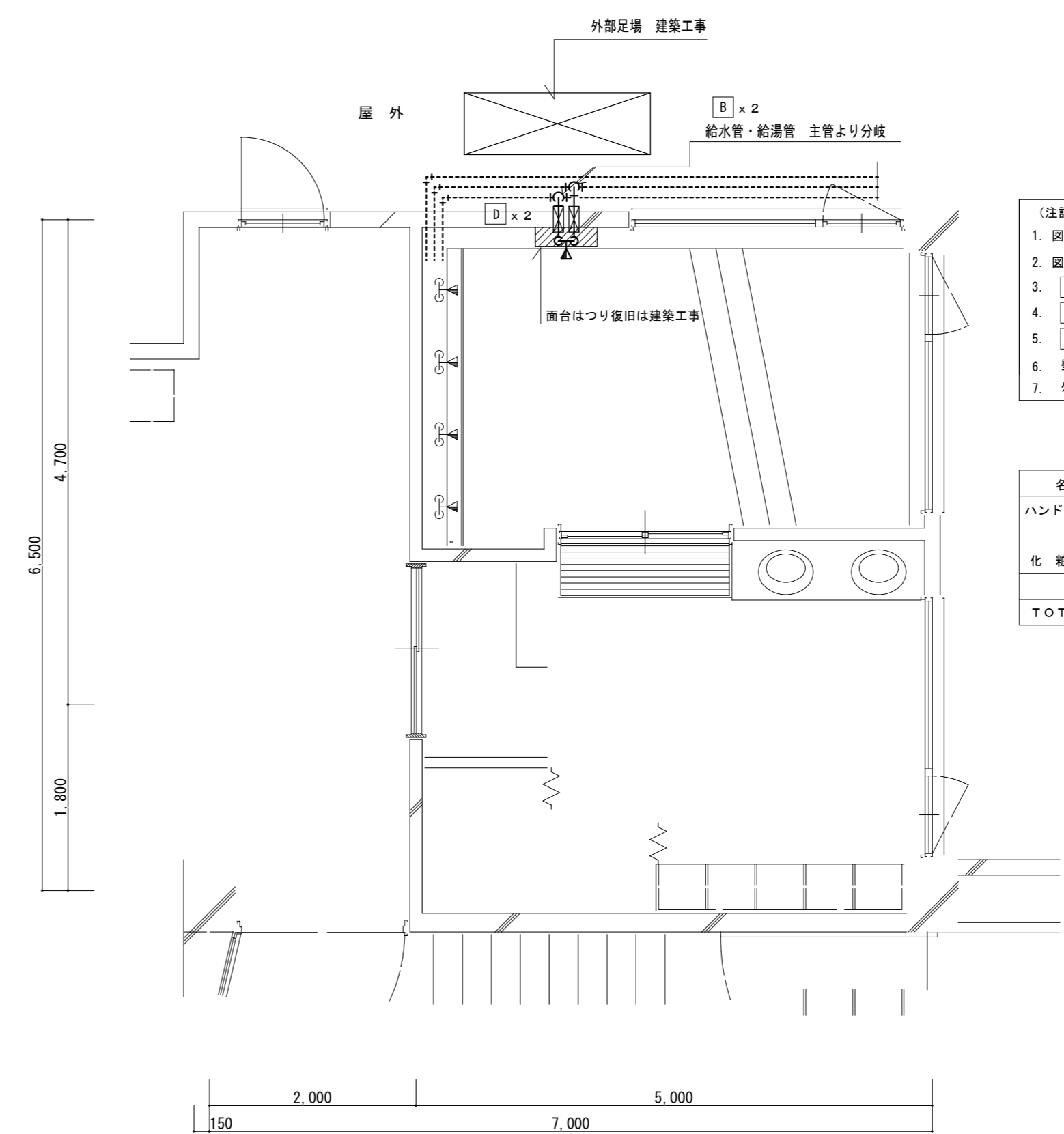
- (注記)
1. 図中..... 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中—— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管接続を示す。
 5. [D] : 既設躯体穴明け及び補修を示す。
 6. 壁・面台 はつり・撤去・復旧は建築工事。

名 称	品 番	浴室	工事内容	備 考
ハンドシャワーセット	TMHG40ECQ	2	新 設	給水管20・給湯管20共新設
化粧鏡	YM4560F	2	新 設	
TOTO品番参照				

改修後 平面詳細図 1/50



改修前 平面詳細図 1/50



- (注記)
1. 図中..... 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中—— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・プラグ止めを示す。
 4. [B] : 既設管接続を示す。
 5. [D] : 既設躯体穴明け及び補修を示す。
 6. 壁・面台 はつり・撤去・復旧は建築工事。
 7. 外部足場は建築工事。

名 称	品 番	浴室	工事内容	備 考
ハンドシャワーセット	TMHG40ECQ	1	新 設	給水管20・給湯管20共新設
化粧鏡	YM4560F	1	新 設	
TOTO品番参照				

改修後 平面詳細図 1/50